文部科学省委託事業
令和７年度「高等専修学校における多様な学びを保障する先導的研究事業」
『地域に根ざした高等専修学校機能強化先導的モデル構築事業』

令和7年度事業報告書

学校法人 KBC 学園

本報告書は、文部科学省高等専修学校における多様な学びを保障する先導的研究事業による委託事業として、学校法人KBC学園KBC高等学院が実施した、令和7年度「地域に根ざした高等専修学校機能強化先導的モデル構築」の成果をとりまとめたものです。

目次

1. 事業概要 …… 1

1－1. 事業の趣旨・目的 …… 1
1－2. 取組の実施体制 …… 1
1－3. 学習ターゲット、目指すべき成果 …… 2
1－4. 当該モデルが必要な背景について …… 2
1－5. 開発するモデルの概要 …… 4
1－6. 計画の全体像 …… 7
1－7. 今年度の具体的活動 …… 11
1－8. 事業を実施する上で設置する会議 …… 12
1－9. 事業を実施する上で必要な調査 …… 14

2. 今年度の活動報告 ……17

2－1. 実証授業（インターンシップ）の実施 …… 17
2－2. 教員向け研修 …… 18
2－3. 認知度向上のための活動 …… 18

3. インターンシップ実施状況調査……20

3－1. 調査方法 …… 20
3－2. 調査項目 …… 22
3－3. 評価者・評価方法 …… 23
3－4. インターンシップ評価シート集計結果　（全体） …… 24
3－5. インターンシップ評価シート集計結果（デジタル系） …… 37
3－6. インターンシップ評価シート集計結果（スポーツ系） …… 50
3－7. 評価レベル比較結果（現在・目標・評価） …… 63
3－8. 生徒の具体的行動内容と企業の評価コメント …… 76
3－9. 企業の総評 …… 91
3－10. 生徒の実施前・実施後平均ポイント比較 …… 96

4. 総評 ……98

5. 資料 ……101

5－1. インターンシップ評価シート 101
5－2. 議事録 105

1. 事業概要

1－1. 事業の趣旨・目的

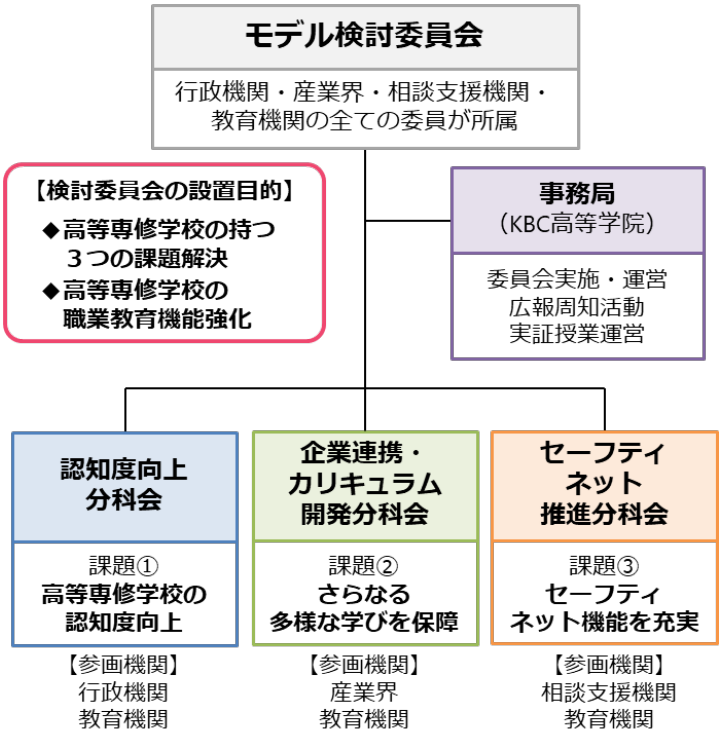
高等専修学校には認知度向上、さらなる多様な学びの保障、セーフティネット機能の充実という3つの課題がある。令和 3 年度の調査では、中学校教員の 29%が高等専修学校を良く知っていると答え、13%が生徒・保護者に説明できると答えた。認知度向上には、中学校教員や適応指導教室等への的確な情報提供が必要となる。また、高校を中退した生徒への情報提供も重要である。

次に、高等専修学校は職業教育を重視しており、職場見学やインターンシップの実施が必要である。令和 4 年度の調査では、86 校中 21 校が「インターンシップへの取り組み」を今後進めたいと回答している。本事業では当学園グループが持つ産業界との連携を活かし、生徒の個性の寄り添った職場見学やインターンシップを推進する。

さらに、高等専修学校には不登校や中退を経験した生徒のためのセーフティネット機能が求められる。少人数クラスや学習環境の配慮が行われているが、専門家の指導を受け、教員の対応力及び生徒へのアプローチ力向上が求められる。

課題解決のために、行政機関、産業界、相談支援機関、教育機関が参画する検討委員会及び分科会を設立し、モデルカリキュラム開発、実証授業開催、広報・普及啓発に注力する。

1－2. 取組の実施体制



1－3. 学習ターゲット、目指すべき成果

【学習ターゲット】
●高等専修学校生徒（職場見学・インターンシップ）
●高等専修学校教員（教員向け研修）
【目指すべき成果】
①高等専修学校の認知度向上　②職場見学・インターンシップ実施による多様な学びを保障　③教員の対応力・アプローチ力向上

1－4. 当該モデルが必要な背景について

■高等専修学校の課題
【課題1】認知度向上の必要性
令和 3 年度「高等専修学校の実態に関するアンケート調査」（令和 3 年度文部科学省委託事業）に、「高等専修学校」について「良く知っている」と回答した中学校教員は 29%、生徒・保護者に説明が「できる」と回答した中学校教員は 13%にとどまった、と記載されており、高等専修学校の「社会的認知度」については十分とは言えない。
自らの進路を決定する中学生やその保護者、進路選択をサポートする中学校教員が高等専修学校の特徴を知り、理解を深めてもらい、進路選択肢として認知してもらうことが重要である。
認知度向上には進路選択をサポートする中学校教員や進路指導の教員、適応指導教室やフリースクール等の教員に的確な情報が届き、そこから中学生本人やその保護者に伝わっていかなければならない。また、高等学校を中退した生徒が高等専修学校へ入学するケースもあるため、高等学校教員への情報提供も必要である。

【課題2】さらなる多様な学びを保障
高等専修学校は職業教育を重視している。そのため、普通科目に加え、専門科目の実習・実技の授業が多いことが最大の特徴である。
当校のデジタルクリエイションコースでも午前の授業は普通科目、午後の授業は興味のある分野をより深く学ぶスタイルで、制作展や企画などは異学年混成で活動を行っている。また、2015 年にゲーム部を発足し、e スポーツにも積極的に取り組んでいる。

◆当校のカリキュラム

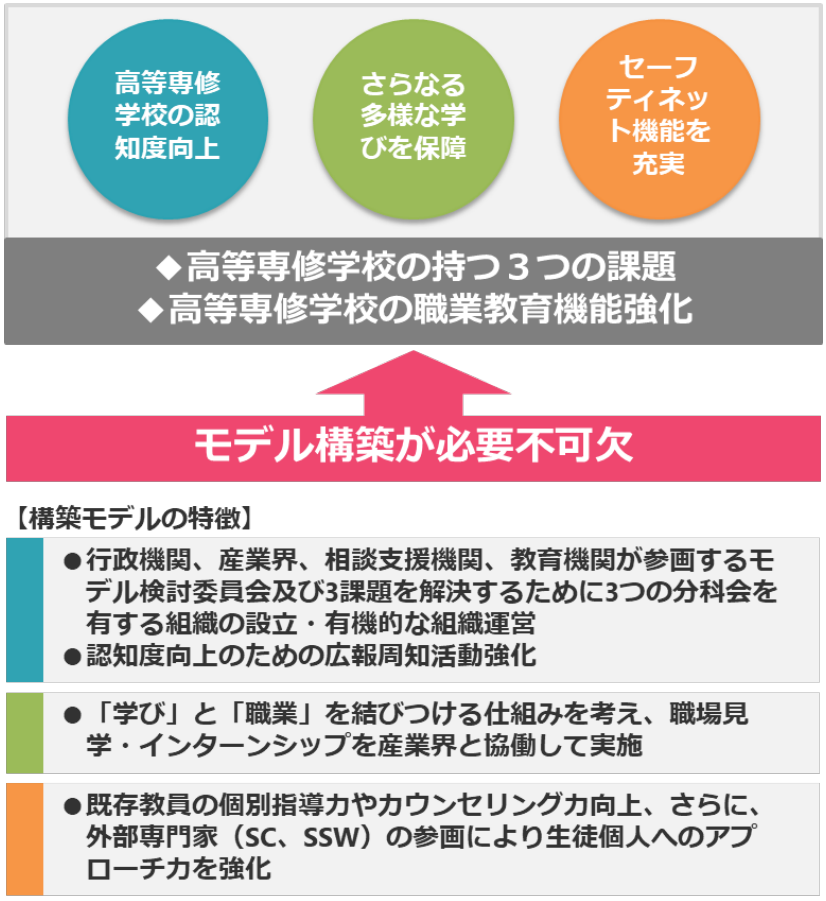
<table>
<tr><th></th><th></th><th>月</th><th>火</th><th>水</th><th>木</th><th>金</th></tr>
<tr><td></td><td>9:00- 9:10</td><td colspan="5">ショートホームルーム</td></tr>
<tr><td>1</td><td>9:20-10:10</td><td>ＬＨＲ</td><td>保健・体育</td><td>公共</td><td>英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ</td><td>現代の国語</td></tr>
<tr><td>2</td><td>10:20-11:10</td><td>数学Ⅰ</td><td>科学と人間生活</td><td>科学と人間生活</td><td>現代の国語</td><td rowspan="2">【新設科目】
デジタル
マーケティング</td></tr>
<tr><td>3</td><td>11:20-12:10</td><td>英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ</td><td>歴史総合</td><td>総合的な探求の時間A</td><td>数学Ⅰ</td></tr>
<tr><td></td><td>12:20-13:10</td><td colspan="5">清掃・昼食</td></tr>
<tr><td>4</td><td>13:20-14:10</td><td rowspan="3">ゲーム制作</td><td rowspan="2">デジタル演習</td><td rowspan="3">デザイン・
イラスト演習</td><td rowspan="3">アルゴリズムと
プログラム</td><td rowspan="3">eスポーツ練習
課題制作
検定試験対策</td></tr>
<tr><td>5</td><td>14:20-15:10</td></tr>
<tr><td>6</td><td>15:20-16:10</td><td>コンピュータ概論</td></tr>
</table>

※ 普通科目（未来高等学校のカリキュラム）

当校でさらに多様な学びを保障するために今後、注力したいことは「学び」と「職業」を結びつけることである。「学び」と「職業」を結びつけるためには職場見学やインターンシップが効果的である。職場見学やインターンシップを積極的に行っていくことは、高等専修学校に求められる職業教育機能強化にも繋がる。
なお、令和4年度「高等専修学校の実態に関するアンケート調査」（令和4年度文部科学省委託事業）によると、「現在は十分に取り組めていないが、今後取り組みを進めたいと考える内容を選択（複数回答可）」という問いに対して、回答数 86 校のうち 21 校（24.1%） が「インターンシップへの取り組み」と回答しており、全国的な調査でも同様の意見が見られる。
沖縄県内で 6 校 19 学科を有する専門学校を展開する当学園グループでは実践的な職業教育、専門的な技術教育を行う教育機関として、多岐にわたる分野でスペシャリストを育成している。専門学校運営で培ったスペシャリスト育成のための産業界との連携ノウハウを高等専修学校でも活かし、職場見学・インターンシップを推進していく。

【課題3】セーフティネットとしての機能を充実
高等専修学校は、不登校や中退を経験した生徒のためのセーフティネットとして機能している。小・中学生時代に不登校を経験した生徒も学校生活をリスタートできるよう、さまざまな配慮を行っている。
令和4年度「高等専修学校の実態に関するアンケート調査」（令和4年度文部科学省委託事業）によると、「現在、現在取り組んでいる内容を選択（複数回答可）」という問いに対して、回答数 86 校のうち、54 校（62.8%）が「生徒同士が一緒に学べる仕組みづくり」、続いて 52 校（60.5%）が「座席の配置や教室の掲示の工夫など、学習環境への配慮」、さらに、49 校（57.0%）が「少人数クラスの編成」を行っていると回答している。少人数クラスで、生徒同士が一緒に学べる仕組みづくりや学習環境への配慮というクラス運営には多くの学校が取り組んでいるが、「個別指導の充実」や「SSW（スクールソーシャルワーカー）の配置」、「個別カウンセリングの充実」等、多様な個性ある生徒への個々のアプローチが今後取り組みたい内容として挙げられている。
＜令和4年度「高等専修学校の実態に関するアンケート調査」より、「現在は十分に取り組めていないが、今後取り組みを進めたいと考える内容を選択（複数回答可）」という問いに対して、回答数 86 校のうち「個別カウンセリングの充実」19 校（22.1%） 「SSW の配置」18 校（20.9%）、 「個別指導の充実」17 校（19.8%）と回答。＞
セーフティネットとしての機能をより充実させるために、既存教員の個別指導力やカウンセリング力の向上、また、SC（スクールカウンセラー）や SSW 等専門家の参画を推進しなければならない。

■モデル構築の必要性



1－5. 開発するモデルの概要

【1】事業実施体制の構築

■全体会と分科会の設立

モデル検討委員会(＝全体会)は行政機関、産業界、相談支援機関、教育機関の全ての委員が所属するが、高等専修学校が持つ 3 つの課題に対して、専門性を持つメンバーが解決策を議論し、能動的に効率よく解決への道筋を立てるために 3 つの分科会(小グループ)を立ち上げる。分科会ごとにスモールステップとなる目標を掲げ、その達成に向けて議論・検討し、活動していく。

■分科会の目的と主な取組み事項

分科会	目的	主な取組み事項	参画機関
認知度向上分科会	高等専修学校の認知度向上	●認知度向上のための取組み検討 ●他都道府県の先進事例調査・分析 ●高等専修学校参加校を増やす取組み	行政機関 教育機関
企業連携・カリキュラム開発分科会	さらなる多様な学びを保障	●職場見学・インターンシップ受入れ時の課題分析 ●インターンシップ体験前・体験後キャリア教育カリキュラム案の検討 ●受入れ企業・団体の開拓 ●企業・団体の受入れマニュアル案の検討	産業界 教育機関
セーフティネット推進分科会	セーフティネット機能を充実	●高等専修学校教員のカウンセリング力向上研修会開催 ●発達障害及びグレーゾーンの生徒の対応力向上研修会開催 ●教員が専門家によるカウンセリングやコンサルテーションが受けられる環境整備	相談支援機関 教育機関

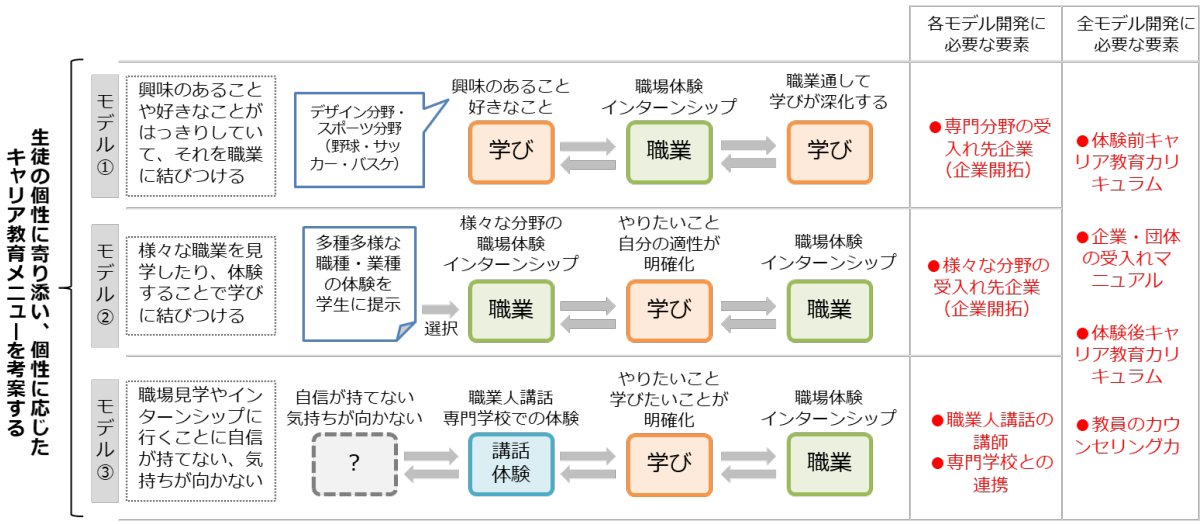
【2】認知度向上のための広報周知活動強化

ターゲット	伝える内容	周知方法
中学生とその保護者	学校生活の様子、在校生の生の声、生徒アンケート結果（知ったきっかけ、入学動機等）	リーフレット作成・配付（2次元バーコードを掲載し、定期的にアップされる動画にアクセス可能）
中学校教員・高校教員		
行政（県及び市町村教育委員会）	高等専修学校について、高等専修学校の魅力	リーフレット作成後、教育委員会を訪問し、配付周知

【3】生徒の個性の寄り添った職場見学・インターンシップの実施体制を構築

高等専修学校の生徒の個性に寄り添いながら、「学び」と「職業」を結びつける仕組みを考える。高等専修学校で好きなことや興味のあることを学び、それを職業にしたいと思う生徒もいれば、職業体験を通して生徒のやりたいことや適性が明確化することもある。また、そもそも職場見学やインターンシップに行くことに自信が持てない、気持ちが前向きにならない場合もあり、職業人講話やグループ内の専門学校での体験により少しずつ職業へと繋げていく。生徒の個性の数と「学び」と「職業」を結びつける方法があると言っても過言ではなく、教員が丁寧にカウンセリングしながら見出していく。教員のカウンセリング力、受入れ企業の開拓（専門分野及び様々な分野）、職業人講話の講師、専門学校との連携は必要不可欠な要素となる。

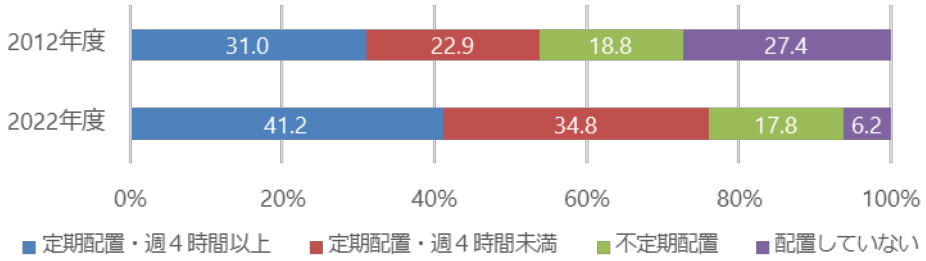
事業推進にあたり、基本的なモデル類型を行いつつも、実証で得られた事例に基づき、現場で活用できるプログラムの構築を図る。



【4】4)セーフティネット機能充実のための相談支援モデルを構築

■専門家配置の現状

文部科学省「学校保健統計調査」によると、高等学校のスクールカウンセラー(SC)の配置について、2012 年度は配置していない学校が 3 割弱あったが、2022 年度は 9 割以上配置し、うち 4 割は週 4 時間以上の定期配置を行っている。



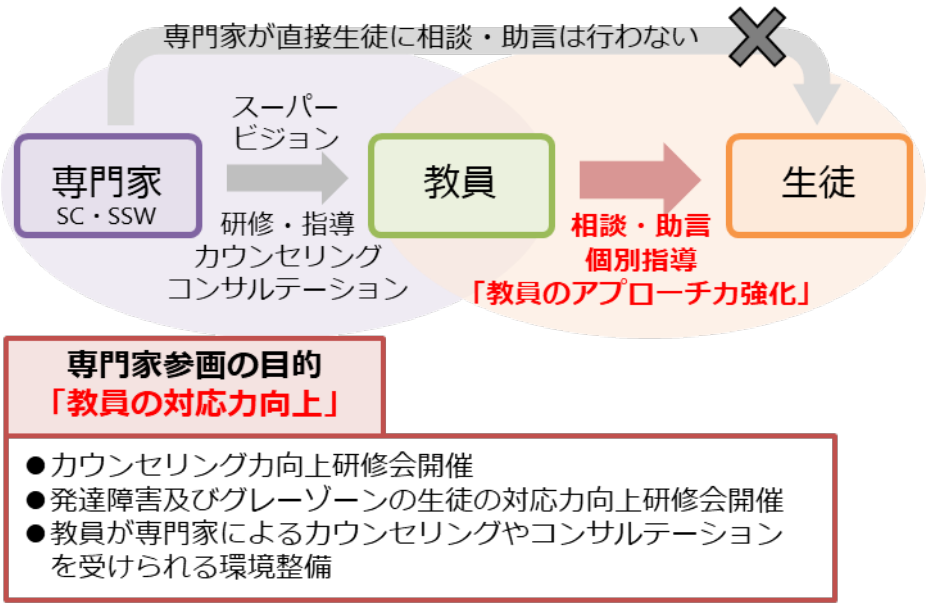
高等学校での SC の配置は徐々に増えてきており、SC は生徒が抱える問題に学校ではカバーし難い多くの役割を担い、教育相談を円滑に進めるための潤滑油ないし、仲立ち的な役割を果たしている。一方、当校では、SC や SSW の配置は行っておらず、保健室設置及び養護教員配置もないというのが実情で、生徒が抱える問題の対応は学校内で教員が行っている。

高等専修学校は、不登校や中退を経験した生徒のためのセーフティネットとして機能しており、当校にも過去に不登校や中退を経験した生徒が在席している。また、発達障害(ASD、ADHD、LD)の診断を受けている生徒、そのグレーゾーンの生徒も在席している。

■外部からの専門家参画の役割

SC や SSW の配置がなく、保健室や養護教諭がいない状況で、不登校や中退を経験した生徒や発達障害及びそのグレーゾーンの生徒と日々接し、相談助言を行っている高等専修学校の教員にとって、SC や SSW 等専門家の参画により実現したいことは「教員に対する相談（カウンセリング、コンサルテーション）」や「教員向け対応研修」、「生徒の心理的な見立てや対応方法の指導」等である。そして、教員自身の対応力がさらに向上し、生徒へのアプローチ力を強化することで、セーフティネット機能をさらに充実させていく。

■構築する相談支援モデル



1－6. 計画の全体像

【令和 6 年度】

1. 事業実施体制の構築

1）全体会の設立

・委員会開催

・事業概要説明

・分科会説明

・調査分析報告

・次年度方向性の検討

2）分科会の設立

・分科会の目的確認

・各分科会の目標設定

・目標達成のための活動検討

2. アンケート・ヒアリング調査分析

1)学生アンケート調査

・高等専修学校の実態調査

・インターンシップ等についての調査

2)教員ヒアリング調査

・キャリア教育に関するヒアリング

・インターンシップ等に関するヒアリング

3)企業・団体ヒアリング調査

・インターンシップ等に関するヒアリング

4)調査分析報告

・報告書作成、報告

3. 報告と成果物

1)事業報告書

2)Web サイトでの活動報告

3)事業 PR 動画

4)調査分析報告書

【令和 7 年度】

1. モデル開発

1)職場見学・インターンシップ前・体験後
キャリア教育カリキュラム

2)認知度向上のための広報ツール制作

2. 実証授業実施

1)体験前キャリア教育

2)職場見学・インターンシップの実施

3)体験後キャリア教育

3. 教員向け研修実施

1)研修内容整理・講師手配

2)研修会開催

4. 認知度向上のための活動

1)市町村教育委員会への周知

2)適応指導教室、フリースクール訪問

3)企業等・団体等訪問

5. 委員会開催
1)全体会開催(年 2 回開催)
2)分科会開催

6. 報告と成果物
1)事業報告書
2)Web サイトでの活動報告
3)事業 PR 動画
4)キャリア教育カリキュラム
5)職場見学・インターンシップ実施報告書

【令和 8 年度】
1. モデル開発
1)職場見学・インターンシップ開催時
企業・団体の受入れマニュアル
2)認知度向上のための広報ツール制作

2. 実証授業(他校・他県)
1)体験前キャリア教育
2)体験後キャリア教育

3. 教員向け研修の実施(他校・他県)
1)講師手配・会場手配
2)研修会開催

4. 普及・定着方策の検討
1)普及に向けた広報物制作
2)中学校での出前授業開催
3)県教育振興基本計画における高等専修学校の位置づけを県に要望

5. 委員会開催
1)全体会開催(年 2 回開催)
2)分科会開催

6. 報告と成果物

1）事業報告書

2）Web サイトでの活動報告

3）事業 PR 動画

4）普及に向けた広報物

5）インターンシップ評価表活用マニュアル

1－7. 今年度の具体的活動

【1】スケジュール

	取組内容①	取組内容②	取組内容③	取組内容④
	事業実施体制の構築	インターンシップ 教材開発	認知度向上のための 活動	カウンセリング 向上研修
6 月				高等専修学校 事例収集
7 月	第１回検討委員会 ・令和７年度事業 概要説明 ・分科会取組説明		パンフレット作成	
8 月			企業訪問・行政機関訪問、学校（中学校・高校）訪問	県内高等専修教員 事例共有会　実施
9 月		インターンシップ 体験プログラム実施		
10 月		インターンシップ 受入れ先訪問		カウンセリング向上 研修実施　全３回
11 月	第２回検討委員会 ・各分科会取組共有		適応指導教室等訪問 相談支援機関訪問	
12 月				
1 月				
2 月	第３回検討委員会 ・各分科会取組共有 ・令和８年度取組について	インターンシップ 評価シート完成 シラバス完成		報告書作成
3 月				

【2】事業実施体制の構築

先述したように、モデル検討委員会(＝全体会)及び 3 つの分科会(＝小グループ)を立ち上げる。分科会ごとにスモールステップとなる目標を掲げ、その達成に向けて議論・検討し、活動していく。

1－8. 事業を実施する上で設置する会議

会議名①	モデル検討委員会		
目的・役割	高等専修学校が持つ「認知度向上」、「さらなる多様な学びの保障」、「セーフティネット機能の充実」という 3 つの課題を解決し、高等専修学校の職業教育機能強化のために 3 つの分科会を設けるが、その 3 つの分科会を取りまとめ、モデルカリキュラム開発へ提言する。また、モデルカリキュラム評価、実証授業評価等、検証評価の役割も担う。		
検討の 具体的内容	1. 分科会の取りまとめ ・「認知度向上分科会」「企業連携・カリキュラム開発分科会」「セーフティネット推進分科会」の取りまとめ ・モデルカリキュラム開発への提言 ・モデルカリキュラム改善点検討 ・実証授業改善点検討 ・開発したモデルカリキュラムの今後の実施・普及方策検討 2. 検証評価 ・開発教材、評価表 ・認知度向上のための広報活動 ・インターンシップ実施状況 ・教員向け研修実施状況 ・調査分析報告結果		
委員数	18 人	開催頻度	令和 6 年度年 2 回 令和 7,8 年度年 3 回

会議名②	認知度向上分科会
目的・役割	高等専修学校の認知度向上を目的とする。

検討の 具体的内容	・認知度向上のための取組み検討 ・他都道府県の先進事例調査・分析 ・高等専修学校参加校を増やす取組み		
委員数	6 人	開催頻度	年 2 回

会議名③	企業連携・カリキュラム開発分科会		
目的・役割	高等専修学校のさらなる多様な学びを保障することを目的とする。		
検討の 具体的内容	・職場見学・インターンシップ受入れ時の課題分析 ・インターンシップ体験前・体験後キャリア教育カリキュラム案の検討 ・受入れ企業・団体の開拓 ・企業・団体の受入れマニュアル案の検討		
委員数	10 人	開催頻度	年 2 回

会議名④	セーフティネット推進分科会		
目的・役割	セーフティネット機能を充実することを目的とする。		
検討の 具体的内容	・高等専修学校教員のカウンセリング力向上研修会開催 ・発達障害及びグレーゾーンの生徒の対応力向上研修会開催 ・教員が専門家によるカウンセリングやコンサルテーションが受けられる環境整備		
委員数	9 人	開催頻度	年 2 回

1－9. 事業を実施する上で必要な調査

調査名	「地域に根ざした高等専修学校機能強化先導的モデル構築」に向けたアンケート調査
調査目的	高等専修学校には「認知度向上」、「さらなる多様な学びの保障」、「セーフティネット機能の充実」という 3 つの課題がある。また、高等専修学校には職業教育機能を強化することが求められている。3 つの課題解決及び職業教育機能強化に向け、先導的モデルを構築するための基礎資料とするためアンケート及びヒアリング調査を実施する。調査結果をもとに高等専修学校に通う生徒、高等専修学校教員、県内中学校、高等専修学校の生徒をインターンシップで受け入れる企業の実態を把握し、構築モデルの方向性を取りまとめる。
調査対象	①高等専修学校に通う生徒(県内・県外)100 名程度 ②沖縄県内中学校　140 校程度
調査手法	質問紙法
調査項目	①高等専修学校に通う生徒(県内・県外)100 名程度 1)実態調査 ・高等専修学校を知ったきっかけ ・高等専修学校への入学動機 ・高等専修学校での体験活動や受けた指導 ・高等専修学校の魅力、課題 ・卒業後の希望進路　等 2)インターンシップ等についての調査 ・インターンシップ参加状況 ・インターンシップ実施経路 ・インターンシップ体験前・体験後のキャリア教育 　内容 ・インターンシップの意義、感想 ・将来や進路とインターンシップの関わり状況　等 ②沖縄県内中学校　140 校程度 1)高等専修学校の認知度 2)高等専修学校の課題 3)高等専修学校への要望　等
分析内容 （集計項目）	・高等専修学校に通う生徒に高等専修学校を知ったきっかけや入学動機、入学してからの実態を調査 ・高等専修学校に中学生を送り出した中学校の実態を調査

	・高等専修学校に通う生徒とそこに送り出した中学校との実態を明らかにしたのち、認知度向上のための方策検討 ・高等専修学校生徒のインターンシップについての実態調査
構築しようとしているモデルの検討にどのように 反映するか （活用手法）	結果をふまえ、認知度向上のための広報ツール制作の方向性、インターンシップ体験前・体験後キャリア教育カリキュラムの内容を検討する。

調　査　名	「地域に根ざした高等専修学校機能強化先導的モデル構築」に向けたヒアリング調査
調 査 目 的	高等専修学校からインターンシップ等に生徒を送り出す教員側と受け入れる企業・団体側にそれぞれヒアリング調査し、キャリア教育及びインターンシップの現状と課題を分析、把握し、構築モデルの方向性を取りまとめる。
調 査 対 象	①高等専修学校教員　10 名程度 ②インターンシップ受入れ企業・団体　10 社程度
調 査 手 法	インタビュー法（対面またはオンライン）
調 査 項 目	①教員向け ・キャリア教育の実施状況 ・キャリアカウンセリングの実施状況 ・キャリア教育実施上の課題、困りごと ・インターンシップ実施状況 ②企業・団体向け ・インターンシップ受入れ状況 ・インターンシップ受入れ上の課題、困りごと ・学校内で求められる教育内容
分 析 内 容 （集 計 項 目）	・インターンシップに生徒を送り出す教員のキャリア教育とインターンシップに送り出す際の現状と課題分析 ・インターンシップで生徒を受け入れる企業の受入れ上の課題等を分析 ・教員と企業双方の意見を集約し、インターンシップの円滑な実施のための方策を検討

構築しようとしているモデルの検討にどのように反映するか（活用手法）	結果をふまえ、インターンシップ体験前・体験後キャリア教育カリキュラムの内容及び職場見学・インターンシップ開催時企業・団体の受入れマニュアルの内容を検討する。

2. 今年度の活動報告

2－1. 実証授業(インターンシップ)の実施

【1】インターンシップ日程

令和 7 年 11 日 18 日(火)～令和 7 年 11 月 20 日(木)

【2】活動内容

月	主な活動内容
4 月	全体スケジュール確認・調整
5 月	スケジュール策定・文科省への提出 生徒への動機づけ準備
6 月	生徒への動機づけ実施(6 月 26 日) 希望調査・企業選定
7 月	企業依頼・行先調整 生徒の行先確定に向けた調整(7 月 16 日までに確定)
8 月	生徒配布資料(「インターンシップのしおり」)作成
9 月	企業決定(16 社)・生徒割り振り完了 ワークシート記入講座(9 月 12 日、24 日)・職員共有 マナー講習の実施決定
10 月	マナー講習実施(10 月 8 日、15 日) 生徒による企業への電話がけ(10 月 16 日～25 日) 職員による企業への事前訪問(10 月 21 日～11 月 15 日) 職員訪問担当の決定(10 月 22 日)・共有(10 月 24 日)
11 月	事前オリエンテーション(11 月 17 日) インターンシップ本番(11 月 18 日～21 日) お礼状作成(11 月 21 日)
12 月	インターンシップ報告会(12 月 16 日)

2－2. 教員向け研修

【1】教員向け「対応力向上研修」日程

	日程	テーマ	講師
第１回	８月 29 日	不登校の生徒に対する声のかけ方	臨床心理士 松本　大進氏
第２回	10 月３日	発達障害をもつ生徒の対応について	臨床心理士 松本　大進氏
第３回	12 月 12 日	就労支援、社会適応力の育成について	福祉事業所、福祉型ワークスクール 近藤　賢宏氏

2－3. 認知度向上のための活動

【1】訪問記録

日付	訪問記録
11/12	高等専修学校の認知は上がっていると思う。不登校の生徒には、得意な分野を特化した学校を案内したほうがいい。今年「ラフ＆ピース」を志望生徒がいたが、学費の面であきらめた。学校が遠いと交通費もかかるし、保護者の負担が大きい。経済的支援がもっと充実してくれたらいいと思う。結局、学費の工面ができなくて通信制の高校に出願した。
11/13	進路の先生授業中
11/13	進路の先生授業中
11/13	保護者から先に高等専修学校の情報をいただいて、出願の準備をしている。KBCは毎年スポーツコースで出願者がいるので、認知度は高い。私立高校と高等専修学校を同じ学校種として考えている保護者が多い。沖縄だと「沖尚」「興南」「KBC」は同等であるという認識を職員ももっている。その方が、経済的面でも説明しやすい。（私立高校と費用は同じ）選択肢を広げるというのなら、県立高校と同じくらいの学費だと検討できる。
11/13	不在
11/13	認知度はとても高くなっていると思う。生徒本人や保護者から高等専修学校を選択されるケースがある。教員の方が追い付いていない。経済的な不安はあるが、それだけ生徒に寄り添った教育をしているのではないか。県立高校の退学率も高くなっている中、しっかり卒業させてくれる環境があるなら高等専修学校を選ぶ価値はある。
11/28	不登校の生徒は、県内に通信制の高校が増えているので流れている傾向がある。不登校であれば一概にゲームが得意である生徒ばかりではない。スポーツ推薦で KBC へ出願している生徒がいる。子ども同士の口コミ情報が早くて、保護者が後から進路先を知る場合も多い。

	進学すらあきらめている生徒もいるので、自立支援事業所なども含め知る機会があればいい。
11/28	高等専修学校の認知は高まっていると思う。県内の高等専修学校のリストを見て「この学校も高等専修学校なの？」という学校もあった。（先生も知らなかった）専門学校に付随する高等専修学校は技術、資格を教えてくれるから評価は高い。 先生が独自で行っている工夫としては、進路指導室の整備で、パンフを見やすく配置している。 先輩に聞くという行事を毎年 8 月に卒業生を呼び実施。高専の卒業生は検定試験があるからと断られた。9 月出発する高校留学を決めた生徒に登壇してもらい、県立高校だけが進学先ではないという認知は高い。生徒も SNS などで、いろいろな校種の学校を知っている。保護者への説明会が不足しているのではないか。 経済的な面でも、最近の保護者は寛容である。子どもの希望を最優先させる傾向がある。一方で、子どもにすべて任せてしまい、勝手にオープンキャンパスを申し込み、出願し合格までもらっている生徒がいるので学校としては困っている。
11/28	高等専修学校の認知度は高い。高等専修学校を一同に集めたガイダンスがあったら良いのではないか。高等専修学校は生徒の得意分野に特化した学校であるのが魅力。 県内には無い県外の航空系、看護系専修学校のアプローチもある。 KBC 高等学院スポーツコースへの希望者が毎年多数いて、保護者も本人の特技を生かせる学校として人気が高い。その他、美容系、芸能系の学校への関心が高い。
11/28	例年多くの生徒を KBC 学園に送っているので、申し出があれば迷いなく（高等専修学校へ）進路指導しているだろう。その他の学校については、あまり数は無い。 最終的には卒業率、高校卒業後の進路が問題になるだろう。

※訪問中学校名、担当者省略

3. インターンシップ実施状況調査

3－1. 調査方法

【1】調査手法

①生徒向け：質問紙法によるアンケート調査を実施した。
②受入れ企業向け：質問紙法によるアンケート調査を実施した。

【2】調査対象

令和7年秋にインターンシップに参加した高等専修学校生徒を対象とした。
令和7年秋にインターンシップ生を受け入れた企業・団体を対象とした。

【3】評価実施（内訳）

対象 ……学校法人 KBC 学園（全体 43 名）
（内）デジタル系コース（15）・スポーツ系コース（28）
回答数……インターンシップ実施前43件（アンケート）
（内）デジタル系コース（15）・スポーツ系コース（28）
インターンシップ実施後 41 件（アンケート）
（内）デジタル系コース（13）・スポーツ系コース（28）

【4】インターンシップ日程

令和 7 年 11 日 18 日（火）～令和 7 年 11 月 20 日（木）

【5】インターンシップ受入れ企業

（株）ロワジールホテルズ沖縄
（社）愛育会めぐみの森保育園
（有）スポーツトグチ
YELLOW CROSS 接骨院
沖縄こどもの国 ワンダーミュージアム
沖縄ワタベウェディング（株）
自衛隊沖縄地方協力本部
スポーツパレスジスタス那覇店
マクドナルド小禄店
エーススポーツクラブ
株式会社モビイクス
マクドナルド真嘉比古島店

久米島ホタル会
リウボウストア

3－2. 調査項目

【1】評価調査

学生情報
・学科コース ・氏名
1 基本行動・マナーについて
・(1-1)初対面の人へ自ら挨拶ができる ・(1-2)遅刻などせず、10分前行動ができる ・(1-3)目上の人に対して正しい敬語を使って話すことができる
2 学ぶ姿勢について
・(2-1)苦手な作業や興味のない内容にも前向きに取り組もうとする姿勢がある ・(2-2)自分で考えて動き、工夫しながら取り組もうとしている
3 協働性・コミュニケーションについて
・(3-1)クラスや活動の中で、まわりの人と協力して行動できている ・(3-2)わからないことがあったときに、早めに自分から質問や確認ができる
4 感謝・謙虚な態度について
・(4-1)感謝の気持ちを言葉や行動で表すことができる ・(4-2)指導や助言を素直に受け止めることができる
5 責任感について
・(5-1)掃除や当番など、任されたことに責任をもって取り組もうとしている ・(5-2)頼まれごとや苦手なことでも、途中であきらめずに、最後までやり抜くことができる
A 目標とする項目(3つ) ※上記(1-1)～(5-2)より
・現在のレベル ・目標のレベル
B インターンシップの基本行動のうち、できていると思う行動(複数選択可)
・(1)反応を示す　・(2)復唱する　・(3)メモをとる ・(4)質問する　・(5)確認する

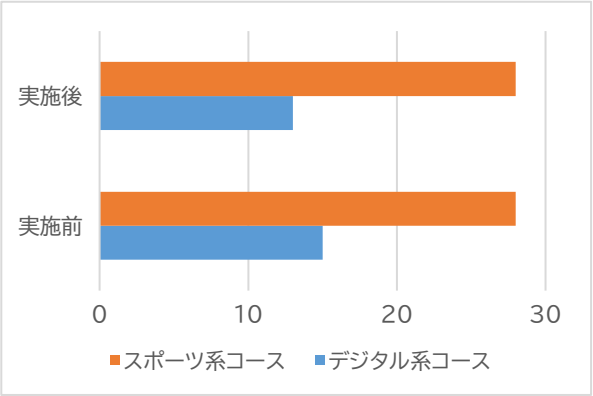
３－３. 評価者・評価方法

インターンシップで身につけたい項目に対して、ルーブリック評価を設け、どのレベル（インターンシップ実施前）からどのレベル（インターンシップ終了後）になりたいか生徒自身が9段階で目標を設定し、インターンシップに臨む。また、インターンシップ終了後、受入れ企業側が生徒の目標設定に対して評価・コメントを行う。

3－4. インターンシップ評価シート集計結果（全体）

【1】学生情報(全体)

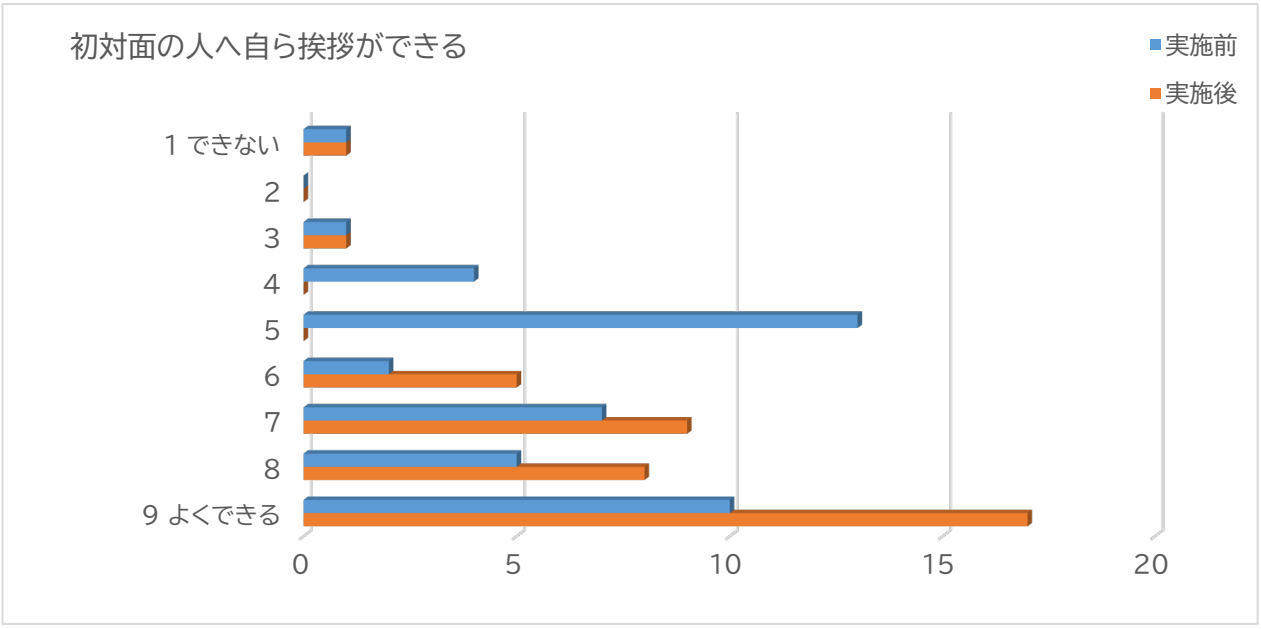
	実施前	実施後
デジタル系コース	15 名	13 名
スポーツ系コース	28 名	28 名
合計	43 名	41 名



＜基本行動･マナーについて＞

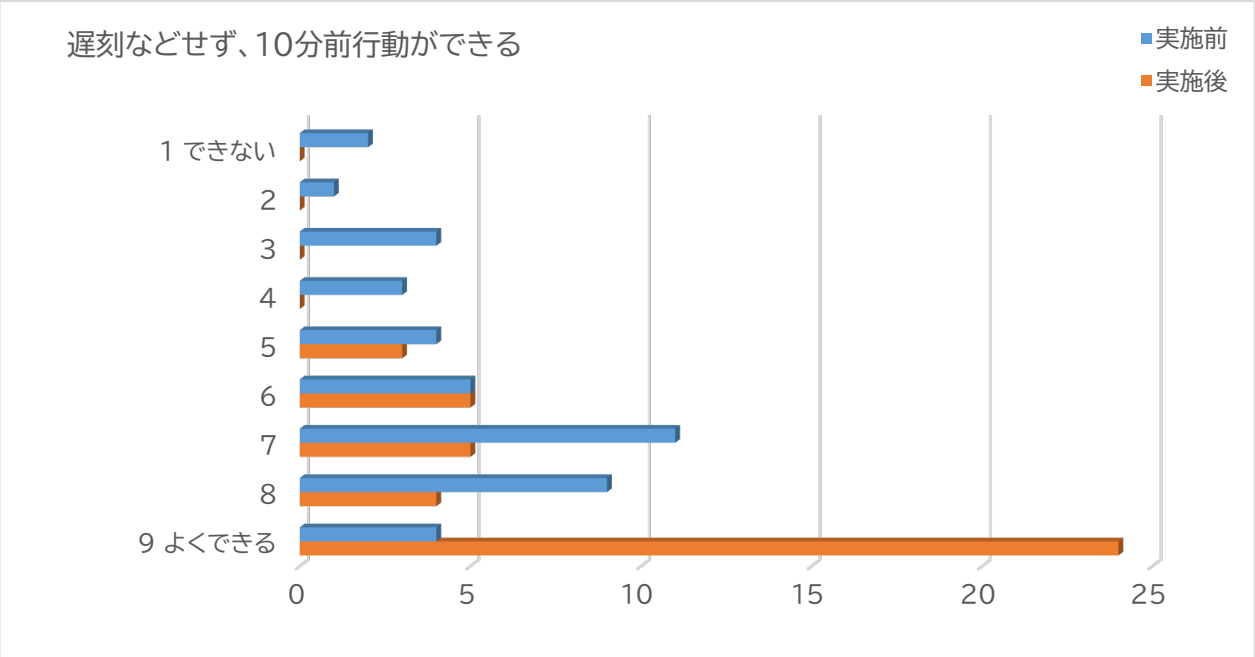
【1-1】 初対面の人へ自ら挨拶ができる

		実施前	実施後
1	緊張して黙ってしまい、相手に話しかけられても返事ができないことが多い	1	1
2		0	0
3	自分からは話しかけず、挨拶されても返すのがやっとである	1	1
4		4	0
5	挨拶されれば笑顔で返すことができ、自分から挨拶できるときもある	13	0
6		2	5
7	初対面でも落ち着いて自分から挨拶でき、相手の目を見て話すことができる	7	9
8		5	8
9	自分から明るく自然に挨拶でき、相手が話しかけやすい雰囲気をつくることができる	10	17



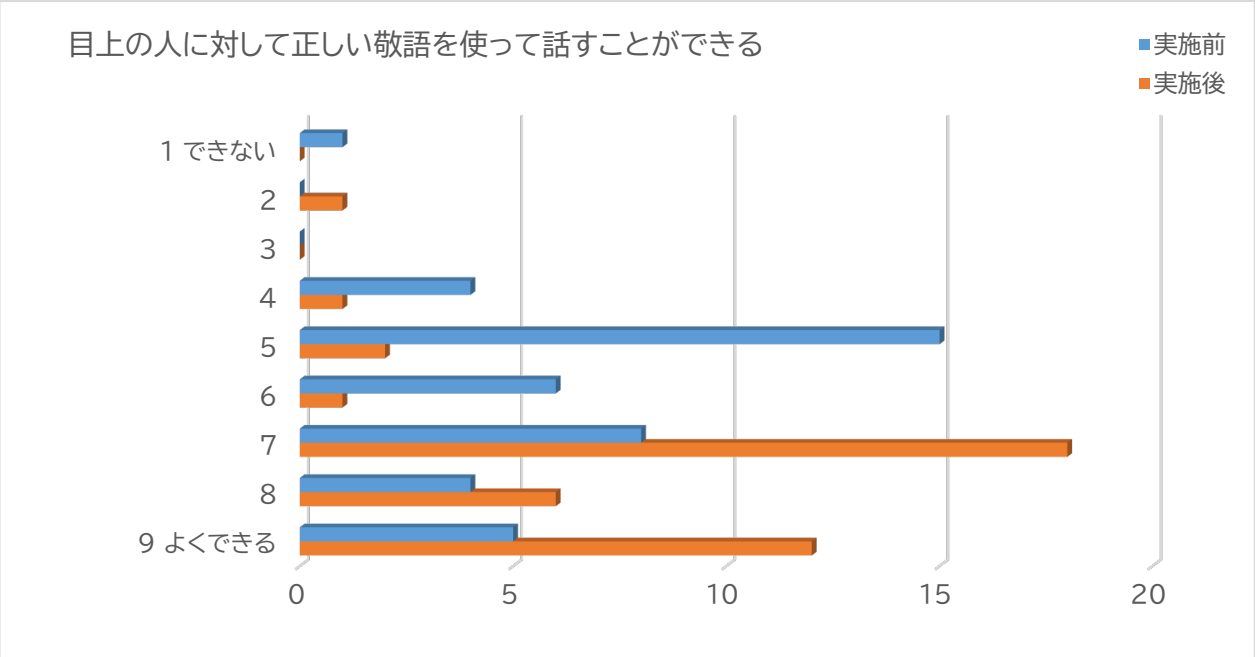
【1-2】 遅刻などせず、10分前行動ができる

		実施前	実施後
1	よく遅れたり、集合時間に間に合わないことがある	2	0
2		1	0
3	指示があれば時間は守るが、ぎりぎりになることが多い	4	0
4		3	0
5	集合時間を意識し、自分なりに間に合うように行動している	4	3
6		5	5
7	自分で時間を逆算し、5 分前には準備を始めることができる	11	5
8		9	4
9	10 分前行動を心がけて行動し、周囲にも落ち着いた印象を与えている。	4	24



【1-3】 目上の人に対して正しい敬語を使って話すことができる

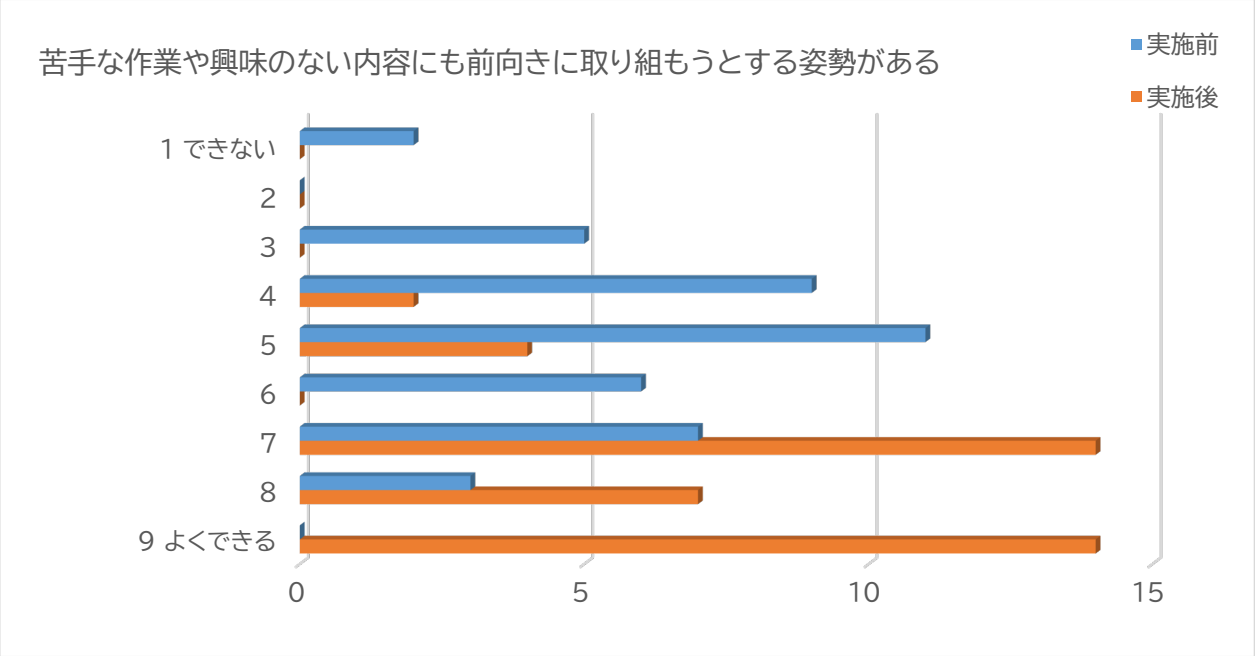
		実施前	実施後
1	敬語が使えず、言葉遣いも不適切で相手に不快感を与えることがある	1	0
2		0	1
3	敬語を使おうとするが不自然で、失礼な印象を与えることがある	0	0
4		4	1
5	基本的な敬語は使えるが、言葉遣いに不慣れな点もありつつ、相手に失礼な印象は与えない	15	2
6		6	1
7	ほとんどの場面で適切な敬語を使い、言葉遣いもおおむね丁寧で正確である	8	18
8		4	6
9	常に正確で丁寧な敬語を使い、相手に安心感を与えている	5	12



＜学ぶ姿勢について＞

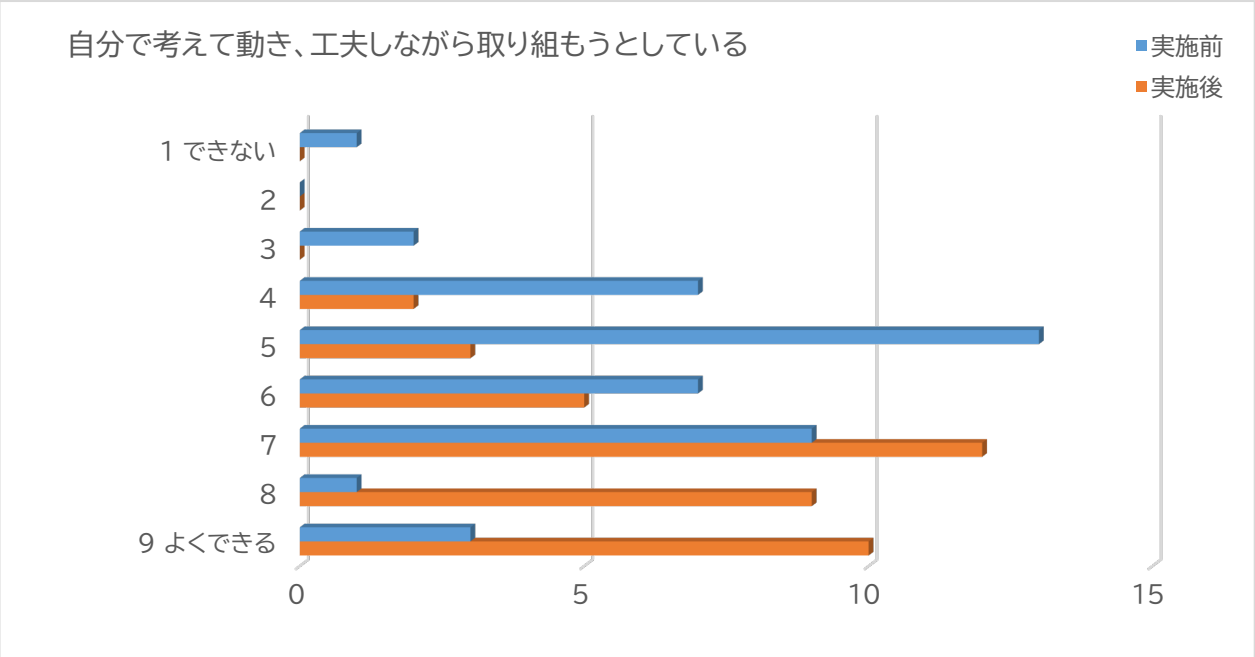
【2-1】 苦手な作業や興味のない内容にも前向きに取り組もうとする姿勢がある

		実施前	実施後
1	苦手なことや興味のない内容を避け、手を抜いてしまうことがある	2	0
2		0	0
3	声をかけられれば取り組むが、自分から進んで関わろうとはしない	5	0
4		9	2
5	単純作業や苦手なことでも、自分なりに取り組もうとする姿勢がある	11	4
6		6	0
7	好きではないことも、仕事の一部として丁寧に取り組むことができる	7	14
8		3	7
9	苦手なことにも進んで関わり、まわりにもよい影響を与えている	0	14



【2-2】 自分で考えて動き、工夫しながら取り組もうとしている

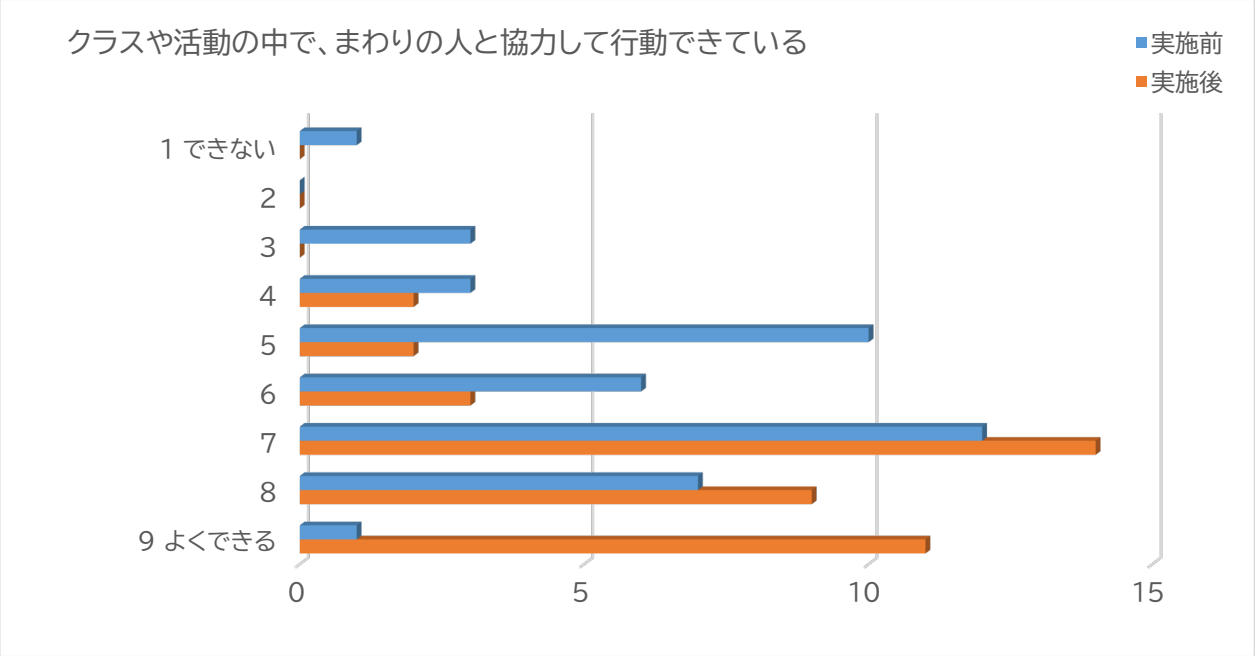
		実施前	実施後
1	指示があるまで動かず、言われたことだけをこなす。自分で工夫することもない	1	0
2		0	0
3	言われたことには取り組むが、自分から動かず、工夫もほとんどしない	2	0
4		7	2
5	周囲に気づいて行動することがあり、簡単な工夫も試そうとする	13	3
6		7	5
7	自分で考えて動き効率や結果を意識して工夫できる	9	12
8		1	9
9	周囲を見て先を読み、積極的に動きながら工夫し、良い影響を与えている	3	10



＜協働性･コミュニケーションについて＞

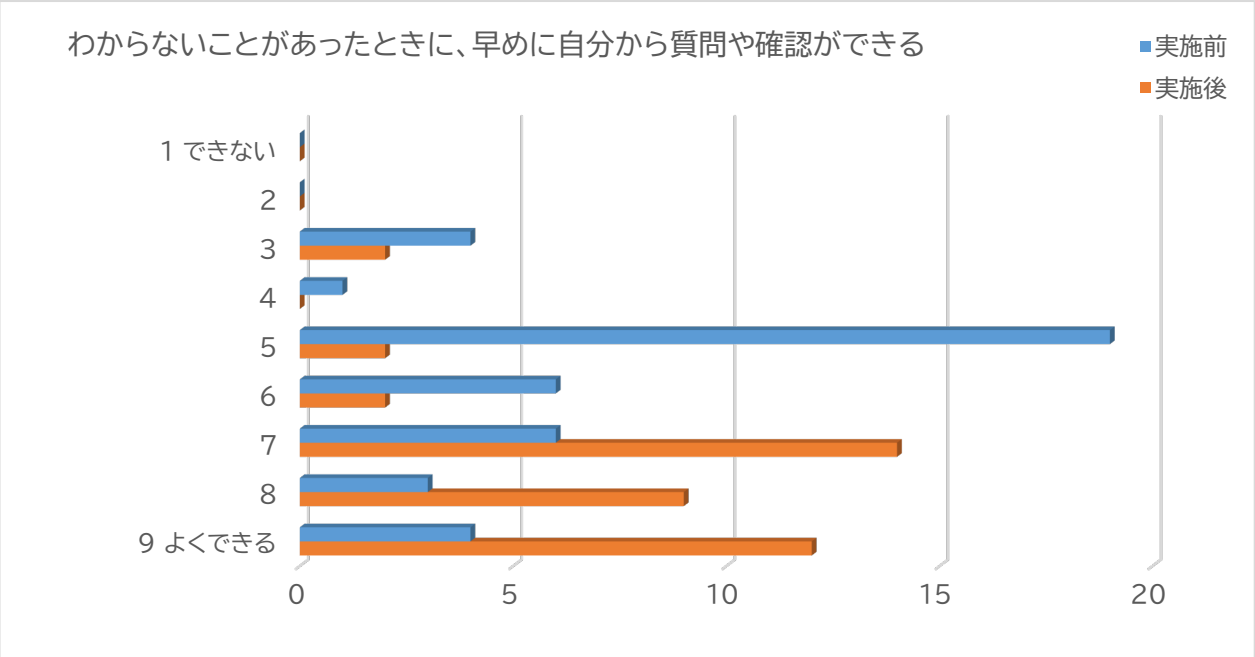
【3-1】 クラスや活動の中で、まわりの人と協力して行動できている

		実施前	実施後
1	自分のことに集中し、まわりと関わろうとしない	1	0
2		0	0
3	声をかけられれば一緒にできるが、自分から関わろうとはしない	3	0
4		3	2
5	近くの人の動きを見ながら、自分にできることをやろうとする	10	2
6		6	3
7	作業中に声をかけ合いながら、まわりと協力して行動できる	12	14
8		7	9
9	全体の様子を見て、自分の役割を考え、活動の流れを支えることができる	1	11



【3-2】 わからないことがあったときに、早めに自分から質問や確認ができる

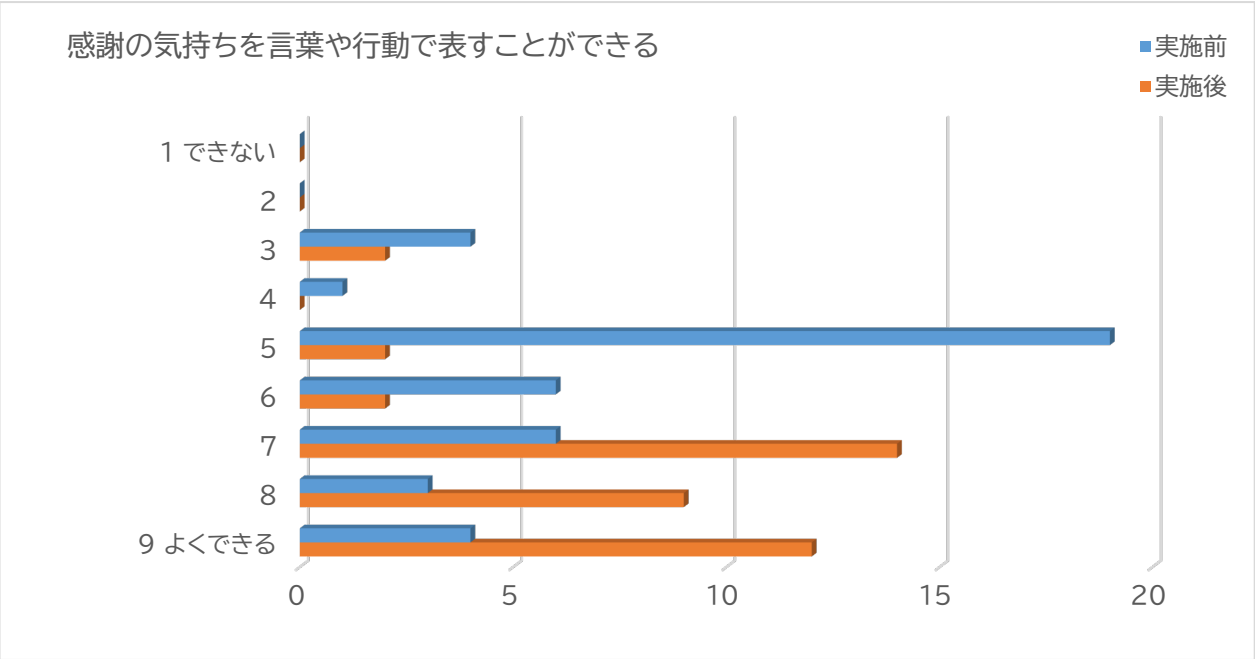
		実施前	実施後
1	わからないことがあっても、誰にも聞かずそのままにしてしまう	0	0
2		0	0
3	聞きたい気持ちはあるが、自分から声をかけることができない	4	2
4		1	0
5	タイミングを見て、自分から質問や確認をしようとする	19	2
6		6	2
7	自分から質問や確認ができ、内容を正確に伝えようとしている	6	14
8		3	9
9	質問や確認の仕方を工夫し、相手が答えやすいように伝えることができる	4	12



＜感謝･謙虚な態度について＞

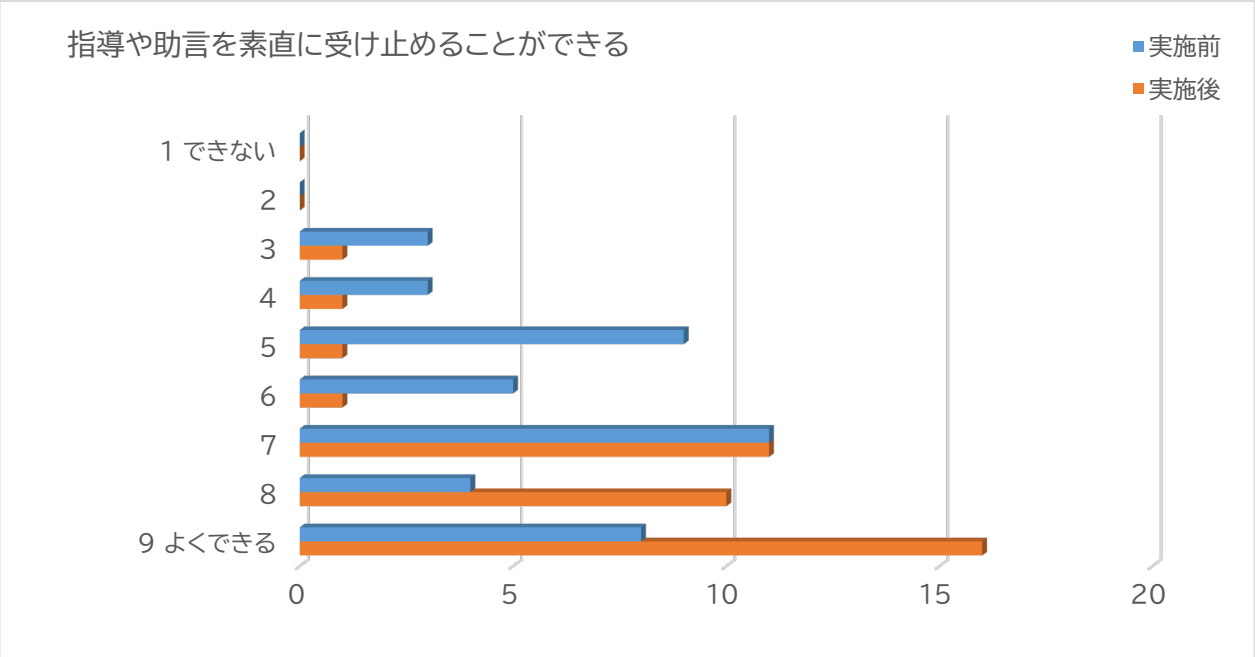
【4-1】 感謝の気持ちを言葉や行動で表すことができる

		実施前	実施後
1	感謝の気持ちがあっても、言葉や態度に表れない	0	0
2		1	0
3	感謝の気持ちはあるが、自分から言葉や行動にすることが少ない	1	2
4		1	0
5	何かしてもらったときに「ありがとう」と伝えようとしている	7	0
6		2	1
7	状況に応じて、自然に感謝の言葉を伝えることができる	19	9
8		5	10
9	言葉や態度に感謝の気持ちがあらわれ、まわりにも良い印象を与えている	7	19



【4-2】 指導や助言を素直に受け止めることができる

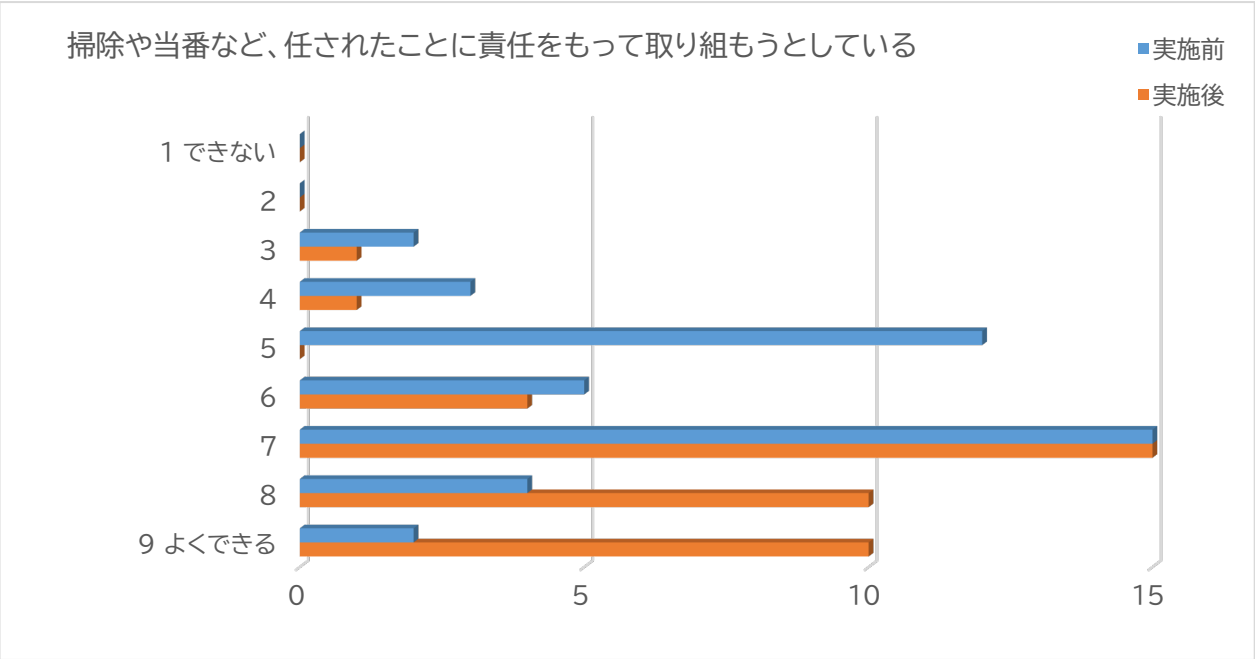
		実施前	実施後
1	注意されても受け止めず、不満な態度が表れることがある	0	0
2		0	0
3	指摘を受け止めようとするが、気持ちの切り替えに時間がかかる	3	1
4		3	1
5	アドバイスを前向きに受け止め、次の行動に活かそうとしている	9	1
6		5	1
7	指導を素直に受け止め、すぐに行動を改善しようとしている	11	11
8		4	10
9	助言を成長の機会ととらえ、積極的に行動に反映している	8	16



＜責任感について＞

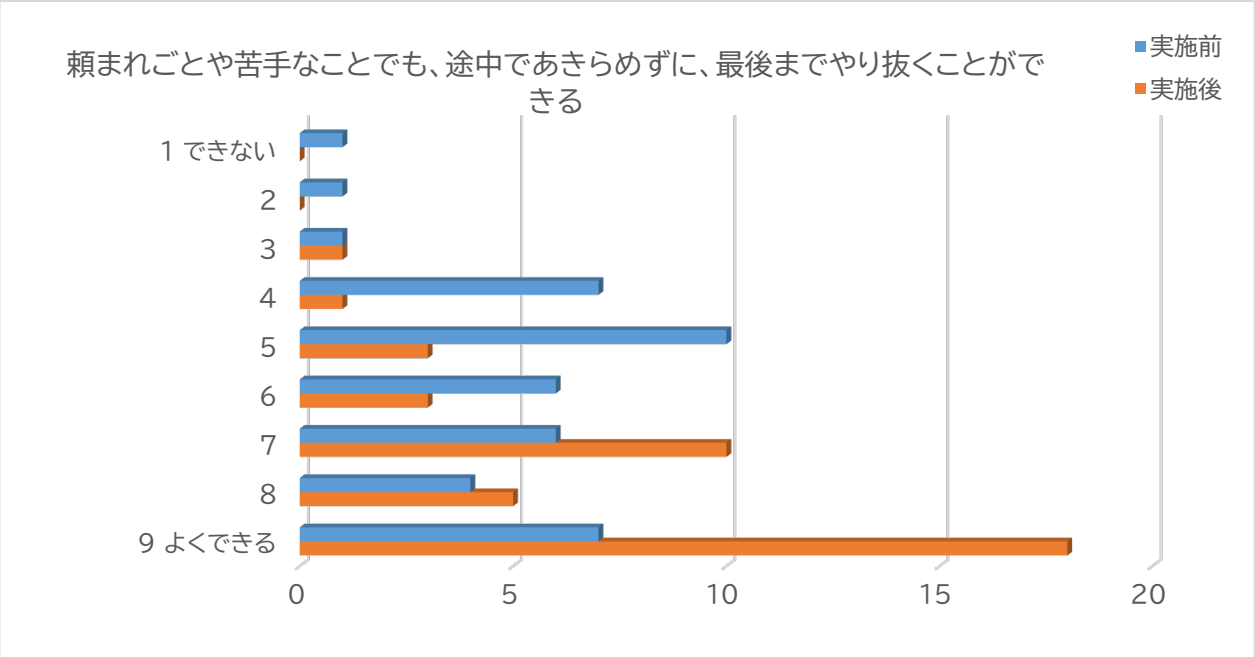
【5-1】 掃除や当番など、任されたことに責任をもって取り組もうとしている

		実施前	実施後
1	当番などを忘れたり、やるべきことを放置してしまうことがある	0	0
2		0	0
3	声をかけられれば取り組めるが、自分からは動けないことがある	2	1
4		3	1
5	任されたことを忘れず、自分の役割として取り組んでいる	12	0
6		5	4
7	任されたことを最後まできちんと取り組み、役割を果たしている	15	15
8		4	10
9	自分の役割を自覚してきちんと果たし、まわりにも安心感を与えている	2	10



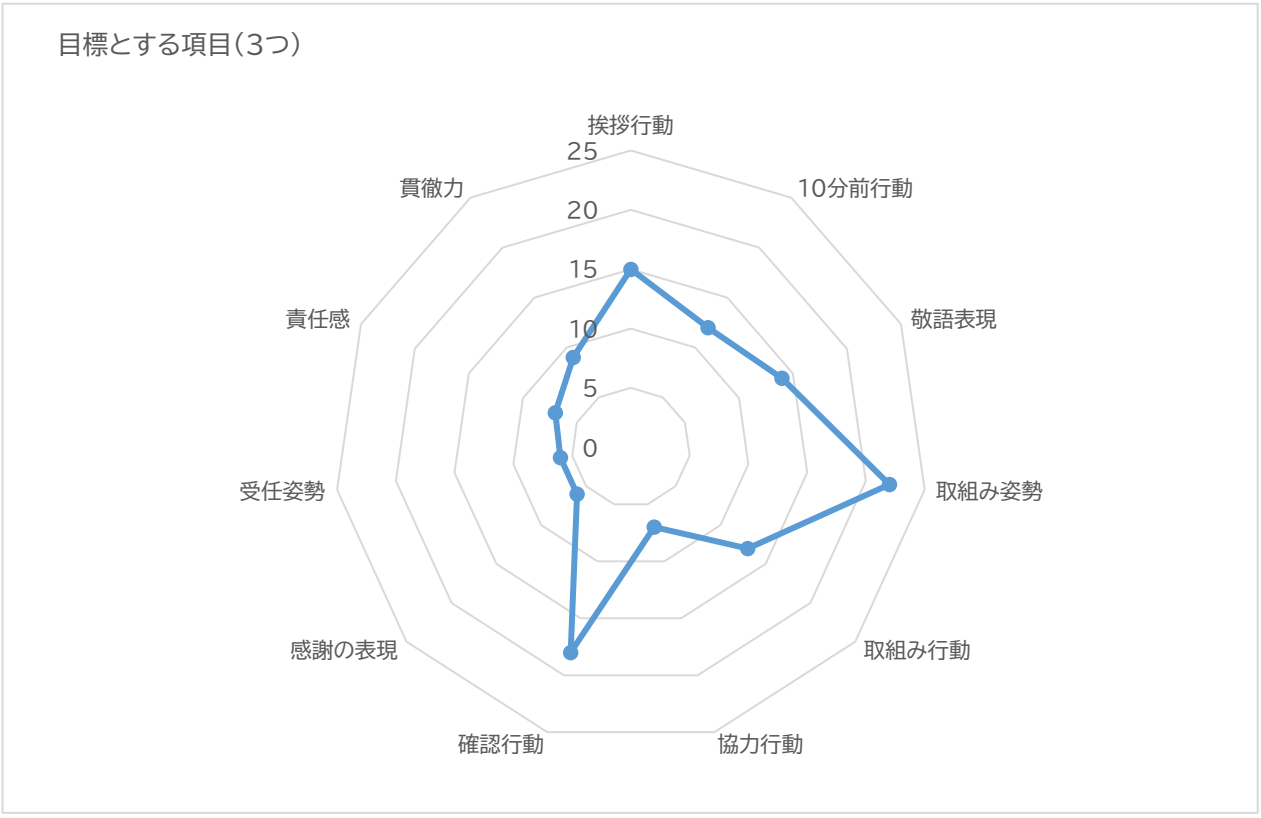
【5-2】 頼まれごとや苦手なことでも、途中であきらめずに、最後までやりぬくことができる

		実施前	実施後
1	難しいことや面倒なことを途中でやめてしまう	1	0
2		1	0
3	サポートがあれば続けられるが、自分だけではやり抜けない	1	1
4		7	1
5	難しさを感じても、途中で投げ出さずに最後まで取り組もうとしている	10	3
6		6	3
7	工夫しながら継続し、最後までやり抜くことができる	6	10
8		4	5
9	粘り強くやり抜き、成果や達成感を得ることができる	7	18



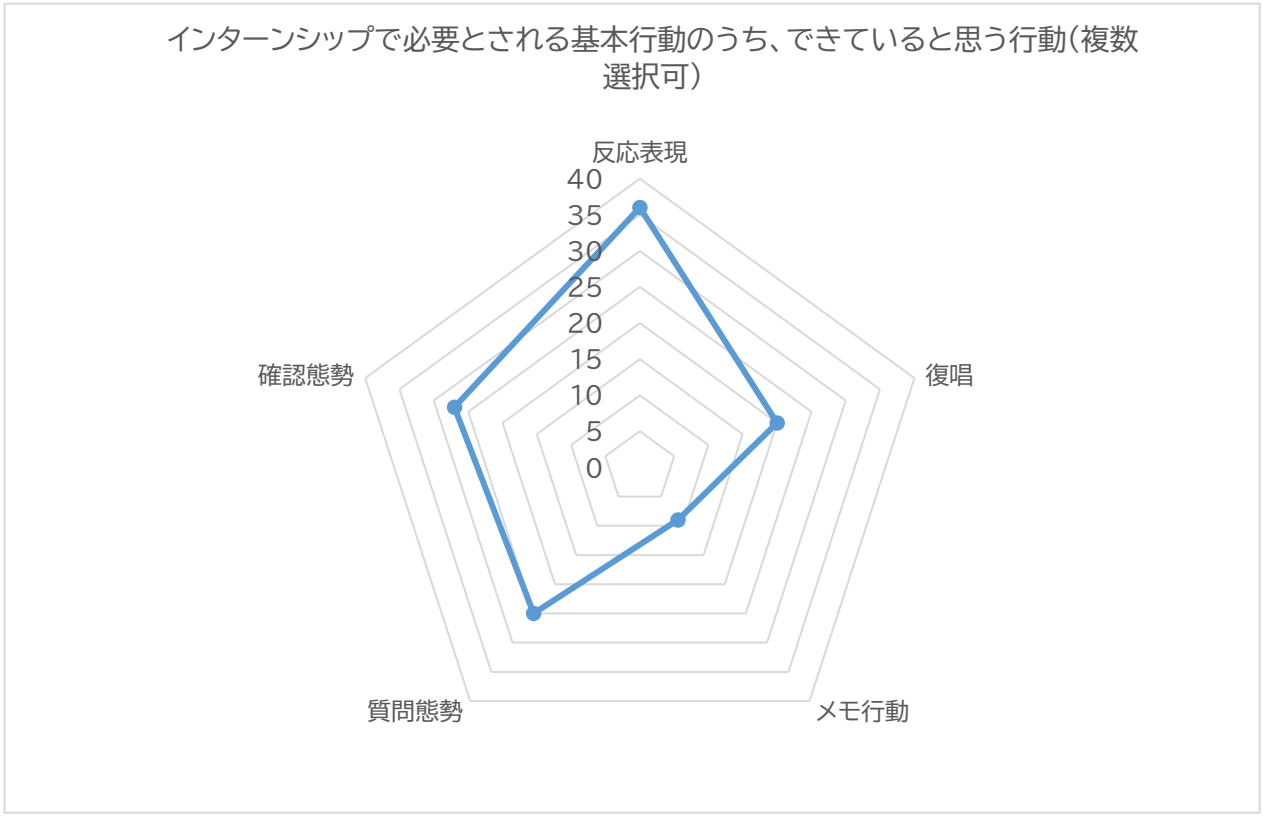
【A】　目標として設定する項目(3 つ)

			実施前
1-1	初対面の人へ自ら挨拶ができる	挨拶行動	15
1-2	遅刻などせず、10 分前行動ができる	10 分前行動	12
1-3	目上の人に対して正しい敬語を使って話すことができる	敬語表現	14
2-1	苦手な作業や興味のない内容にも前向きに取り組もうとする姿勢がある	取組み姿勢	22
2-2	自分で考えて動き、工夫しながら取り組もうとしている	取組み行動	13
3-1	クラスや活動の中で、まわりの人と協力して行動できている	協力行動	7
3-2	わからないことがあったときに、早めに自分から質問や確認ができる	確認行動	18
4-1	感謝の気持ちを言葉や行動で表すことができる	感謝の表現	6
4-2	指導や助言を素直に受け止めることができる	受任姿勢	6
5-1	掃除や当番など、任されたことに責任をもって取り組もうとしている	責任感	7
5-2	頼まれごとや苦手なことでも、途中であきらめずに、最後までやり抜くことができる	貫徹力	9



【B】　インターンシップで必要とされる基本行動のうち、できていると思う行動（複数選択可）

			実施前
1	反応を示す‥（表情や態度で聞いていることを伝えられている）	反応表現	36
2	復唱する‥（誤解なく、受け止めていることを伝えられている）	復唱	20
3	メモをとる‥（必要に応じて、聞いたことを記録として残すことができる）	メモ行動	9
4	質問する‥（不明点等があれば、質問することができる）	質問態勢	25
5	確認する‥（相手に伝わっているかどうか、確認することができる）	確認態勢	27



3－5. インターンシップ評価シート集計結果(デジタル系)

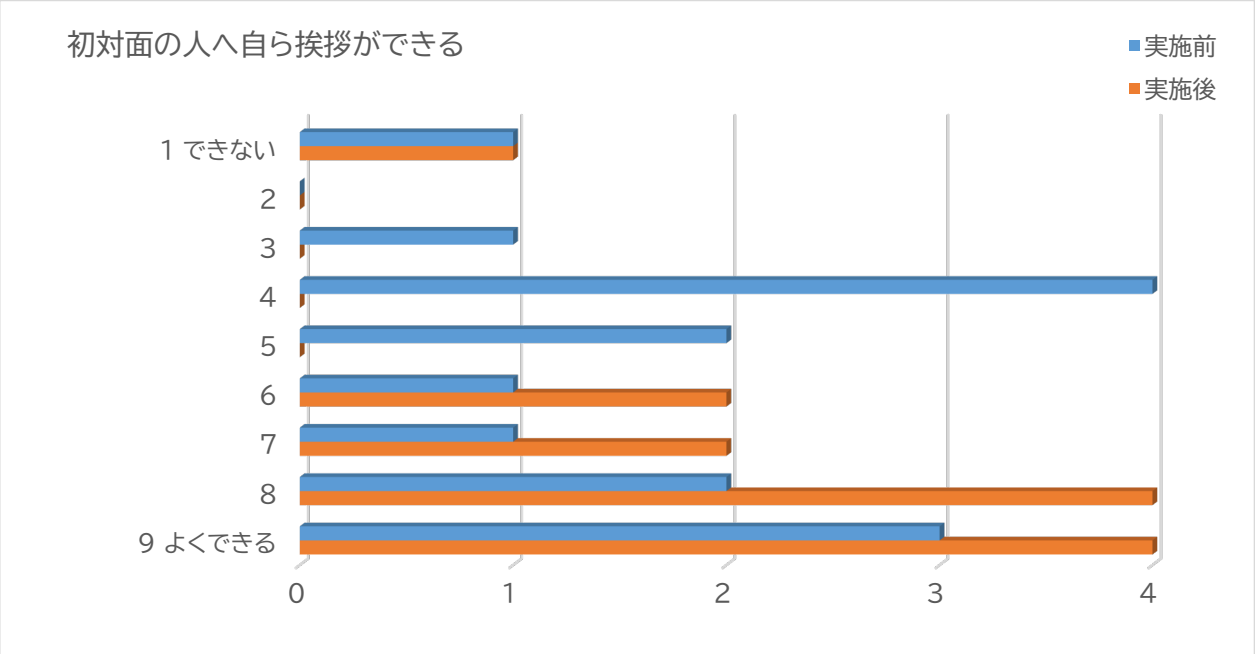
【1】学生情報(デジタル系コース)

	実施前	実施後
デジタル系コース	15 名	13 名

＜基本行動･マナーについて＞

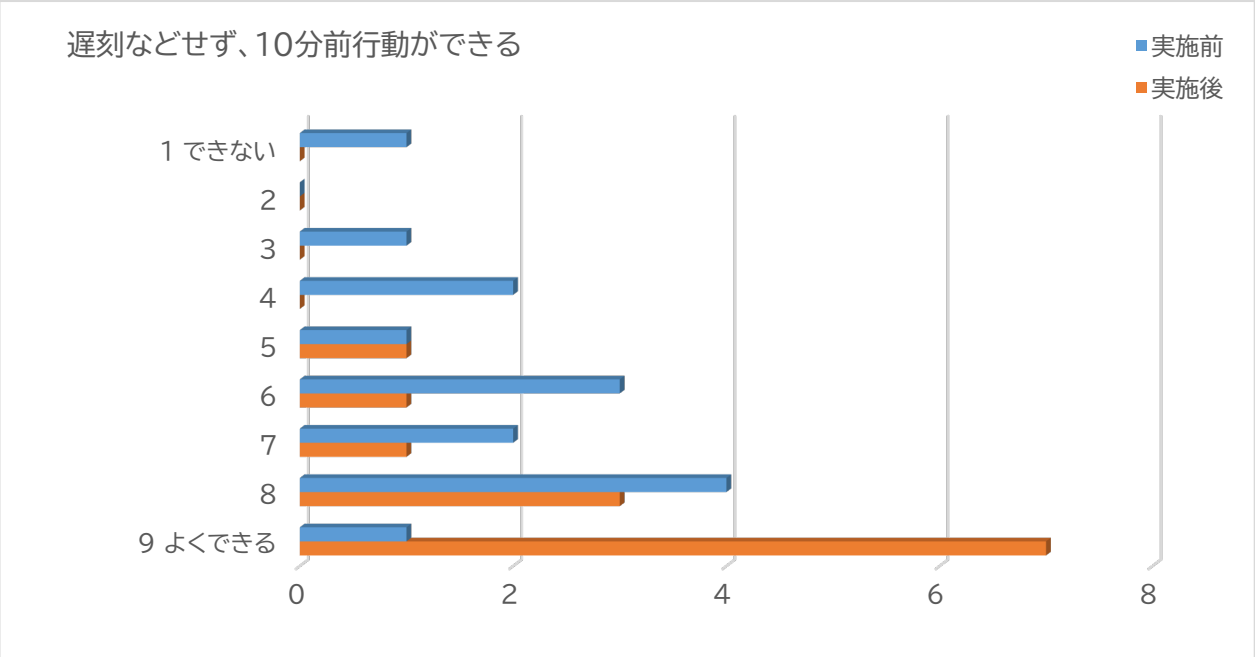
【1-1】 初対面の人へ自ら挨拶ができる

		実施前	実施後
1	緊張して黙ってしまい、相手に話しかけられても返事ができないことが多い	1	1
2		0	0
3	自分からは話しかけず、挨拶されても返すのがやっとである	1	0
4		4	0
5	挨拶されれば笑顔で返すことができ、自分から挨拶できるときもある	2	0
6		1	2
7	初対面でも落ち着いて自分から挨拶でき、相手の目を見て話すことができる	1	2
8		2	4
9	自分から明るく自然に挨拶でき、相手が話しかけやすい雰囲気をつくることができる	3	4



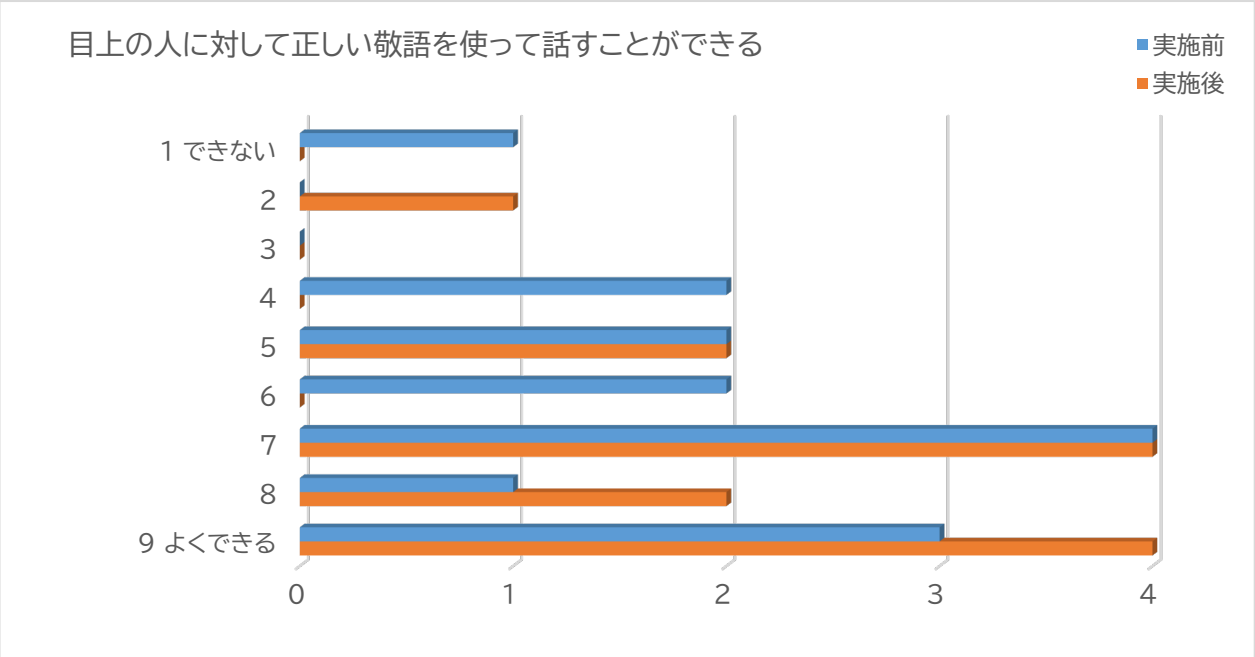
【1-2】 遅刻などせず、10分前行動ができる

		実施前	実施後
1	よく遅れたり、集合時間に間に合わないことがある	1	0
2		0	0
3	指示があれば時間は守るが、ぎりぎりになることが多い	1	0
4		2	0
5	集合時間を意識し、自分なりに間に合うように行動している	1	1
6		3	1
7	自分で時間を逆算し、5 分前には準備を始めることができる	2	1
8		4	3
9	10 分前行動を心がけて行動し、周囲にも落ち着いた印象を与えている。	1	7



【1-3】 目上の人に対して正しい敬語を使って話すことができる

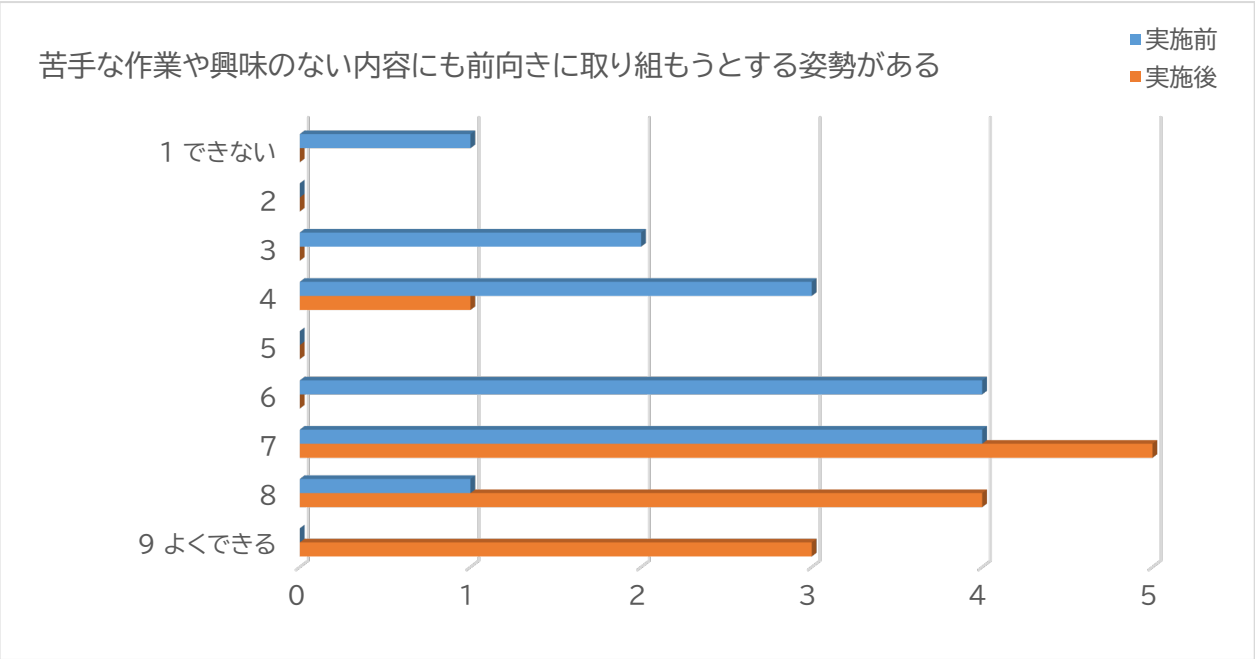
		実施前	実施後
1	敬語が使えず、言葉遣いも不適切で相手に不快感を与えることがある	1	0
2		0	1
3	敬語を使おうとするが不自然で、失礼な印象を与えることがある	0	0
4		2	0
5	基本的な敬語は使えるが、言葉遣いに不慣れな点もありつつ、相手に失礼な印象は与えない	2	2
6		2	0
7	ほとんどの場面で適切な敬語を使い、言葉遣いもおおむね丁寧で正確である	4	4
8		1	2
9	常に正確で丁寧な敬語を使い、相手に安心感を与えている	3	4



＜学ぶ姿勢について＞

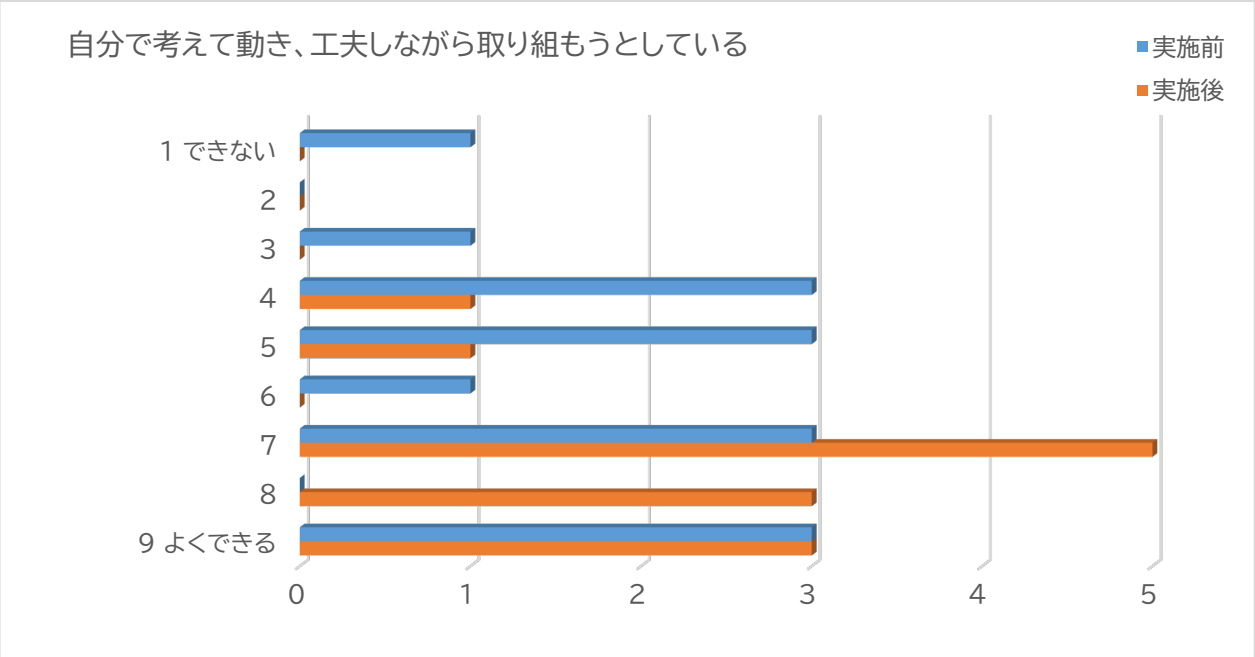
【2-1】 苦手な作業や興味のない内容にも前向きに取り組もうとする姿勢がある

		実施前	実施後
1	苦手なことや興味のない内容を避け、手を抜いてしまうことがある	1	0
2		0	0
3	声をかけられれば取り組むが、自分から進んで関わろうとはしない	2	0
4		3	1
5	単純作業や苦手なことでも、自分なりに取り組もうとする姿勢がある	0	0
6		4	0
7	好きではないことも、仕事の一部として丁寧に取り組むことができる	4	5
8		1	4
9	苦手なことにも進んで関わり、まわりにもよい影響を与えている	0	3



【2-2】 自分で考えて動き、工夫しながら取り組もうとしている

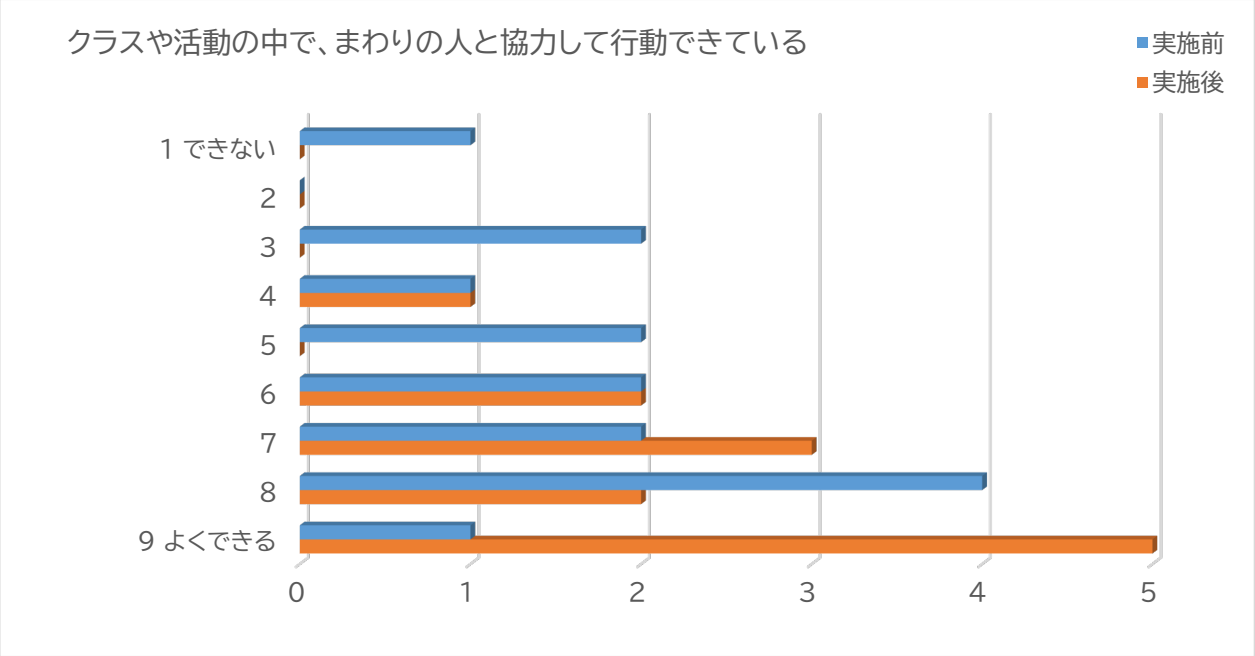
		実施前	実施後
1	指示があるまで動かず、言われたことだけをこなす。自分で工夫することもない	1	0
2		0	0
3	言われたことには取り組むが、自分から動かず、工夫もほとんどしない	1	0
4		3	1
5	周囲に気づいて行動することがあり、簡単な工夫も試そうとする	3	1
6		1	0
7	自分で考えて動き効率や結果を意識して工夫できる	3	5
8		0	3
9	周囲を見て先を読み、積極的に動きながら工夫し、良い影響を与えている	3	3



＜協働性･コミュニケーションについて＞

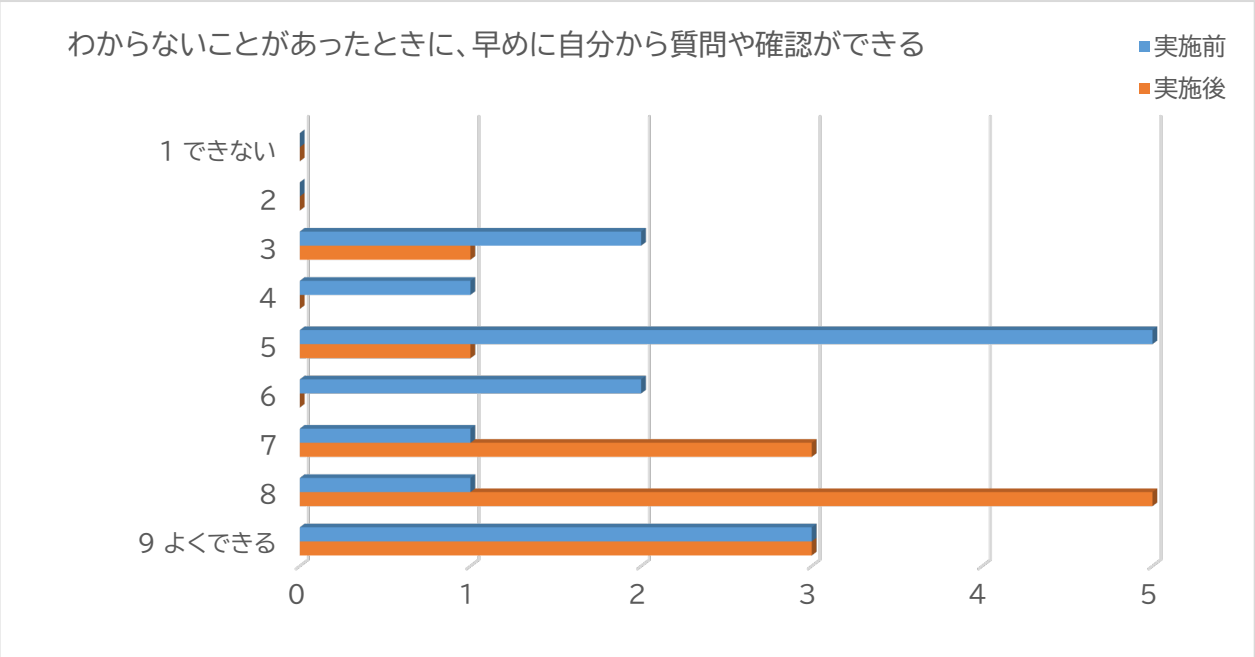
【3-1】　クラスや活動の中で、まわりの人と協力して行動できている

		実施前	実施後
1	自分のことに集中し、まわりと関わろうとしない	1	0
2		0	0
3	声をかけられれば一緒にできるが、自分から関わろうとはしない	2	0
4		1	1
5	近くの人の動きを見ながら、自分にできることをやろうとする	2	0
6		2	2
7	作業中に声をかけ合いながら、まわりと協力して行動できる	2	3
8		4	2
9	全体の様子を見て、自分の役割を考え、活動の流れを支えることができる	1	5



【3-2】 わからないことがあったときに、早めに自分から質問や確認ができる

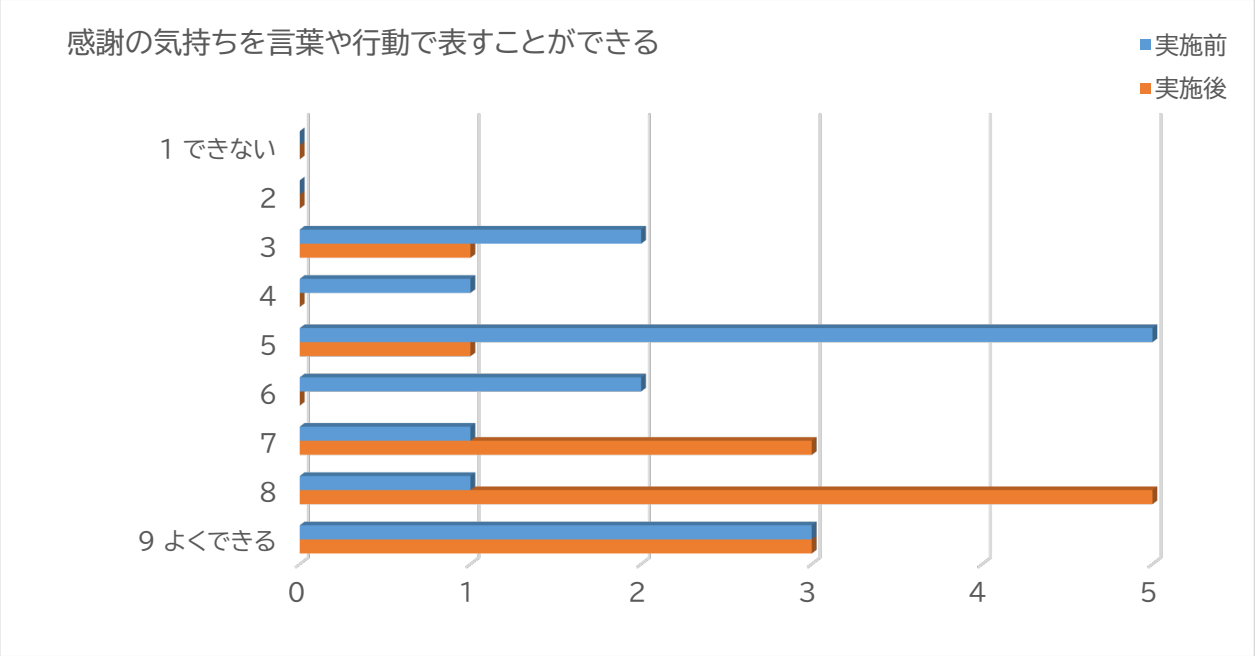
		実施前	実施後
1	わからないことがあっても、誰にも聞かずそのままにしてしまう	0	0
2		0	0
3	聞きたい気持ちはあるが、自分から声をかけることができない	2	1
4		1	0
5	タイミングを見て、自分から質問や確認をしようとする	5	1
6		2	0
7	自分から質問や確認ができ、内容を正確に伝えようとしている	1	3
8		1	5
9	質問や確認の仕方を工夫し、相手が答えやすいように伝えることができる	3	3



＜感謝･謙虚な態度について＞

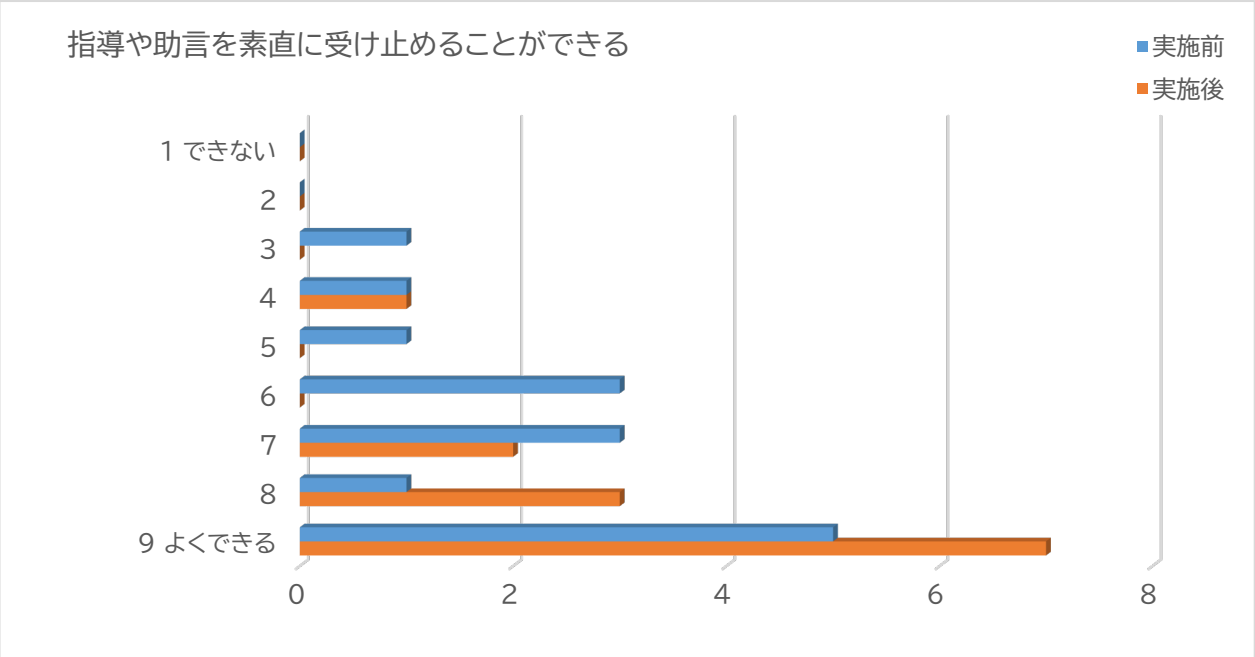
【4-1】 感謝の気持ちを言葉や行動で表すことができる

		実施前	実施後
1	感謝の気持ちがあっても、言葉や態度に表れない	0	0
2		0	0
3	感謝の気持ちはあるが、自分から言葉や行動にすることが少ない	1	1
4		1	0
5	何かしてもらったときに「ありがとう」と伝えようとしている	2	0
6		1	0
7	状況に応じて、自然に感謝の言葉を伝えることができる	3	1
8		3	4
9	言葉や態度に感謝の気持ちがあらわれ、まわりにも良い印象を与えている	4	7



【4-2】 指導や助言を素直に受け止めることができる

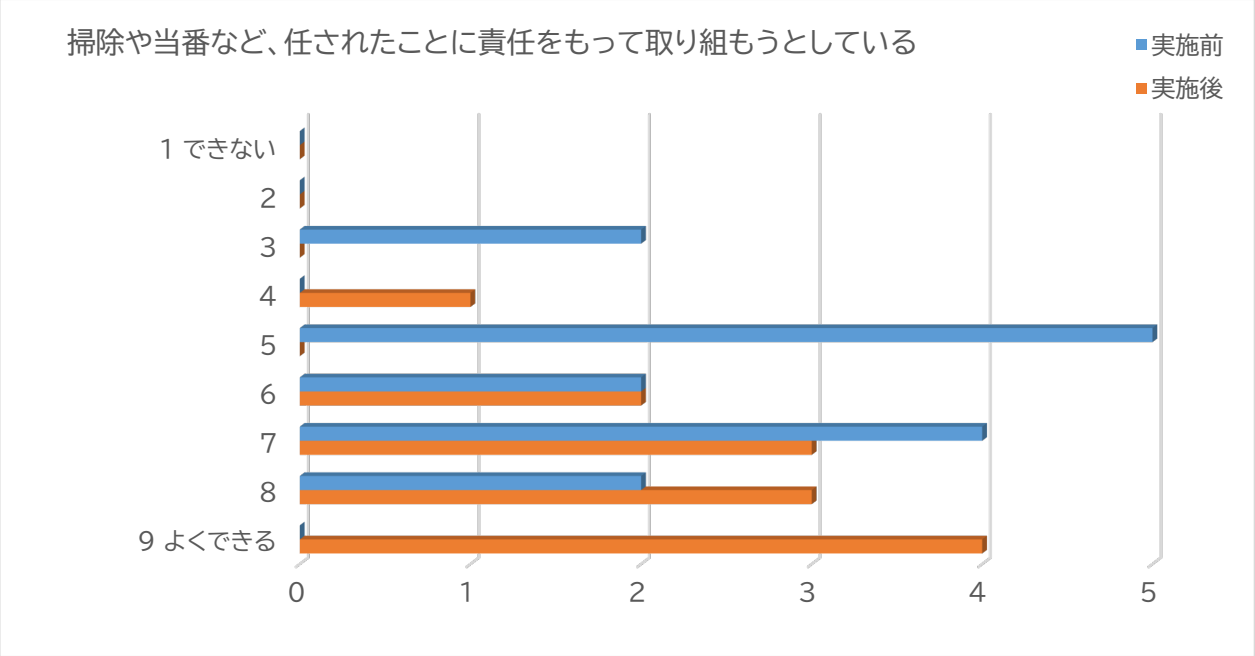
		実施前	実施後
1	注意されても受け止めず、不満な態度が表れることがある	0	0
2		0	0
3	指摘を受け止めようとするが、気持ちの切り替えに時間がかかる	1	0
4		1	1
5	アドバイスを前向きに受け止め、次の行動に活かそうとしている	1	0
6		3	0
7	指導を素直に受け止め、すぐに行動を改善しようとしている	3	2
8		1	3
9	助言を成長の機会ととらえ、積極的に行動に反映している	5	7



＜責任感について＞

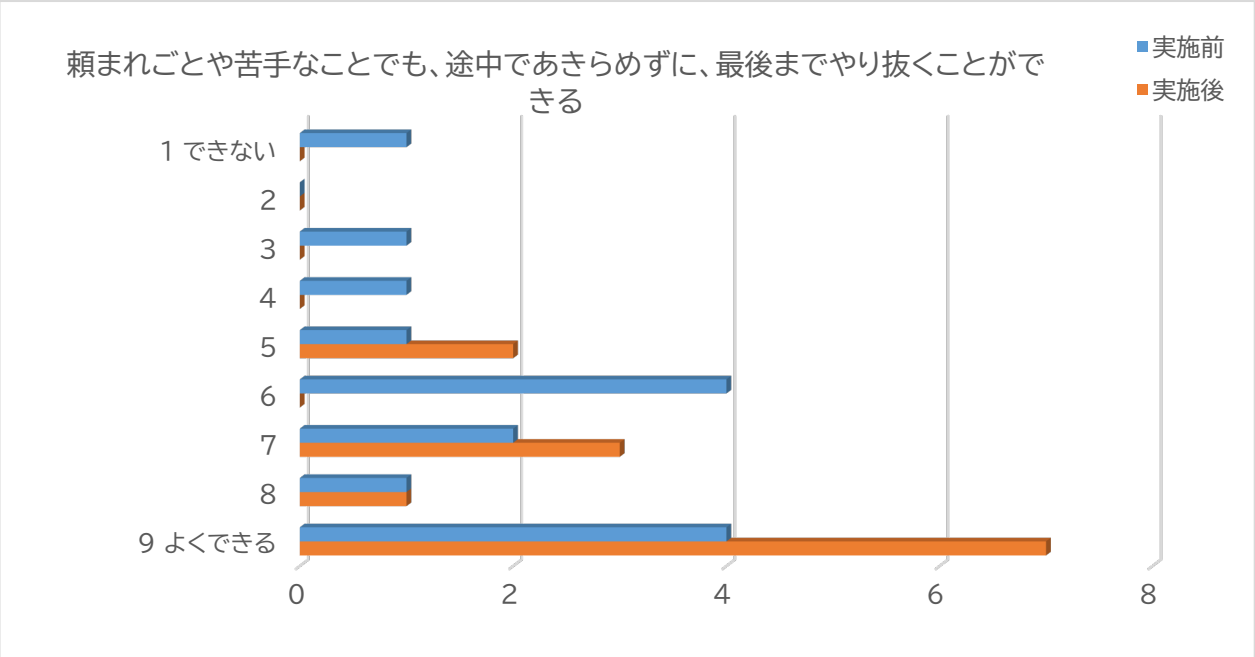
【5-1】 掃除や当番など、任されたことに責任をもって取り組もうとしている

		実施前	実施後
1	当番などを忘れたり、やるべきことを放置してしまうことがある	0	0
2		0	0
3	声をかけられれば取り組めるが、自分からは動けないことがある	2	0
4		0	1
5	任されたことを忘れず、自分の役割として取り組んでいる	5	0
6		2	2
7	任されたことを最後まできちんと取り組み、役割を果たしている	4	3
8		2	3
9	自分の役割を自覚してきちんと果たし、まわりにも安心感を与えている	0	4



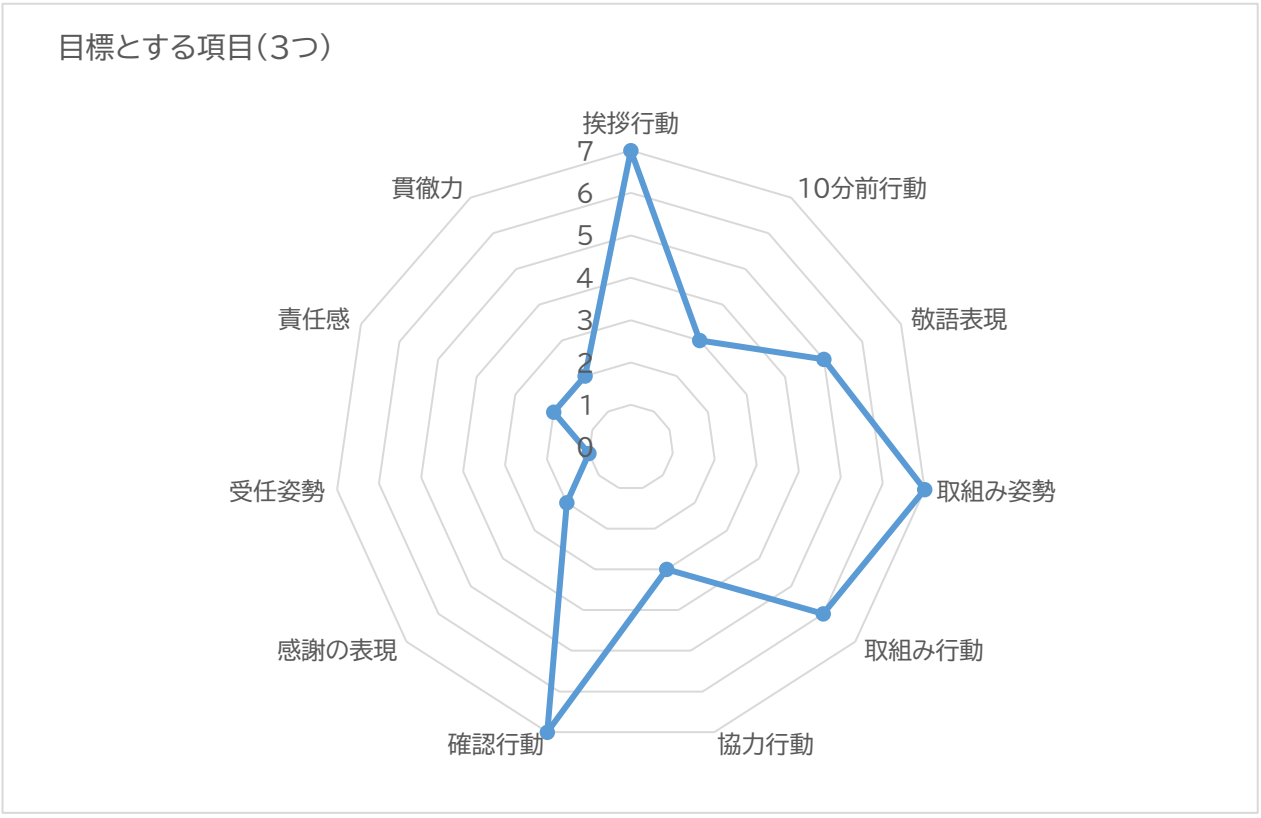
【5-2】 頼まれごとや苦手なことでも、途中であきらめずに、最後までやり抜くことができる

		実施前	実施後
1	難しいことや面倒なことを途中でやめてしまう	1	0
2		0	0
3	サポートがあれば続けられるが、自分だけではやり抜けない	1	0
4		1	0
5	難しさを感じても、途中で投げ出さずに最後まで取り組もうとしている	1	2
6		4	0
7	工夫しながら継続し、最後までやり抜くことができる	2	3
8		1	1
9	粘り強くやり抜き、成果や達成感を得ることができる	4	7



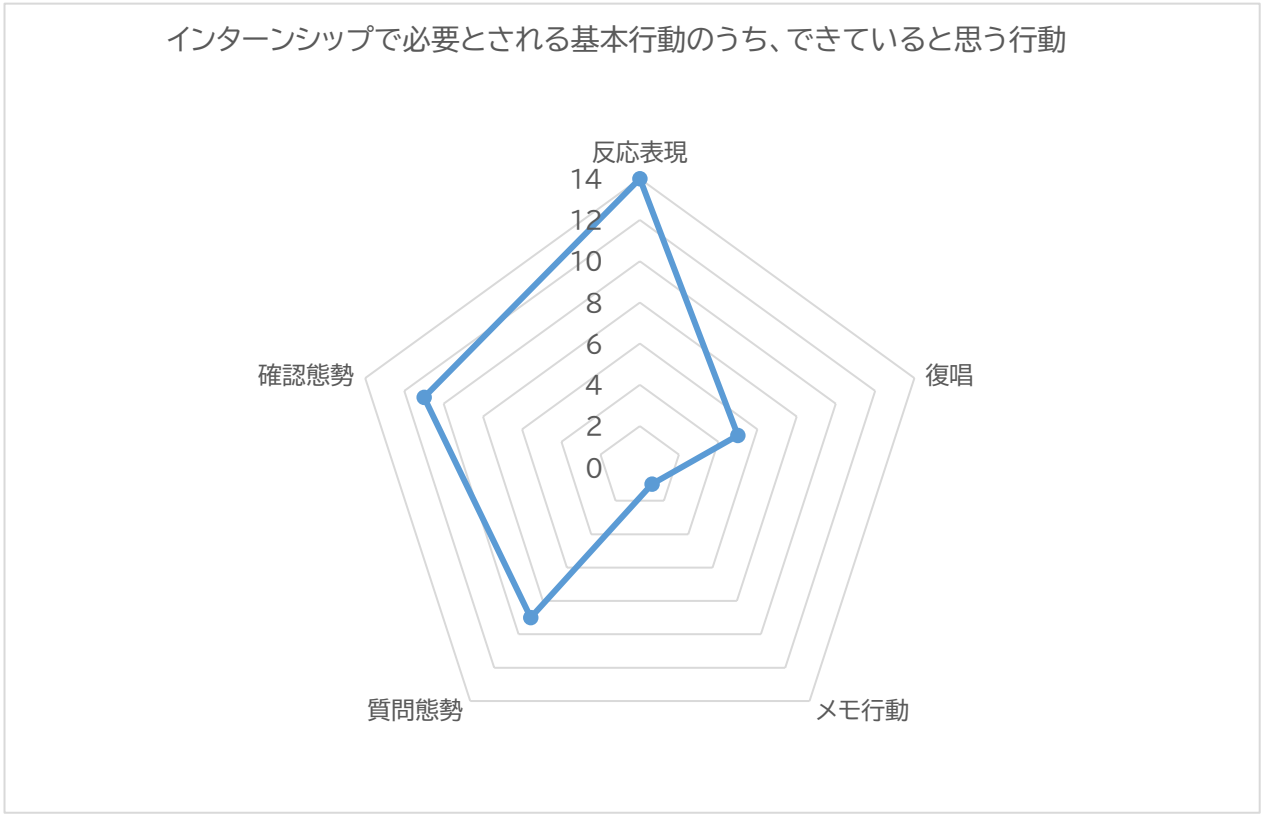
【A】　目標として設定する項目(3 つ)

			実施前
1-1	初対面の人へ自ら挨拶ができる	挨拶行動	7
1-2	遅刻などせず、10 分前行動ができる	10 分前行動	3
1-3	目上の人に対して正しい敬語を使って話すことができる	敬語表現	5
2-1	苦手な作業や興味のない内容にも前向きに取り組もうとする姿勢がある	取組み姿勢	7
2-2	自分で考えて動き、工夫しながら取り組もうとしている	取組み行動	6
3-1	クラスや活動の中で、まわりの人と協力して行動できている	協力行動	3
3-2	わからないことがあったときに、早めに自分から質問や確認ができる	確認行動	7
4-1	感謝の気持ちを言葉や行動で表すことができる	感謝の表現	2
4-2	指導や助言を素直に受け止めることができる	受任姿勢	1
5-1	掃除や当番など、任されたことに責任をもって取り組もうとしている	責任感	2
5-2	頼まれごとや苦手なことでも、途中であきらめずに、最後までやり抜くことができる	貫徹力	2



【B】　インターンシップで必要とされる基本行動のうち、できていると思う行動（複数選択可）

			実施前
1	反応を示す‥（表情や態度で聞いていることを伝えられている）	反応表現	14
2	復唱する‥（誤解なく、受け止めていることを伝えられている）	復唱	5
3	メモをとる‥（必要に応じて、聞いたことを記録として残すことができる）	メモ行動	1
4	質問する‥（不明点等があれば、質問することができる）	質問態勢	9
5	確認する‥（相手に伝わっているかどうか、確認することができる）	確認態勢	11



3－6. インターンシップ評価シート集計結果(スポーツ系)

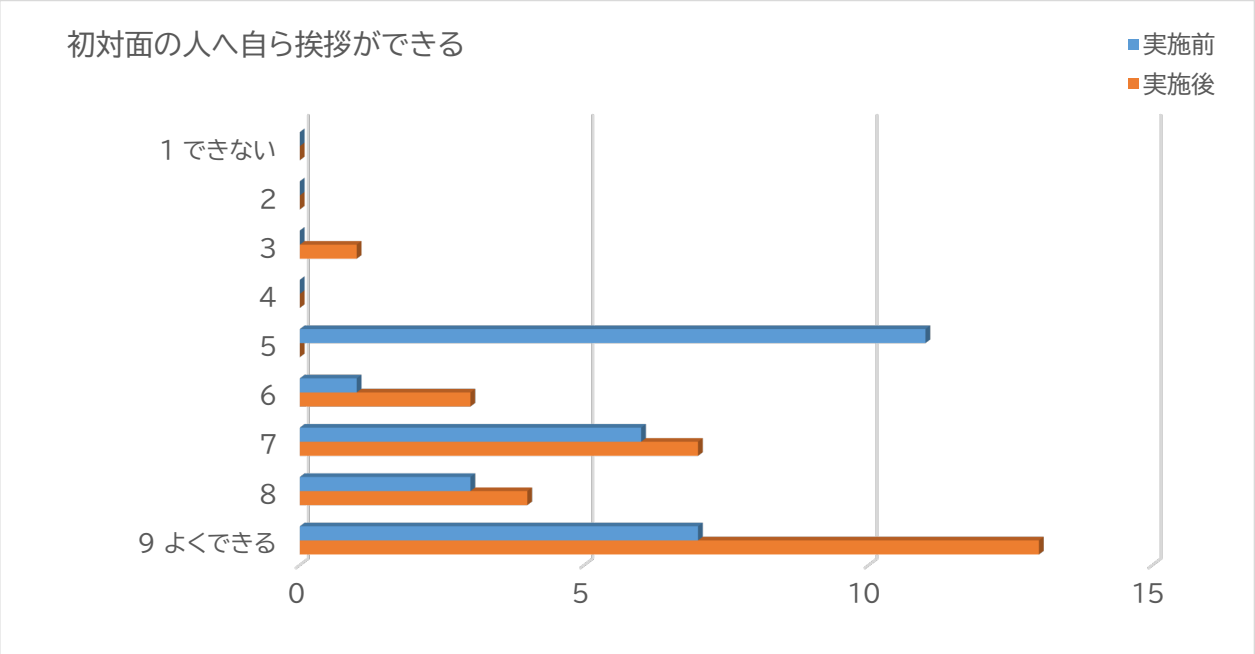
【1】学生情報(スポーツ系コース)

	実施前	実施後
スポーツ系コース	28 名	28 名

＜基本行動･マナーについて＞

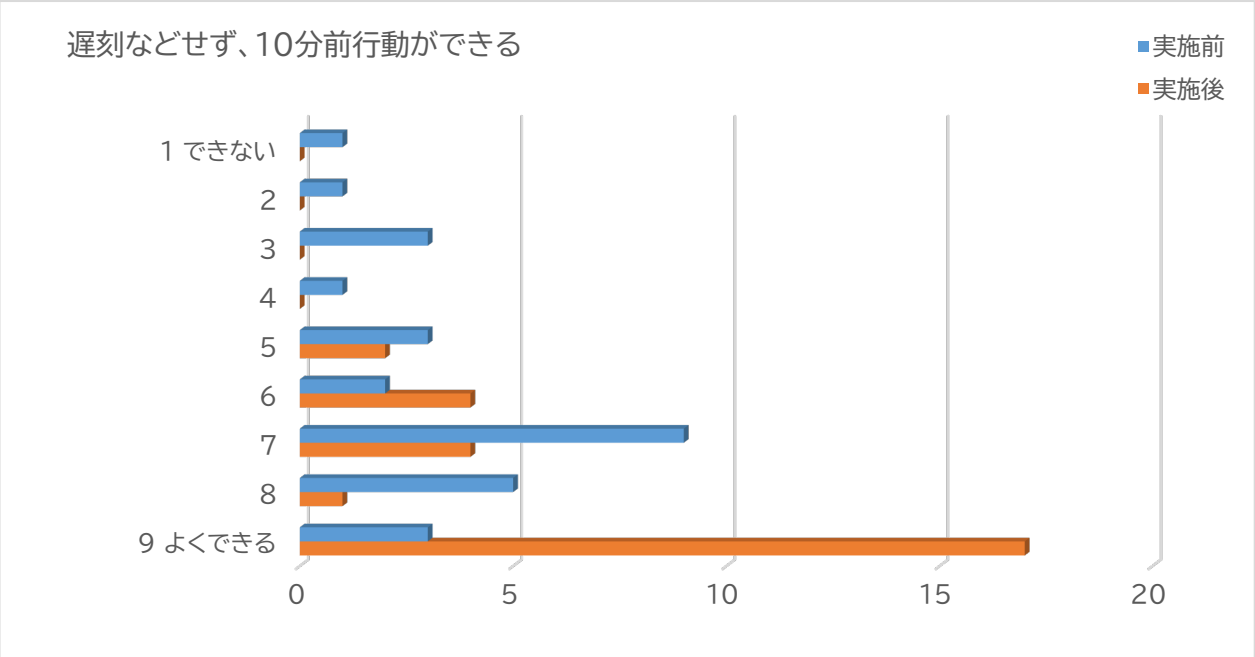
【1-1】 初対面の人へ自ら挨拶ができる

		実施前	実施後
1	緊張して黙ってしまい、相手に話しかけられても返事ができないことが多い	0	0
2		0	0
3	自分からは話しかけず、挨拶されても返すのがやっとである	0	1
4		0	0
5	挨拶されれば笑顔で返すことができ、自分から挨拶できるときもある	11	0
6		1	3
7	初対面でも落ち着いて自分から挨拶でき、相手の目を見て話すことができる	6	7
8		3	4
9	自分から明るく自然に挨拶でき、相手が話しかけやすい雰囲気をつくることができる	7	13



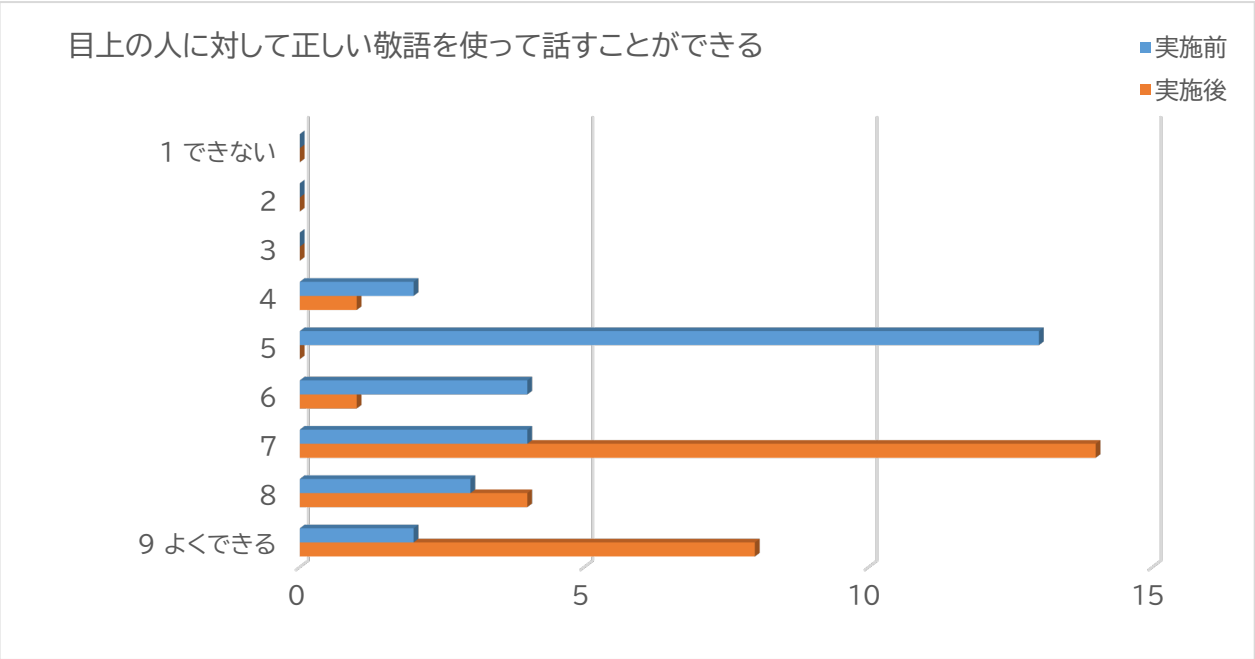
【1-2】 遅刻などせず、10分前行動ができる

		実施前	実施後
1	よく遅れたり、集合時間に間に合わないことがある	1	0
2		1	0
3	指示があれば時間は守るが、ぎりぎりになることが多い	3	0
4		1	0
5	集合時間を意識し、自分なりに間に合うように行動している	3	2
6		2	4
7	自分で時間を逆算し、5 分前には準備を始めることができる	9	4
8		5	1
9	10 分前行動を心がけて行動し、周囲にも落ち着いた印象を与えている。	3	17



【1-3】 目上の人に対して正しい敬語を使って話すことができる

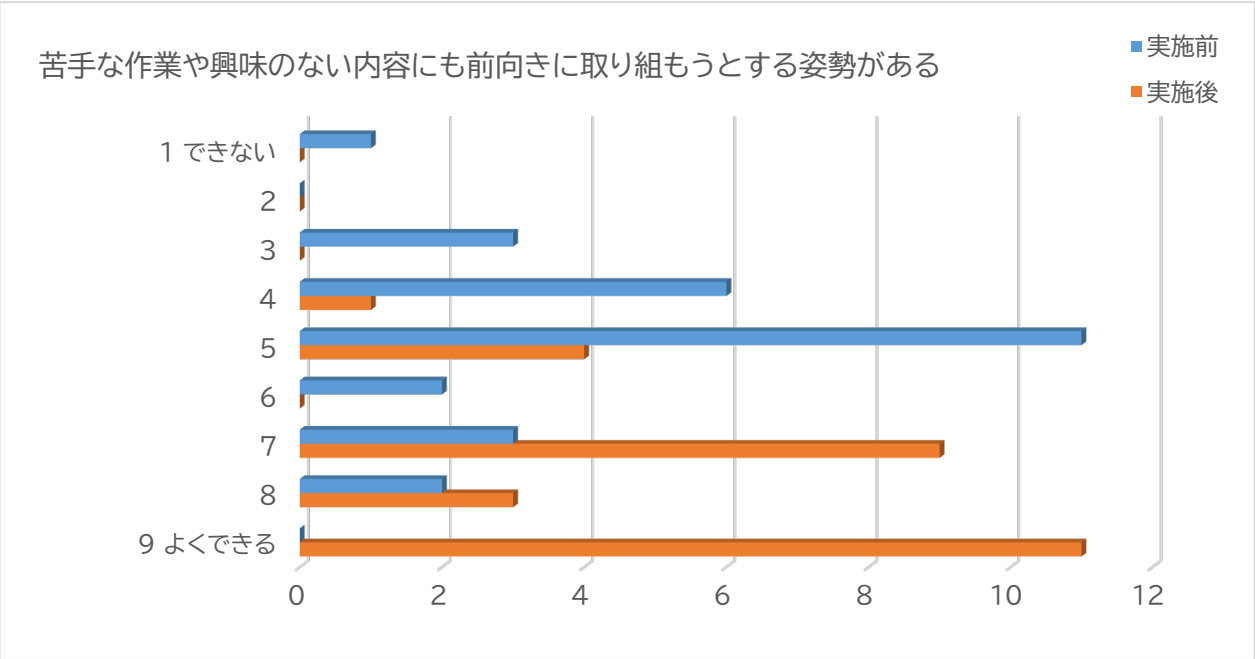
		実施前	実施後
1	敬語が使えず、言葉遣いも不適切で相手に不快感を与えることがある	0	0
2		0	0
3	敬語を使おうとするが不自然で、失礼な印象を与えることがある	0	0
4		2	1
5	基本的な敬語は使えるが、言葉遣いに不慣れな点もありつつ、相手に失礼な印象は与えない	13	0
6		4	1
7	ほとんどの場面で適切な敬語を使い、言葉遣いもおおむね丁寧で正確である	4	14
8		3	4
9	常に正確で丁寧な敬語を使い、相手に安心感を与えている	2	8



＜学ぶ姿勢について＞

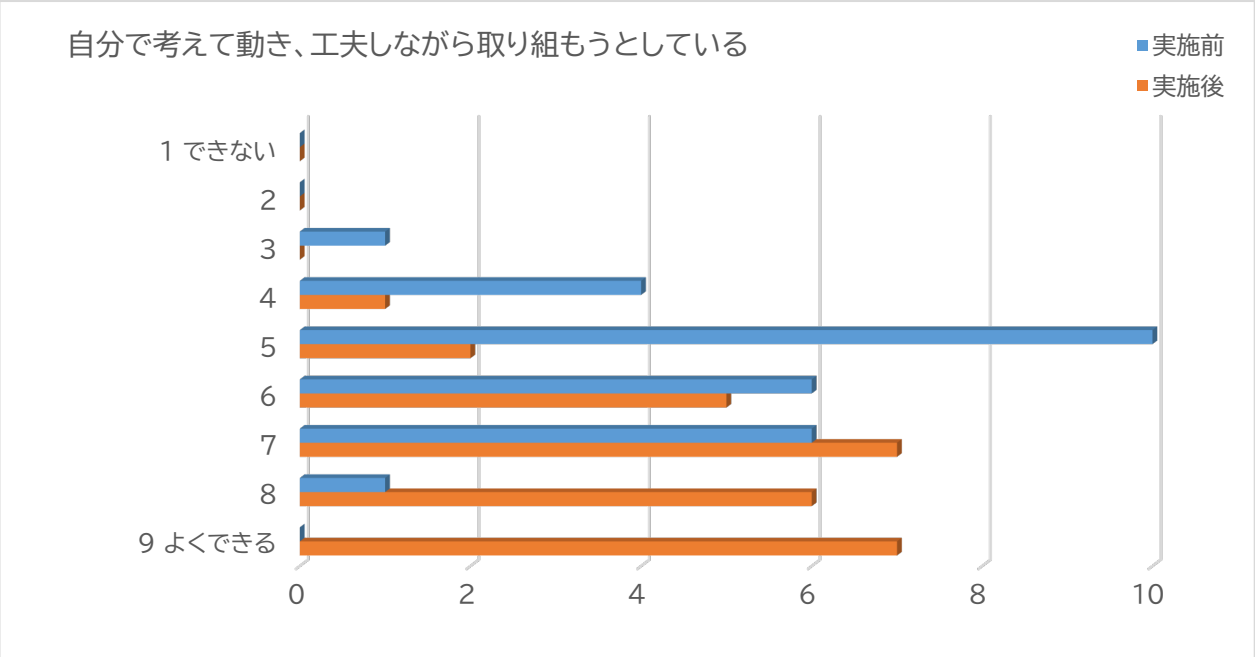
【2-1】 苦手な作業や興味のない内容にも前向きに取り組もうとする姿勢がある

		実施前	実施後
1	苦手なことや興味のない内容を避け、手を抜いてしまうことがある	1	0
2		0	0
3	声をかけられれば取り組むが、自分から進んで関わろうとはしない	3	0
4		6	1
5	単純作業や苦手なことでも、自分なりに取り組もうとする姿勢がある	11	4
6		2	0
7	好きではないことも、仕事の一部として丁寧に取り組むことができる	3	9
8		2	3
9	苦手なことにも進んで関わり、まわりにもよい影響を与えている	0	11



【2-2】 自分で考えて動き、工夫しながら取り組もうとしている

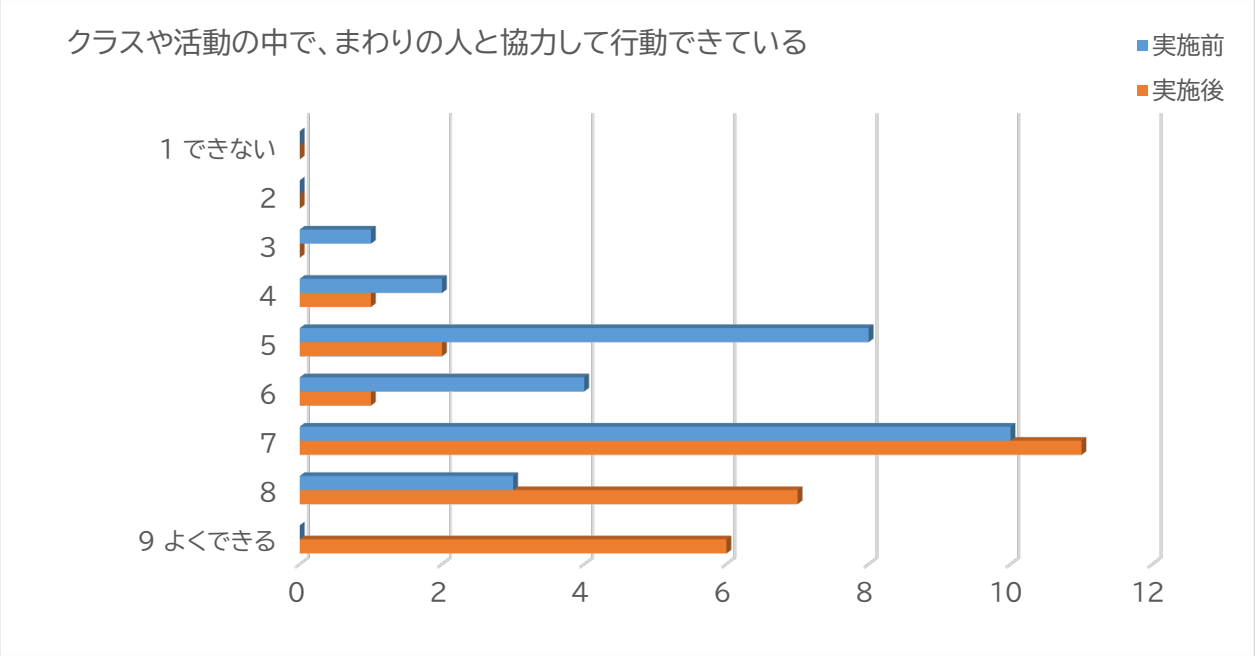
		実施前	実施後
1	指示があるまで動かず、言われたことだけをこなす。自分で工夫することもない	0	0
2		0	0
3	言われたことには取り組むが、自分から動かず、工夫もほとんどしない	1	0
4		4	1
5	周囲に気づいて行動することがあり、簡単な工夫も試そうとする	10	2
6		6	5
7	自分で考えて動き効率や結果を意識して工夫できる	6	7
8		1	6
9	周囲を見て先を読み、積極的に動きながら工夫し、良い影響を与えている	0	7



＜協働性･コミュニケーションについて＞

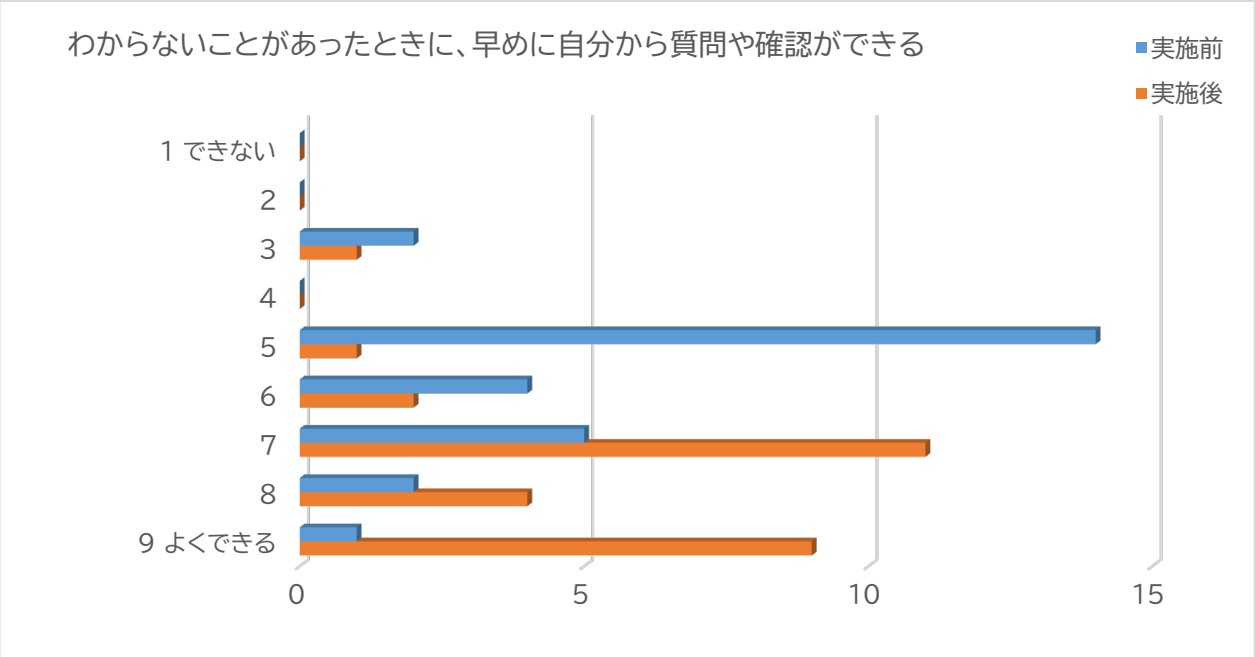
【3-1】 クラスや活動の中で、まわりの人と協力して行動できている

		実施前	実施後
1	自分のことに集中し、まわりと関わろうとしない	0	0
2		0	0
3	声をかけられれば一緒にできるが、自分から関わろうとはしない	1	0
4		2	1
5	近くの人の動きを見ながら、自分にできることをやろうとする	8	2
6		4	1
7	作業中に声をかけ合いながら、まわりと協力して行動できる	10	11
8		3	7
9	全体の様子を見て、自分の役割を考え、活動の流れを支えることができる	0	6



【3-2】 わからないことがあったときに、早めに自分から質問や確認ができる

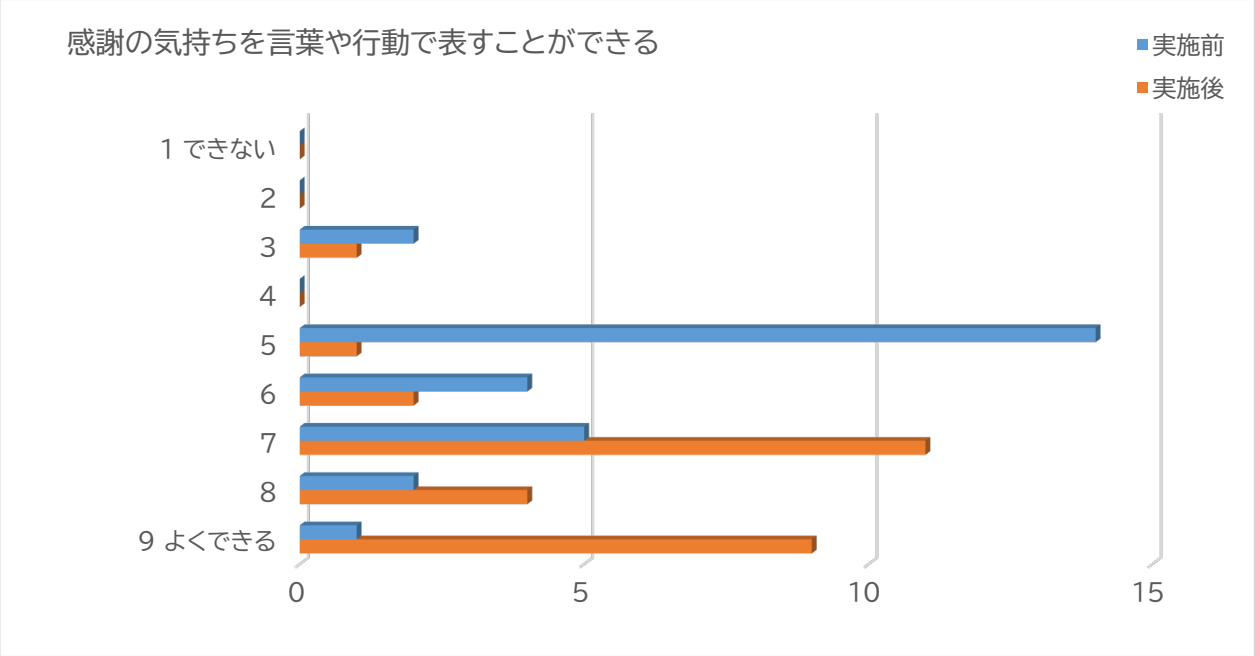
		実施前	実施後
1	わからないことがあっても、誰にも聞かずそのままにしてしまう	0	0
2		0	0
3	聞きたい気持ちはあるが、自分から声をかけることができない	2	1
4		0	0
5	タイミングを見て、自分から質問や確認をしようとする	14	1
6		4	2
7	自分から質問や確認ができ、内容を正確に伝えようとしている	5	11
8		2	4
9	質問や確認の仕方を工夫し、相手が答えやすいように伝えることができる	1	9



＜感謝･謙虚な態度について＞

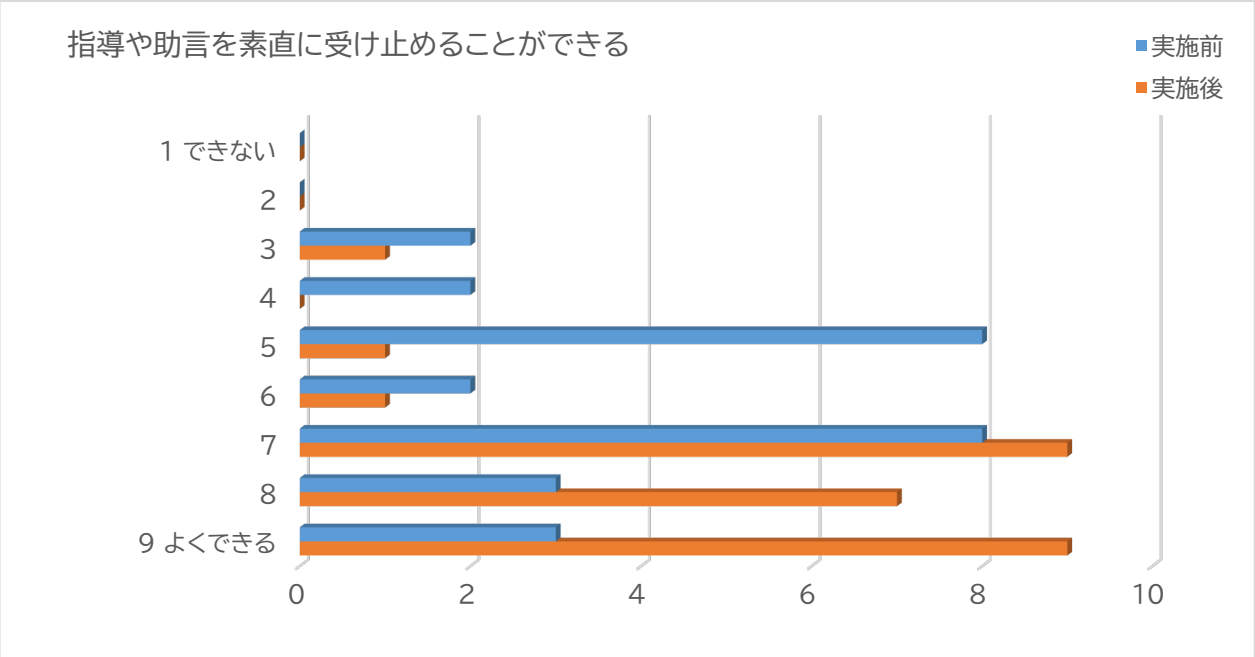
【4-1】 感謝の気持ちを言葉や行動で表すことができる

		実施前	実施後
1	感謝の気持ちがあっても、言葉や態度に表れない	0	0
2		1	0
3	感謝の気持ちはあるが、自分から言葉や行動にすることが少ない	0	1
4		0	0
5	何かしてもらったときに「ありがとう」と伝えようとしている	5	0
6		1	1
7	状況に応じて、自然に感謝の言葉を伝えることができる	16	8
8		2	6
9	言葉や態度に感謝の気持ちがあらわれ、まわりにも良い印象を与えている	3	12



【4-2】 指導や助言を素直に受け止めることができる

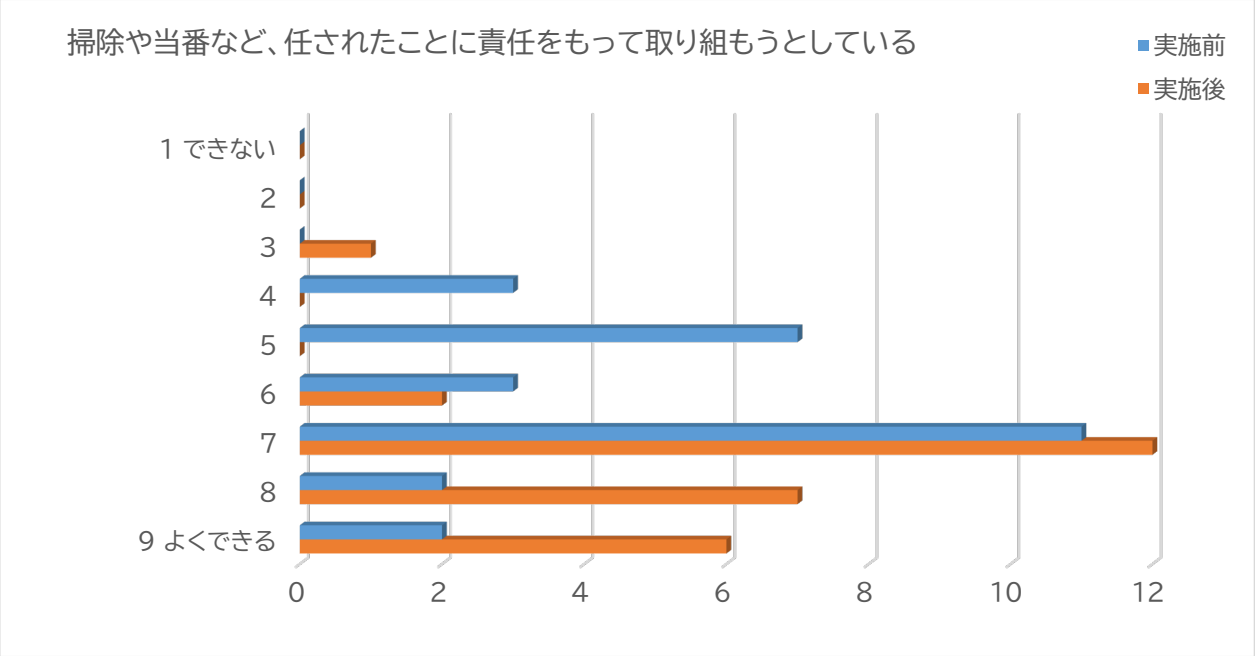
		実施前	実施後
1	注意されても受け止めず、不満な態度が表れることがある	0	0
2		0	0
3	指摘を受け止めようとするが、気持ちの切り替えに時間がかかる	2	1
4		2	0
5	アドバイスを前向きに受け止め、次の行動に活かそうとしている	8	1
6		2	1
7	指導を素直に受け止め、すぐに行動を改善しようとしている	8	9
8		3	7
9	助言を成長の機会ととらえ、積極的に行動に反映している	3	9



＜責任感について＞

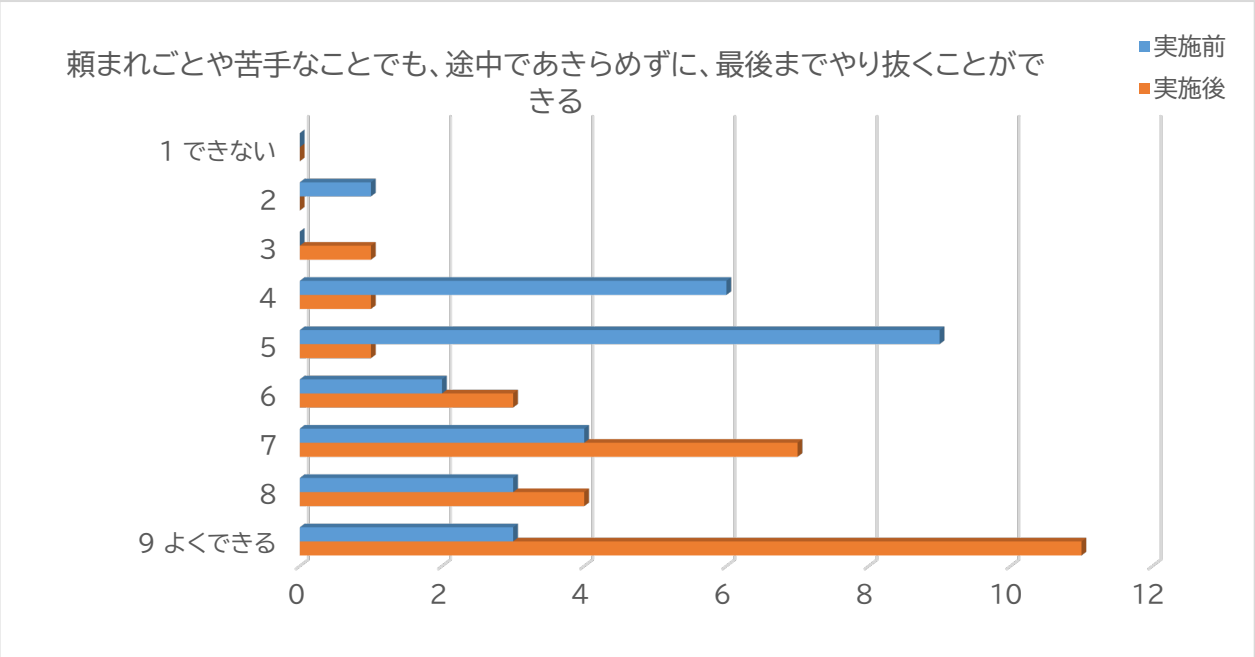
【5-1】 掃除や当番など、任されたことに責任をもって取り組もうとしている

		実施前	実施後
1	当番などを忘れたり、やるべきことを放置してしまうことがある	0	0
2		0	0
3	声をかけられれば取り組めるが、自分からは動けないことがある	0	1
4		3	0
5	任されたことを忘れず、自分の役割として取り組んでいる	7	0
6		3	2
7	任されたことを最後まできちんと取り組み、役割を果たしている	11	12
8		2	7
9	自分の役割を自覚してきちんと果たし、まわりにも安心感を与えている	2	6



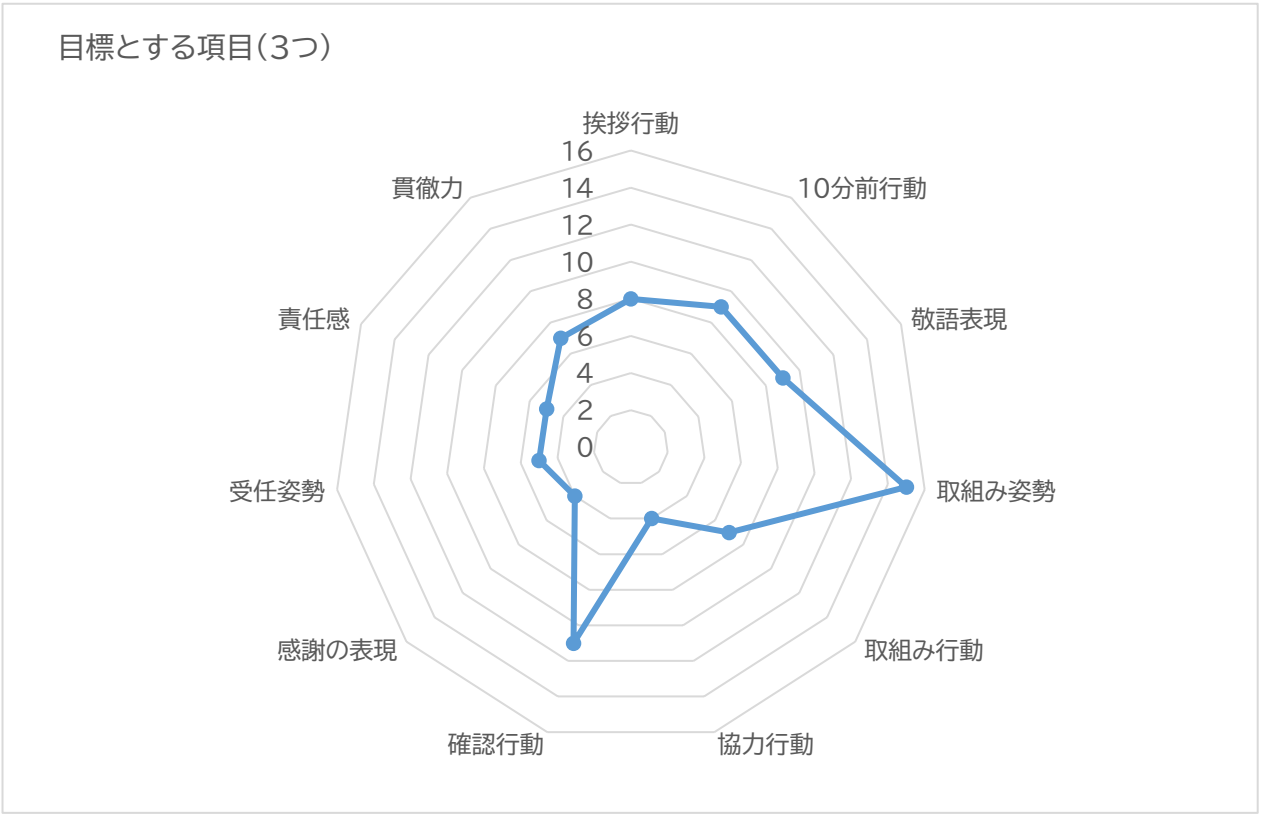
【5-2】 頼まれごとや苦手なことでも、途中であきらめずに、最後までやり抜くことができる

		実施前	実施後
1	難しいことや面倒なことを途中でやめてしまう	0	0
2		1	0
3	サポートがあれば続けられるが、自分だけではやり抜けない	0	1
4		6	1
5	難しさを感じても、途中で投げ出さずに最後まで取り組もうとしている	9	1
6		2	3
7	工夫しながら継続し、最後までやり抜くことができる	4	7
8		3	4
9	粘り強くやり抜き、成果や達成感を得ることができる	3	11



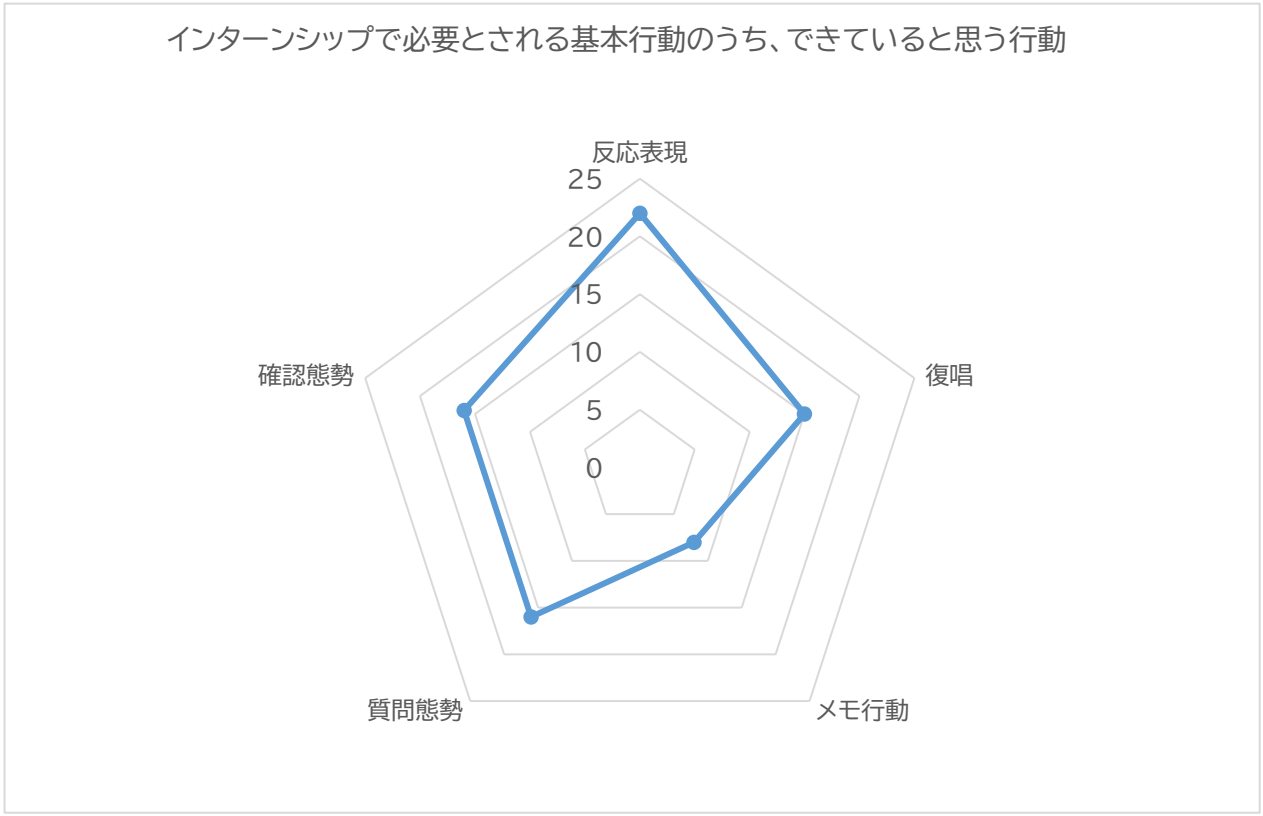
【A】　目標として設定する項目（3 つ）

			実施前
1-1	初対面の人へ自ら挨拶ができる	挨拶行動	8
1-2	遅刻などせず、10 分前行動ができる	10 分前行動	9
1-3	目上の人に対して正しい敬語を使って話すことができる	敬語表現	9
2-1	苦手な作業や興味のない内容にも前向きに取り組もうとする姿勢がある	取組み姿勢	15
2-2	自分で考えて動き、工夫しながら取り組もうとしている	取組み行動	7
3-1	クラスや活動の中で、まわりの人と協力して行動できている	協力行動	4
3-2	わからないことがあったときに、早めに自分から質問や確認ができる	確認行動	11
4-1	感謝の気持ちを言葉や行動で表すことができる	感謝の表現	4
4-2	指導や助言を素直に受け止めることができる	受任姿勢	5
5-1	掃除や当番など、任されたことに責任をもって取り組もうとしている	責任感	5
5-2	頼まれごとや苦手なことでも、途中であきらめずに、最後までやり抜くことができる	貫徹力	7



【B】　インターンシップで必要とされる基本行動のうち、できていると思う行動（複数選択可）

			実施前
1	反応を示す‥（表情や態度で聞いていることを伝えられている）	反応表現	22
2	復唱する‥（誤解なく、受け止めていることを伝えられている）	復唱	15
3	メモをとる‥（必要に応じて、聞いたことを記録として残すことができる）	メモ行動	8
4	質問する‥（不明点等があれば、質問することができる）	質問態勢	16
5	確認する‥（相手に伝わっているかどうか、確認することができる）	確認態勢	16



3－7. 評価レベル比較結果(現在・目標・評価)

項目ごとの目標設定選択数

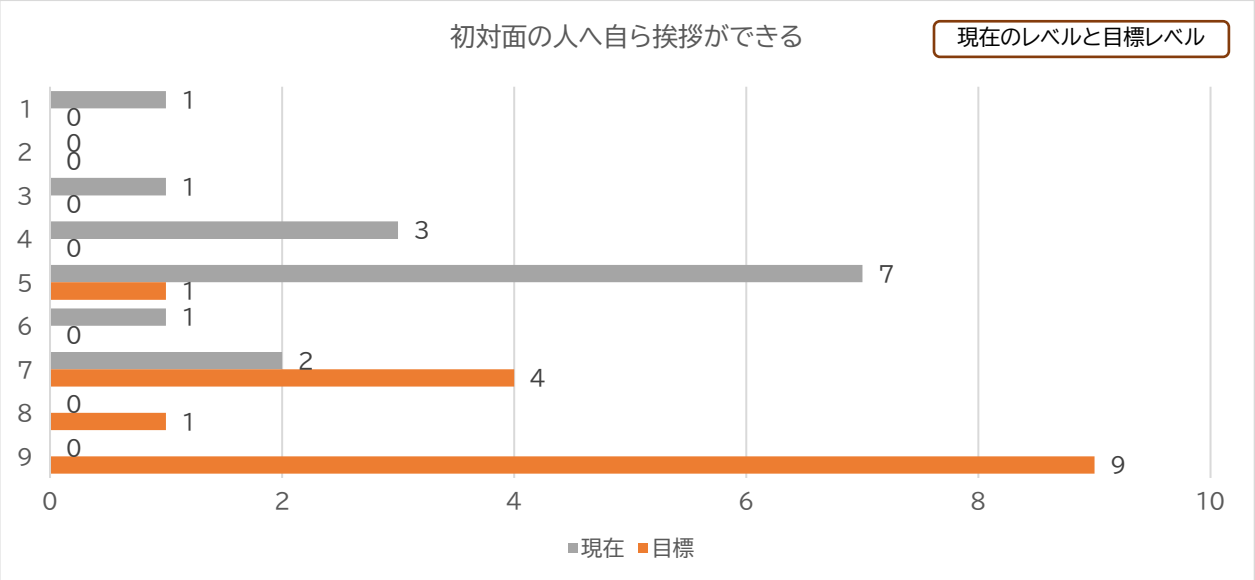
1-1	初対面の人へ自ら挨拶ができる	15 名
1-2	遅刻などせず、10 分前行動ができる	10 名
1-3	目上の人に対して正しい敬語を使って話すことができる	12 名
2-1	苦手な作業や興味のない内容にも前向きに取り組もうとする姿勢がある	20 名
2-2	自分で考えて動き、工夫しながら取り組もうとしている	11 名
3-1	クラスや活動の中で、まわりの人と協力して行動できている	5 名
3-2	わからないことがあったときに、早めに自分から質問や確認ができる	16 名
4-1	感謝の気持ちを言葉や行動で表すことができる	6 名
4-2	指導や助言を素直に受け止めることができる	4 名
5-1	掃除や当番など、任されたことに責任をもって取り組もうとしている	6 名
5-2	頼まれごとや苦手なことでも、途中であきらめずに、最後までやり抜くことができる	9 名

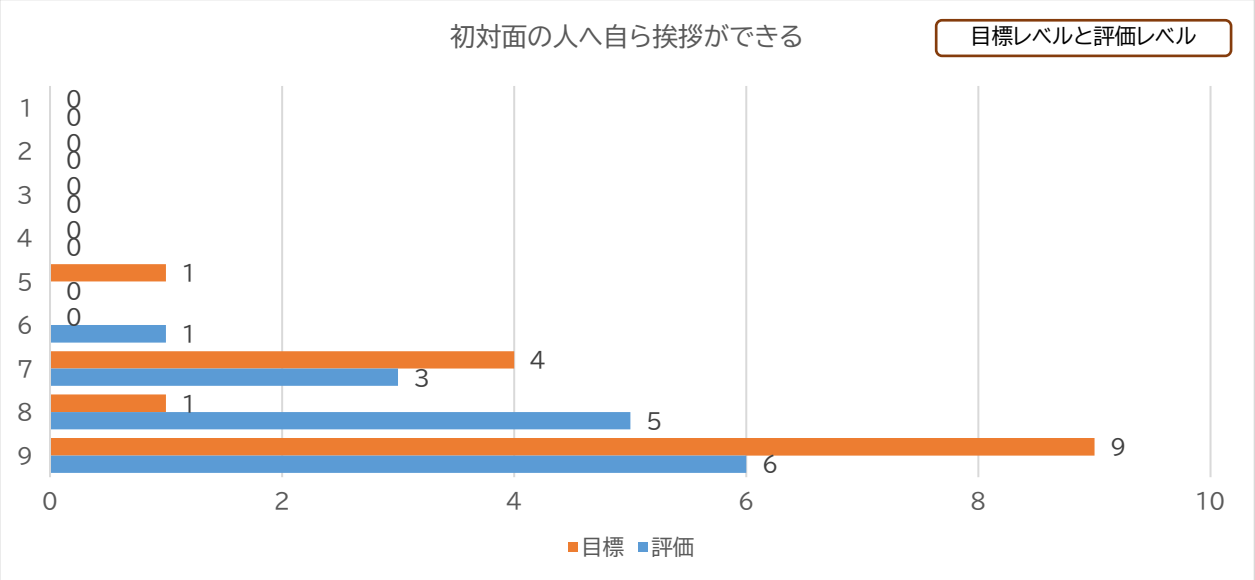


＜基本行動･マナーについて＞

【1-1】　初対面の人へ自ら挨拶ができる

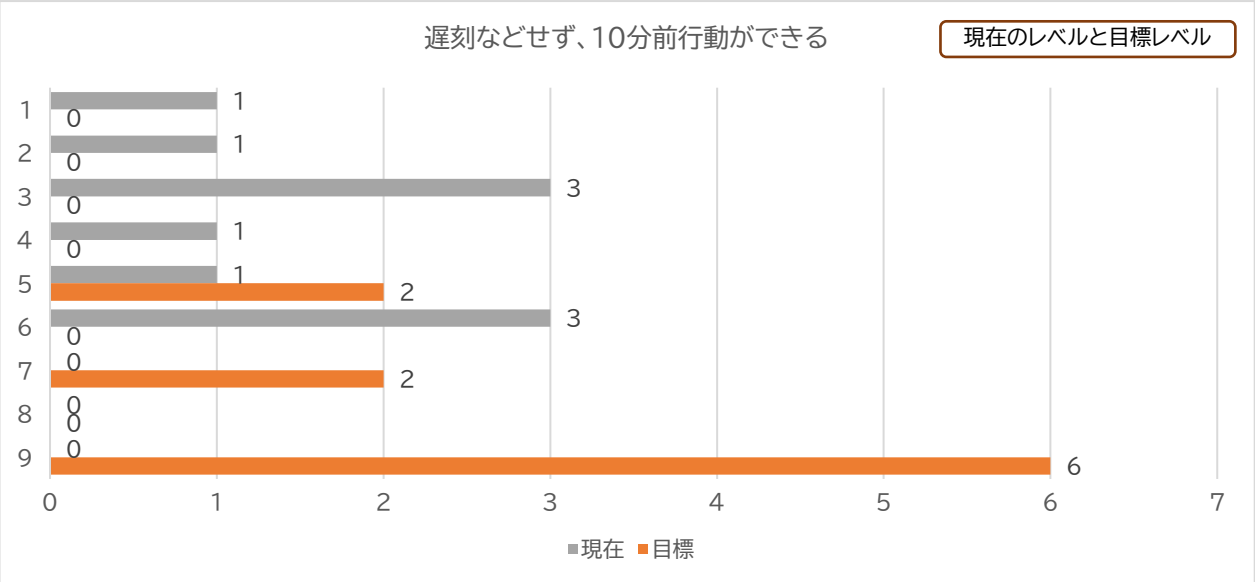
		現在	目標	評価
1	緊張して黙ってしまい、相手に話しかけられても返事ができないことが多い	1	0	0
2		0	0	0
3	自分からは話しかけず、挨拶されても返すのがやっとである	1	0	0
4		3	0	0
5	挨拶されれば笑顔で返すことができ、自分から挨拶できるときもある	7	1	0
6		1	0	1
7	初対面でも落ち着いて自分から挨拶でき、相手の目を見て話すことができる	2	4	3
8		0	1	5
9	自分から明るく自然に挨拶でき、相手が話しかけやすい雰囲気をつくることができる	0	9	6

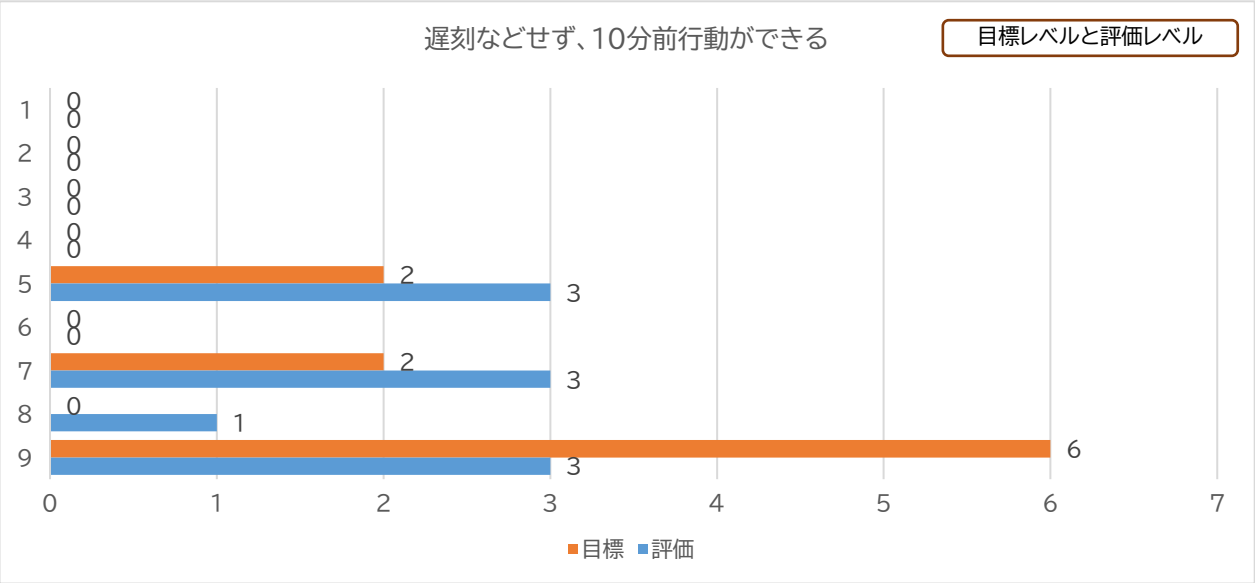




【1-2】 遅刻などせず、10分前行動ができる

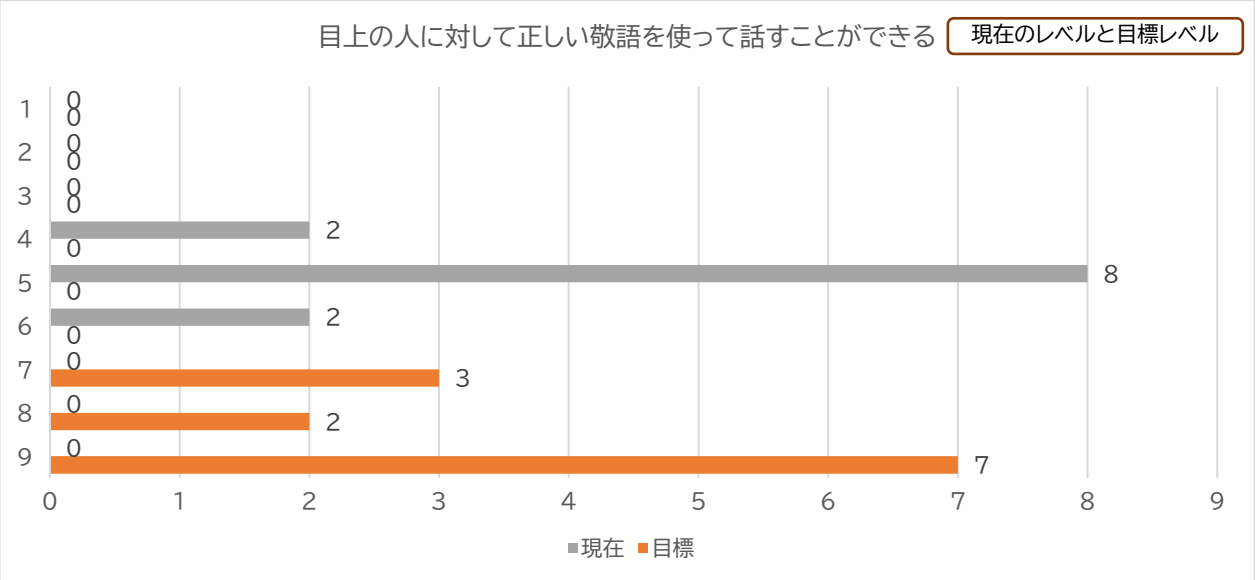
		現在	目標	評価
1	よく遅れたり、集合時間に間に合わないことがある	1	0	0
2		1	0	0
3	指示があれば時間は守るが、ぎりぎりになることが多い	3	0	0
4		1	0	0
5	集合時間を意識し、自分なりに間に合うように行動している	1	2	3
6		3	0	0
7	自分で時間を逆算し、5 分前には準備を始めることができる	0	2	3
8		0	0	1
9	10 分前行動を心がけて行動し、周囲にも落ち着いた印象を与えている。	0	6	3

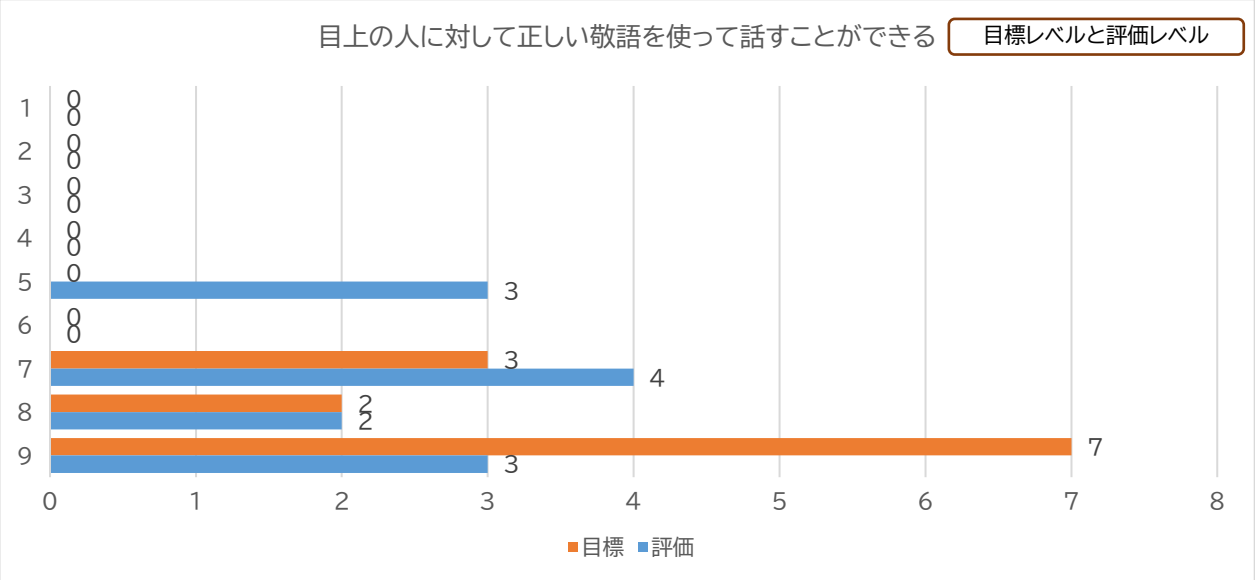




【1-3】 目上の人に対して正しい敬語を使って話すことができる

		現在	目標	評価
1	敬語が使えず、言葉遣いも不適切で相手に不快感を与えることがある	0	0	0
2		0	0	0
3	敬語を使おうとするが不自然で、失礼な印象を与えることがある	0	0	0
4		2	0	0
5	基本的な敬語は使えるが、言葉遣いに不慣れな点もありつつ、相手に失礼な印象は与えない	8	0	3
6		2	0	0
7	ほとんどの場面で適切な敬語を使い、言葉遣いもおおむね丁寧で正確である	0	3	4
8		0	2	2
9	常に正確で丁寧な敬語を使い、相手に安心感を与えている	0	7	3

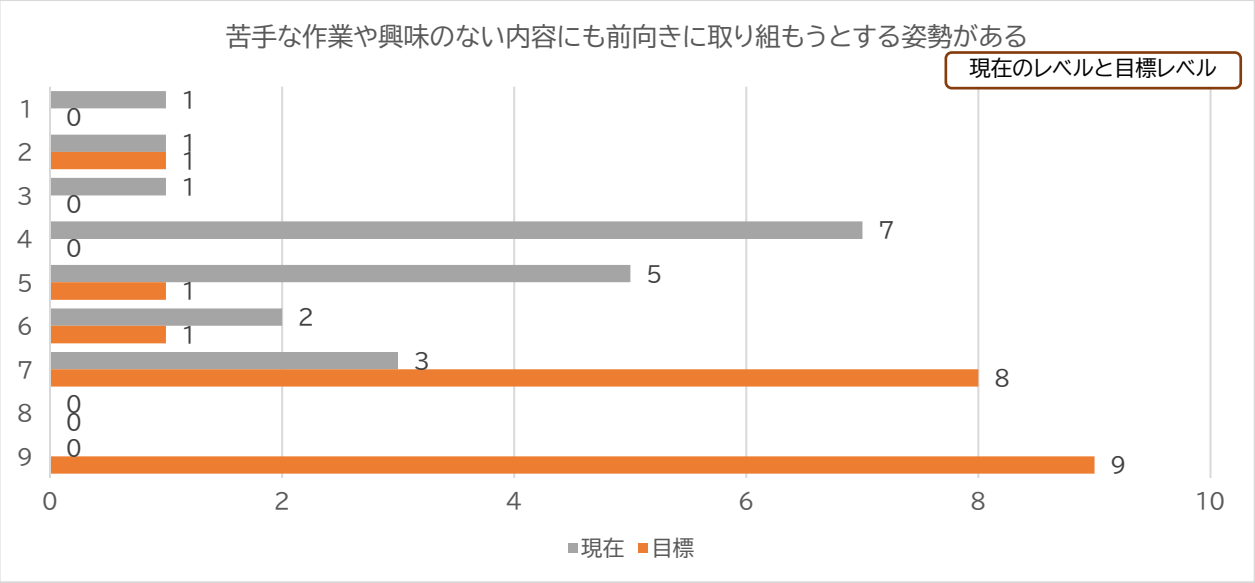


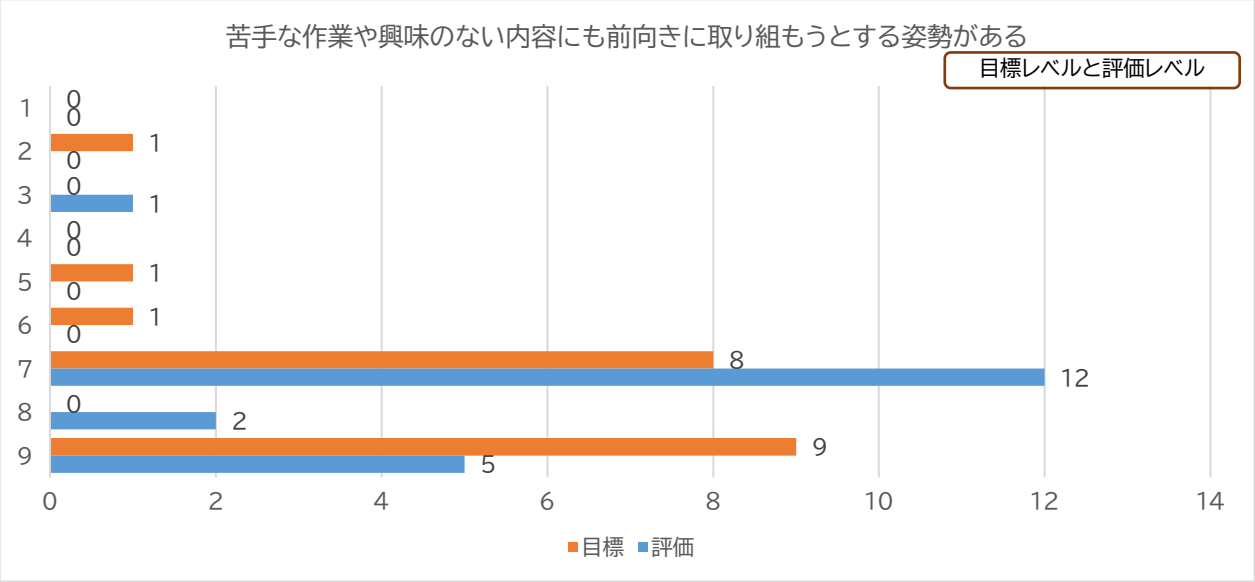


＜学ぶ姿勢について＞

【2-1】 苦手な作業や興味のない内容にも前向きに取り組もうとする姿勢がある

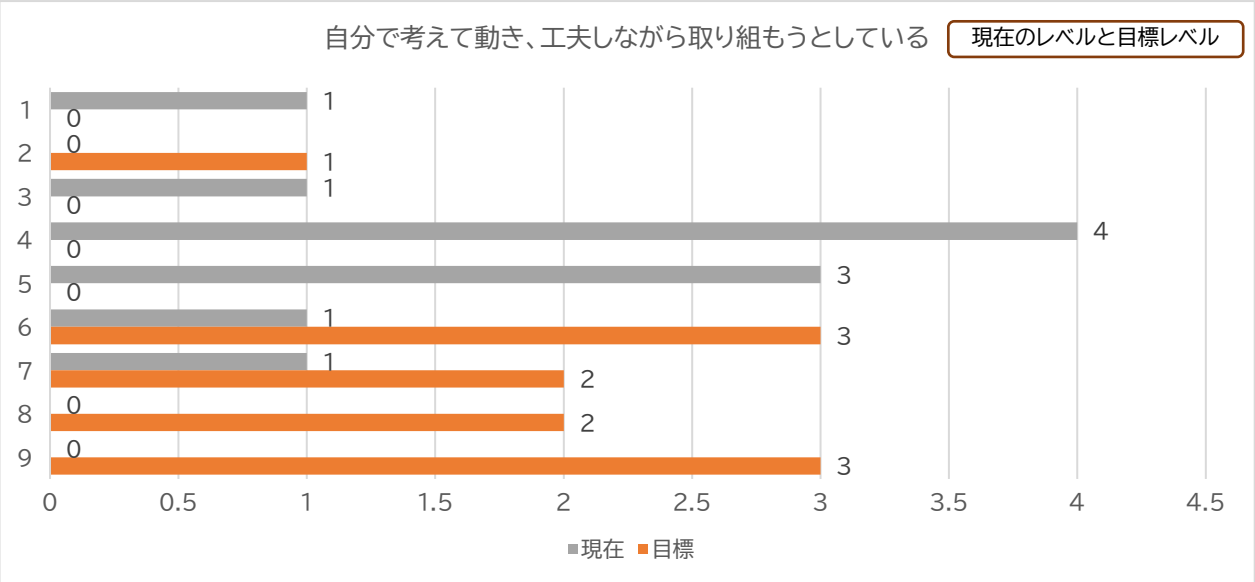
		現在	目標	評価
1	苦手なことや興味のない内容を避け、手を抜いてしまうことがある	1	0	0
2		1	1	0
3	声をかけられれば取り組むが、自分から進んで関わろうとはしない	1	0	1
4		7	0	0
5	単純作業や苦手なことでも、自分なりに取り組もうとする姿勢がある	5	1	0
6		2	1	0
7	好きではないことも、仕事の一部として丁寧に取り組むことができる	3	8	12
8		0	0	2
9	苦手なことにも進んで関わり、まわりにもよい影響を与えている	0	9	5

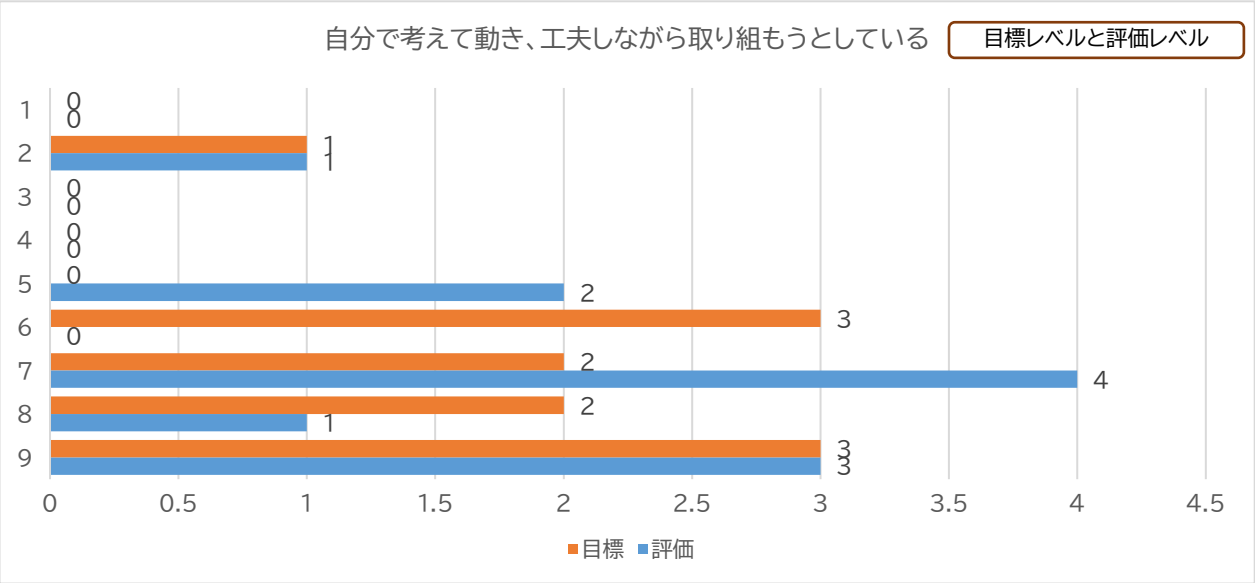




【2-2】 自分で考えて動き、工夫しながら取り組もうとしている

		現在	目標	評価
1	指示があるまで動かず、言われたことだけをこなす。自分で工夫することもない	1	0	0
2		0	1	1
3	言われたことには取り組むが、自分から動かず、工夫もほとんどしない	1	0	0
4		4	0	0
5	周囲に気づいて行動することがあり、簡単な工夫も試そうとする	3	0	2
6		1	3	0
7	自分で考えて動き効率や結果を意識して工夫できる	1	2	4
8		0	2	1
9	周囲を見て先を読み、積極的に動きながら工夫し、良い影響を与えている	0	3	3

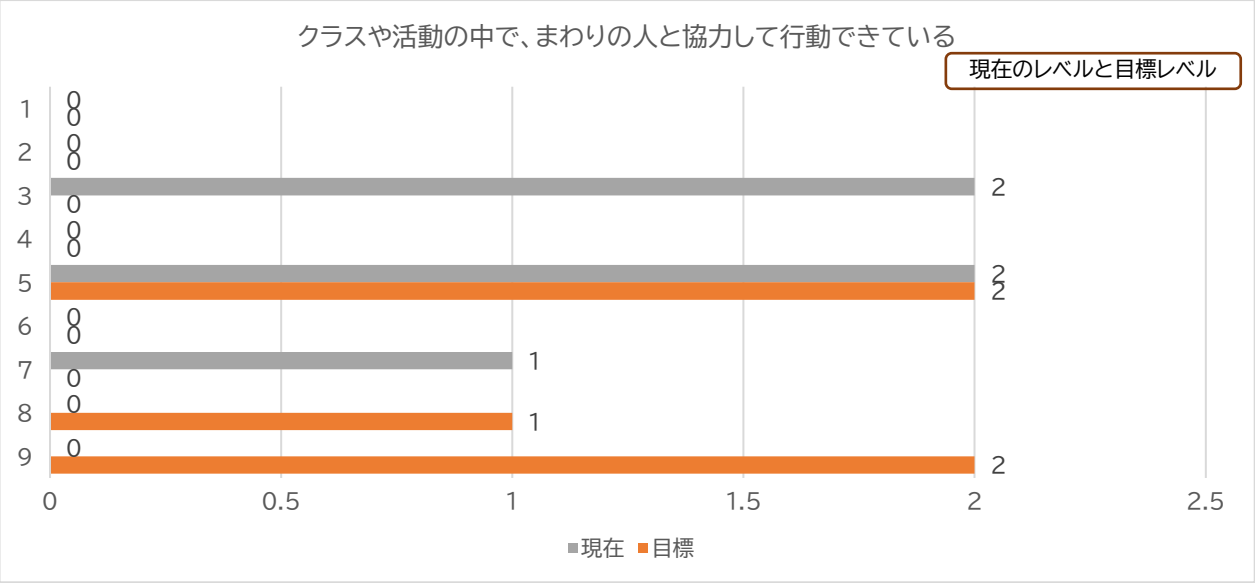


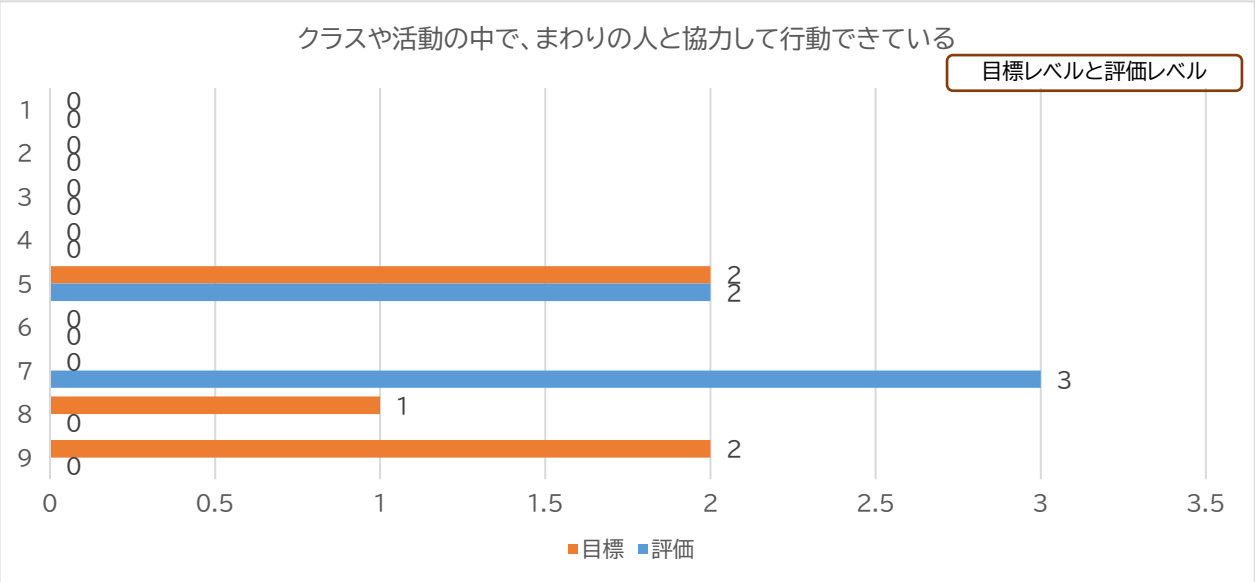


＜協働性・コミュニケーションについて＞

【3-1】 クラスや活動の中で、まわりの人と協力して行動できている

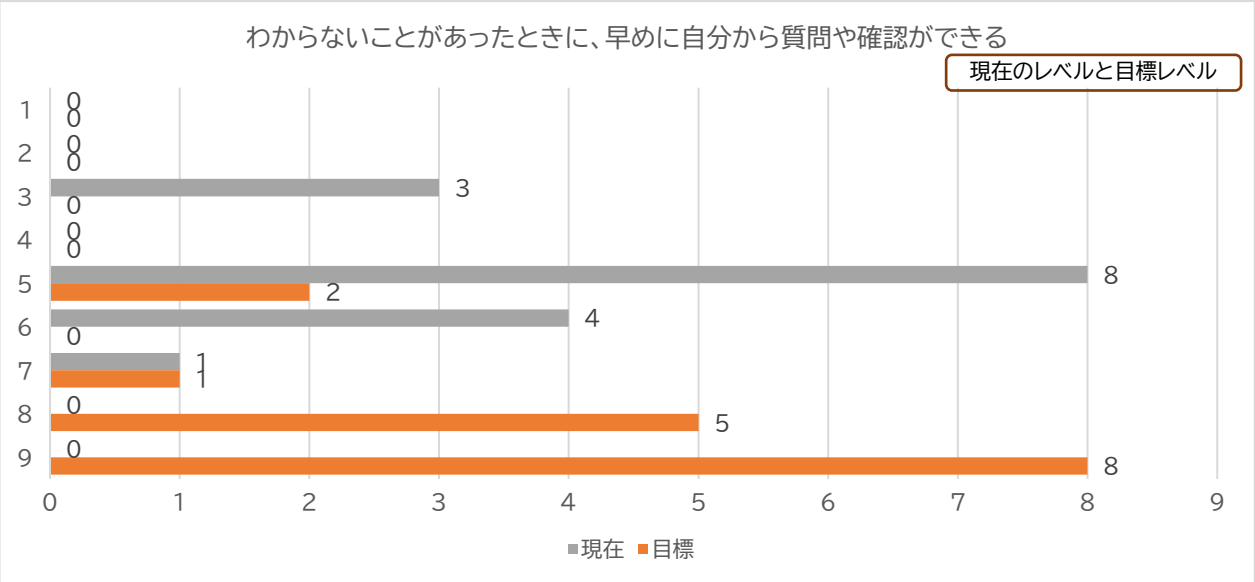
		現在	目標	評価
1	自分のことに集中し、まわりと関わろうとしない	0	0	0
2		0	0	0
3	声をかけられれば一緒にできるが、自分から関わろうとはしない	2	0	0
4		0	0	0
5	近くの人の動きを見ながら、自分にできることをやろうとする	2	2	2
6		0	0	0
7	作業中に声をかけ合いながら、まわりと協力して行動できる	1	0	3
8		0	1	0
9	全体の様子を見て、自分の役割を考え、活動の流れを支えることができる	0	2	0

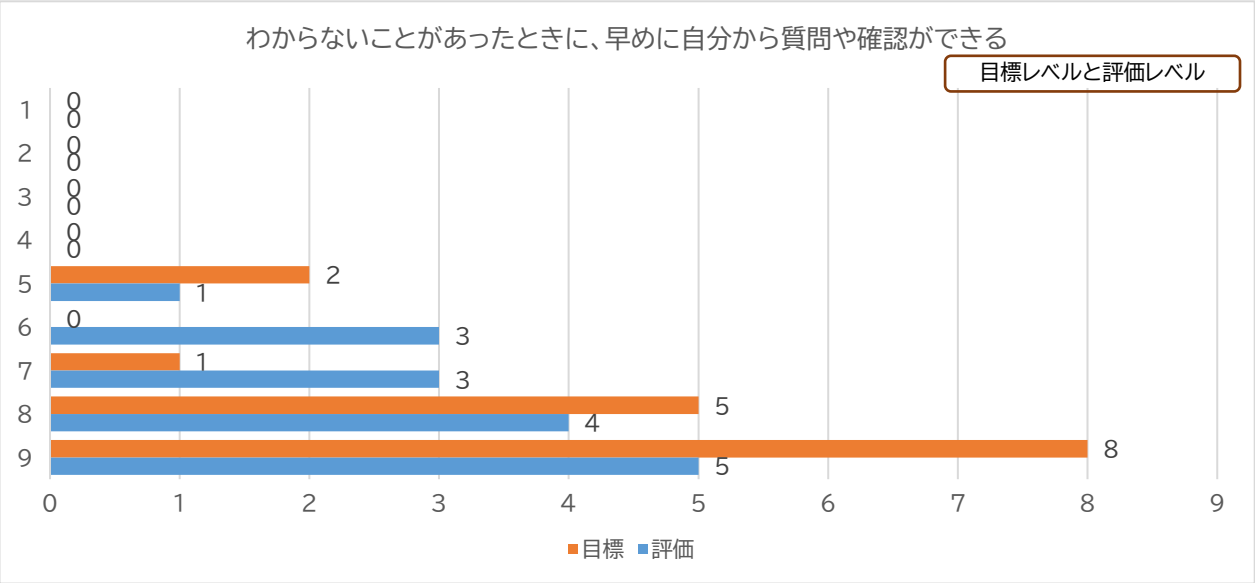




【3-2】 わからないことがあったときに、早めに自分から質問や確認ができる

		現在	目標	評価
1	わからないことがあっても、誰にも聞かずそのままにしてしまう	0	0	0
2		0	0	0
3	聞きたい気持ちはあるが、自分から声をかけることができない	3	0	0
4		0	0	0
5	タイミングを見て、自分から質問や確認をしようとする	8	2	1
6		4	0	3
7	自分から質問や確認ができ、内容を正確に伝えようとしている	1	1	3
8		0	5	4
9	質問や確認の仕方を工夫し、相手が答えやすいように伝えることができる	0	8	5

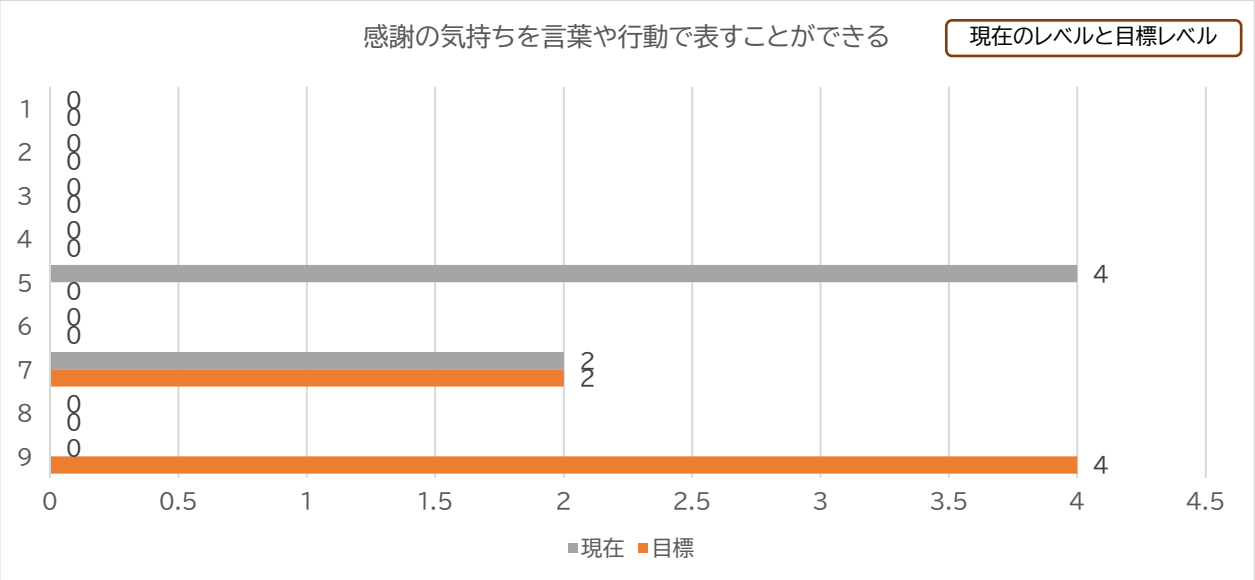


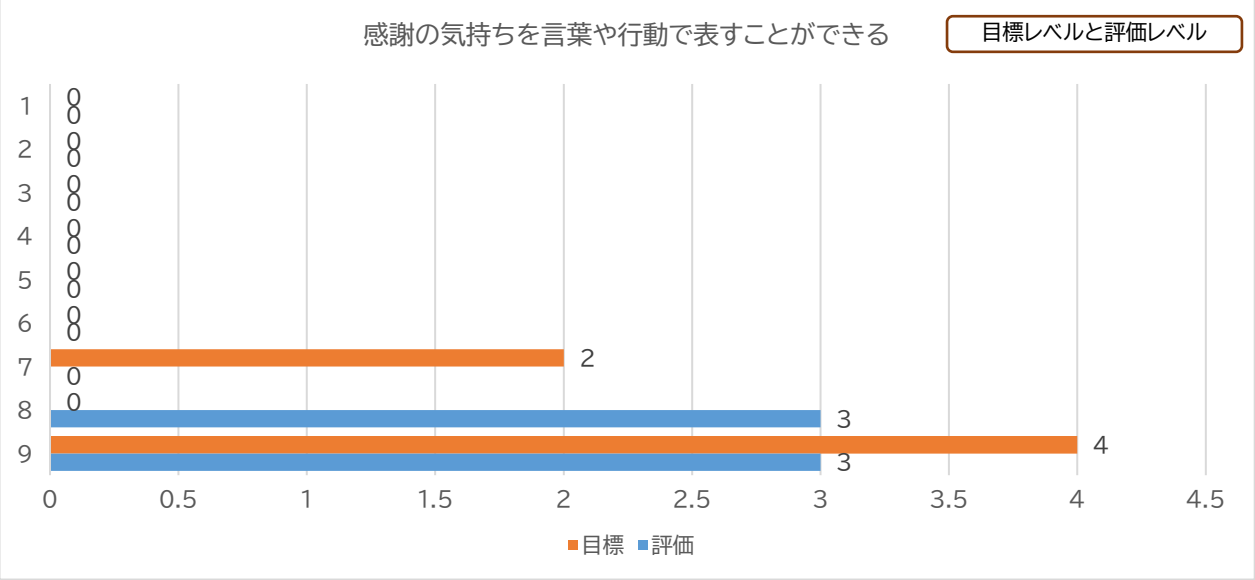


＜感謝・謙虚な態度について＞

【4-1】 感謝の気持ちを言葉や行動で表すことができる

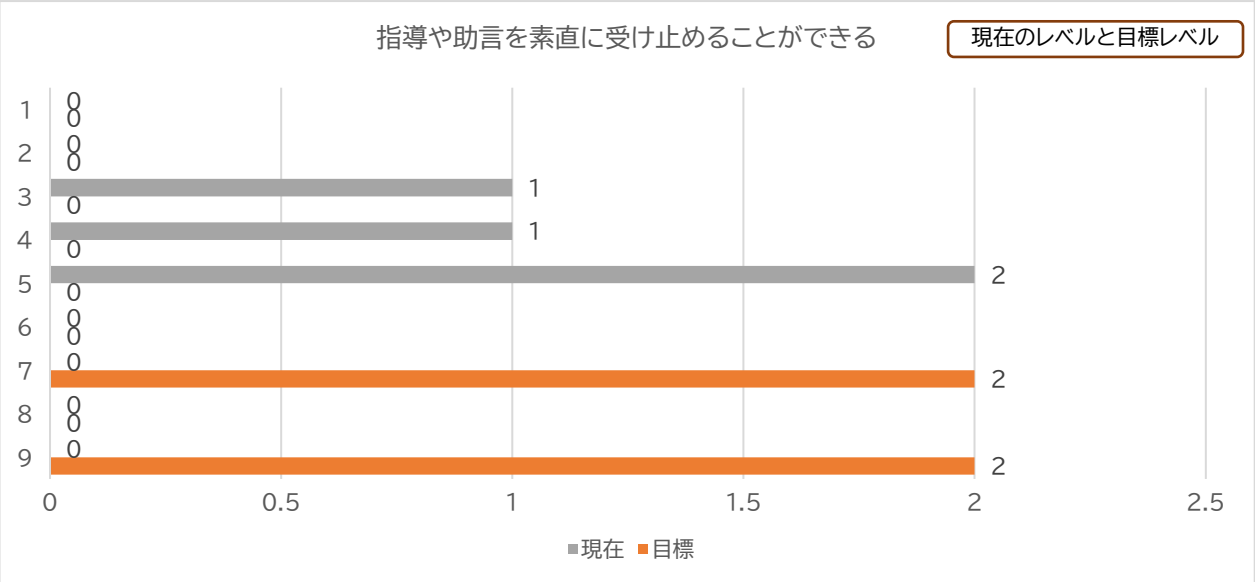
		現在	目標	評価
1	感謝の気持ちがあっても、言葉や態度に表れない	0	0	0
2		0	0	0
3	感謝の気持ちはあるが、自分から言葉や行動にすることが少ない	0	0	0
4		0	0	0
5	何かしてもらったときに「ありがとう」と伝えようとしている	4	0	0
6		0	0	0
7	状況に応じて、自然に感謝の言葉を伝えることができる	2	2	0
8		0	0	3
9	言葉や態度に感謝の気持ちがあらわれ、まわりにも良い印象を与えている	0	4	3

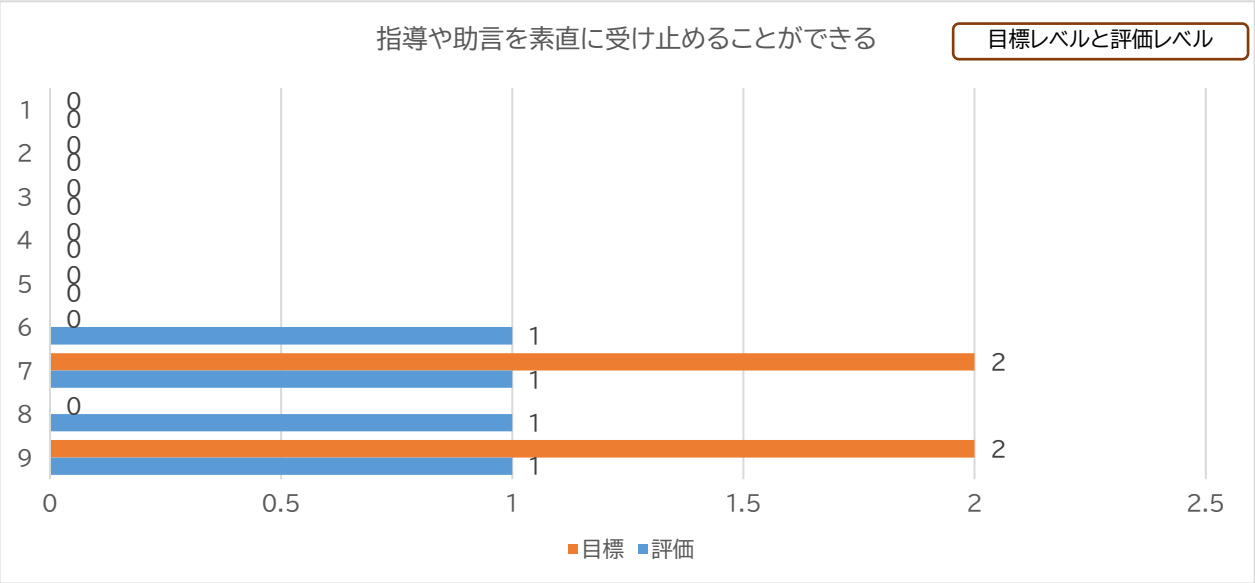




【4-2】 指導や助言を素直に受け止めることができる

		現在	目標	評価
1	注意されても受け止めず、不満な態度が表れることがある	0	0	0
2		0	0	0
3	指摘を受け止めようとするが、気持ちの切り替えに時間がかかる	1	0	0
4		1	0	0
5	アドバイスを前向きに受け止め、次の行動に活かそうとしている	2	0	0
6		0	0	1
7	指導を素直に受け止め、すぐに行動を改善しようとしている	0	2	1
8		0	0	1
9	助言を成長の機会ととらえ、積極的に行動に反映している	0	2	1

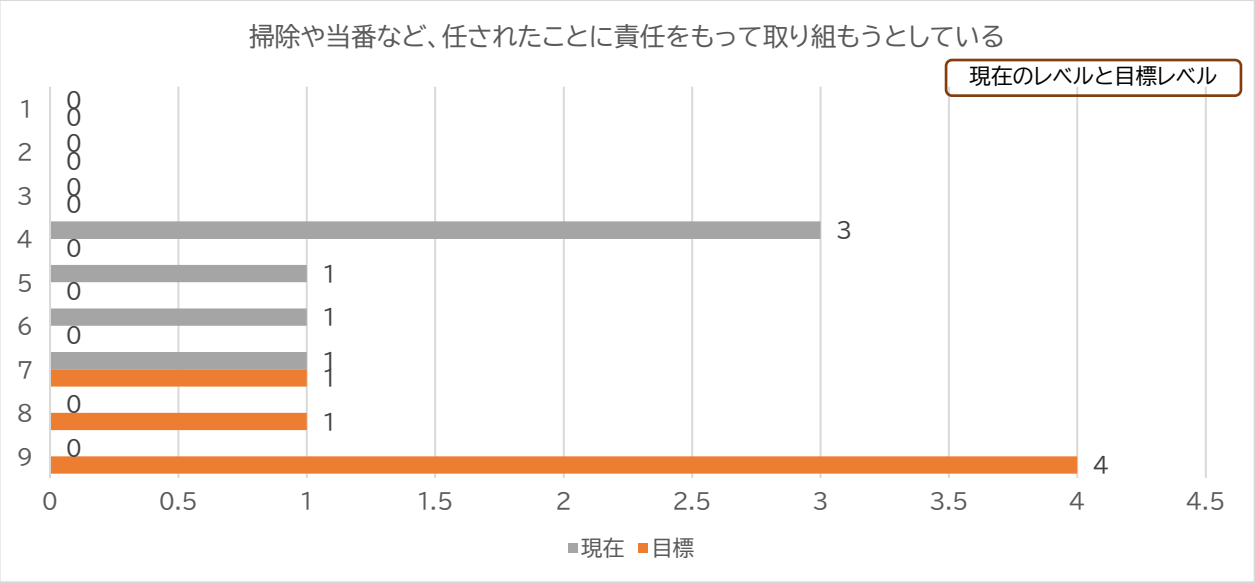


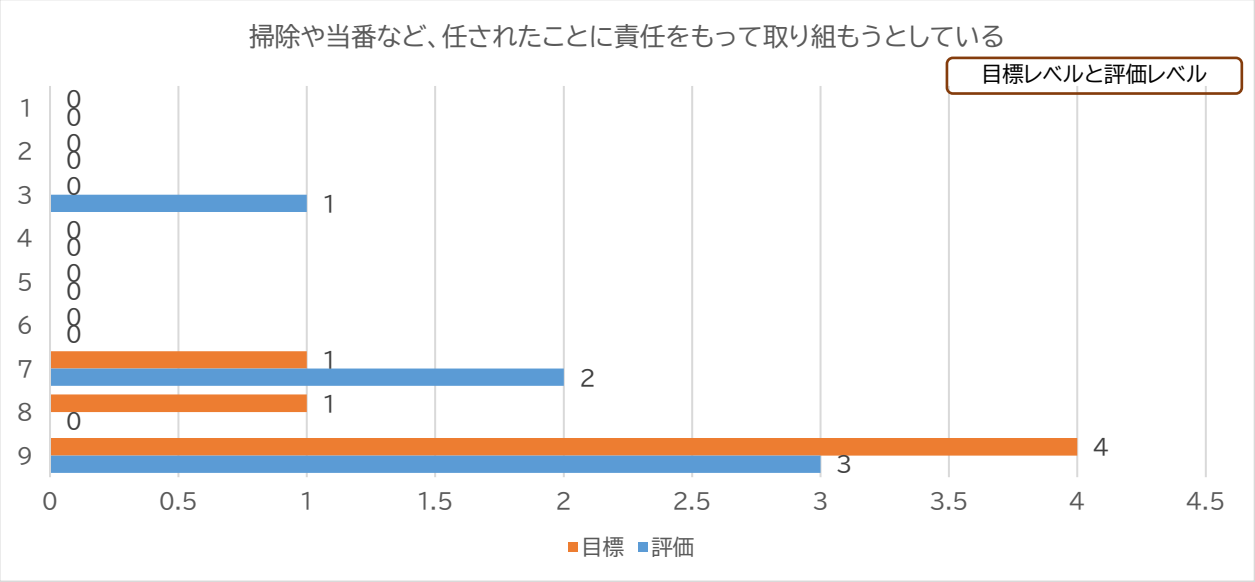


＜責任感について＞

【5-1】 掃除や当番など、任されたことに責任をもって取り組もうとしている

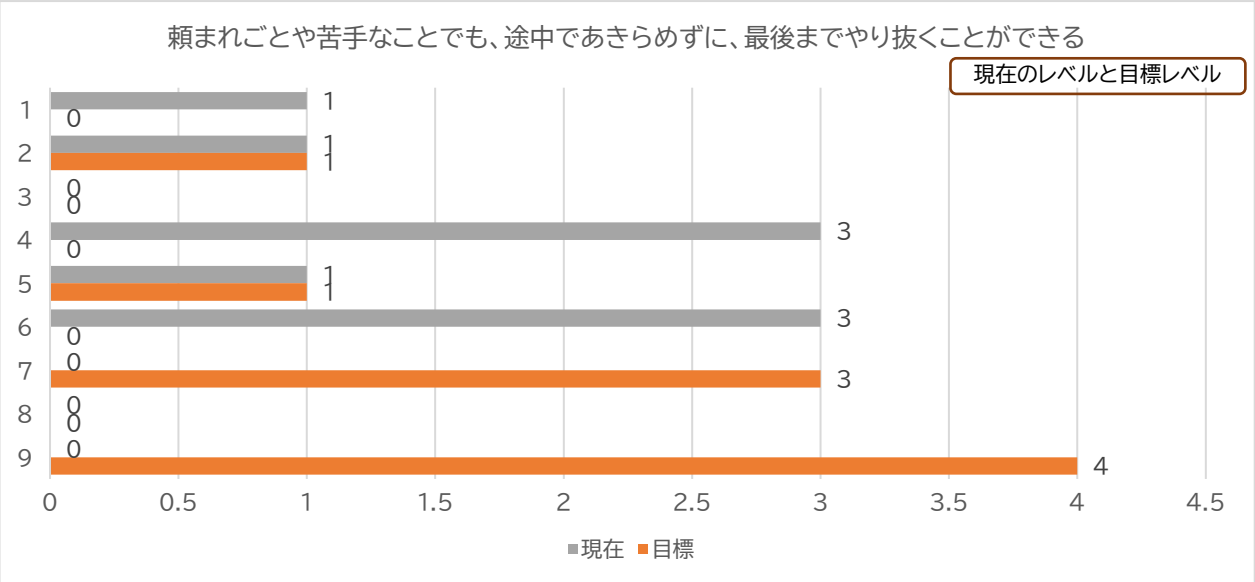
		現在	目標	評価
1	当番などを忘れたり、やるべきことを放置してしまうことがある	0	0	0
2		0	0	0
3	声をかけられれば取り組めるが、自分からは動けないことがある	0	0	1
4		3	0	0
5	任されたことを忘れず、自分の役割として取り組んでいる	1	0	0
6		1	0	0
7	任されたことを最後まできちんと取り組み、役割を果たしている	1	1	2
8		0	1	0
9	自分の役割を自覚してきちんと果たし、まわりにも安心感を与えている	0	4	3

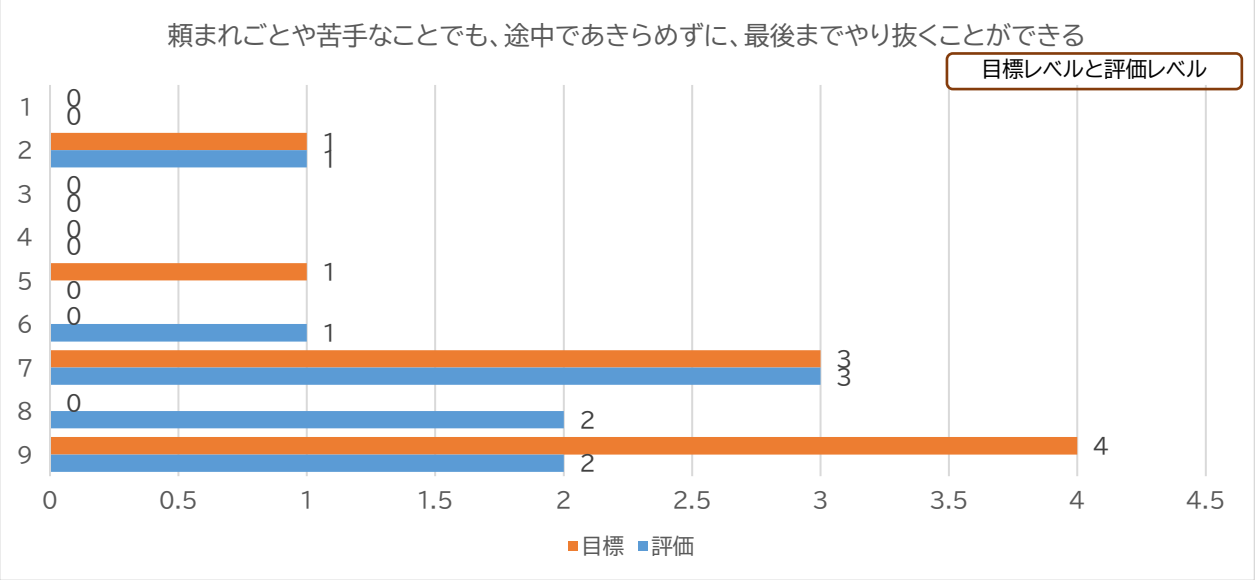




【5-2】 頼まれごとや苦手なことでも、途中であきらめずに、最後までやり抜くことができる

		現在	目標	評価
1	難しいことや面倒なことを途中でやめてしまう	1	0	0
2		1	1	1
3	サポートがあれば続けられるが、自分だけではやり抜けない	0	0	0
4		3	0	0
5	難しさを感じても、途中で投げ出さずに最後まで取り組もうとしている	1	1	0
6		3	0	1
7	工夫しながら継続し、最後までやり抜くことができる	0	3	3
8		0	0	2
9	粘り強くやり抜き、成果や達成感を得ることができる	0	4	2





3－8. 生徒の具体的行動内容と企業の評価コメント

項目№	具体的行動内容	評価コメント
2-1	苦手でも興味がなくても、自ら前に行動したり、手伝いをしたいです。	とにかく、何かを教えてもらう時はメモを取る事を忘れずに。メモさえしていれば、後からでも思い出せるので。あと、教えている立場から見てもメモをとる人、とらない人でだいぶ印象が違います。
1-1	初対面では、自ら笑顔で挨拶することができるようになる。	まだ笑顔はちょっと足りていない感じがします。ただ、挨拶する事がとても大事なのでまずは人とすれ違ったら必ず挨拶するところからでもいいんじゃないかな？一旦笑顔は置いといて。挨拶は一日の始まり!!
4-1	何かしてもらった時に感謝をしっかり伝えられるようにする。	とても大事な事だと思います。どこの職場で共通している事はチームワークの大事さです。上にも書いた様に挨拶する事や人に感謝するというあたりまえの事を出来ない人を今まで沢山見てきました。そういう人達はういた存在になるし、業務に影響が出ます。
1-2	前日の寝る時間を早くして次の日に備える	自己管理の姿勢を継続することで、より安定したパフォーマンスを発揮できるようになるでしょう。今後も日々の行動と翌日の成果がつながることを意識しながら取り組んで下さい。
4-2	自分からアドバイスを聞きに行き、もらったアドバイスをメモする	主体的に学ぼうとする非常に良姿勢です。その場でメモを取っている姿は直接見ていませんが、メモを取る習慣があると、同じ質問を繰り返さずに済み、相手に対して誠意と成長意欲を示せます。
5-2	早めに取り組み始めて、分からない所があれば飛ばして後で聞きに行く。	早めに着手する姿勢は、余裕を持って仕事に向き合えるため、ミスの予防や品質の向上につながります。また分からないことをすぐに聞いていたので良かったと思います。
1-1	目を見ながら話すことが苦手なので、できるようになりたい。	正直、自分も苦手な部分です。でも目を見て話さないと、相手にうまく伝わらなかったり、間違って伝わってしまったりします。苦手だと分かっているなら、普段話すときから気をつけてみてください。友達と話す時とか。

2-1	自分から苦手なことに挑戦する勇気がほしい。	自分からぐいぐい挑戦する姿勢はとても感じられた。とても良い事だと思います。
3-2	相手がわかりやすいように質問の文を考える。どうすればわかりやすく伝えることができるか考える。	焦って早口になりがちに感じる。落ち着いて頭の中で考えて、伝えたい事を要点をまとめて簡潔に。
1-3	いっぱい話したり聞いたりして敬語を覚えて、間違った敬語は教えてもらう。	失礼な印象を感じることは全くなかった。多く話す場面があったわけではないので、敬語のほとんどが適切だったかどうかは評価できないが、笑顔で目を見て話す姿勢は好印象。
2-2	自分で考えることはできるけど行動に移すことができてないから行動に移せるようになる。	今回のインターンシップ体験機関では多くのことは試すことは難しかったと思われます。ただし、1人でも積極的に声をかけることが出来ていたから、素晴らしいことです。
3-2	質問内容をまとめて相手に自分の質問が正確に伝わるようにする。	打合せの段階から、しっかりと質問できていました。不明な点はその場で確認してくれたので、安心して話すことが出来ました。
1-1	初対面の人であっても明るく笑顔で挨拶できるようにする。挨拶をされる前に自分から挨拶をする。	店舗到着後、朝礼時にはショップスタッフに対してしっかりと挨拶をされていました。朝礼で自己紹介をして頂きましたが、声の大きさ、表情がとても良かったです。
1-3	正確な敬語を常に意識して使う。安心感を与えるために落ち着いて話す。	言葉遣いは非常に丁寧で、言葉を選びながら発言されていてとても好感が持てました。
3-2	相手にわかりやすいよういう説明することを心がける。わからないことがあったら積極的に質問する。	スマホ教室講師体験でしっかりと習得されたように思います。こちらからのアドバイスを直ぐに実践されていてとても良かったです。店舗スタッフへもご自身から積極的に質問をされていました。
1-1	自分から挨拶をするように心がける。スムーズに相手に聞こえる大きさで挨拶する。	はっきりと聞き取りやすい声で積極的にあいさつしていました。
2-1	苦手な作業から逃げず、仕事の一部として丁寧に取り組む。	どんな業務内容もちゃんと理解しようと努めていて、丁寧に仕事をこなしていたように思います。
3-2	わからないものをわからないままにせず、相手のタイミングなどを見て積極的に聞きに行く。	小さなことでもそのままにせず質問をすることで、わからないことを減らそうとつとめていたように思います。
1-1	とりあえず挨拶をする・返すのではなく、自ら進んで挨拶に赴き、明るい笑顔と声	挨拶は社会人として最も基本となる行動であり、こちらから先に声をかけることで相手とのコミュニケーションが円滑になり、職場の雰囲

	色で相手に安心感・信頼感を与えるような態度を心がける。	気も良くなります。また明るい表情や声のトーンはあなた自身への印象を大きく左右します。
3-2	質問する前に、質問したい内容を整理するためにメモに書き起こし、必要があればイメージ図やリストを作成して相手に質問内容が伝わりやすいよう工夫する。	今後も質問の前に「自分は何を知りたいのか」「どこまで分かっているのか」を整理し、相手に伝わる形で準備する習慣を身につけていってください。
4-1	常に時間を割いてくださった企業の方々への感謝を忘れずに行動する。可能な限りお礼を伝える。	仕事は多くの人のサポートによって成り立っており、その一つひとつに対してきちんと感謝を表すことは信頼関係を築くうえで大きな意味があります。言葉や行動でしっかり伝えられる社会人を目指して下さい。
1-3	敬語が少しにがてなのでがんばりたい。	初対面の方との会話は、苦手である事は感じられたが、徐々に会話を重ねて段階的にではあるが、大きく変化が見られた。敬語の活用も意識を高めて、一生懸命な姿が見られた。
2-1	苦手なことをあまり自分からやろうとしないのでそれをできるようにしたい。	実習の時間において、積極的に取り組む姿勢が見られた。初体験である細かな作業も模範的な行動を示し、インターンシップの意義をよく理解していると強く感じた。
2-2	自分で工夫しながらいろんなことに取り組むことをできないので、それをもっと自分で工夫できるようにしたい。	実習の時間において、積極的に取り組む姿勢が見られた。初体験である細かな作業も模範的な行動を示し、インターンシップの意義をよく理解していると強く感じた。
1-1	自分から進んで挨拶をできるようにしたいです。	積極的にコミュニケーションをとろうと尽力していたように思います。
2-2	自分ができることを考えて進んで行動し、工夫できるようにしたいです。	現状を把握し、今やるべき事の為に行動できていました。
3-2	聞きたいことをそのままにしないで、自分から進んで取り組めるようにしたいです。	知らない業務にも積極的に取り組み、分かる仕事を増やしていっていたように思います。
2-1	めんどうくさいことときらいなことはだるいからやってなかったけど、モチベを上げてがんばる。	フロアサービス時に初めは声をかけられなかったが、アドバイス後には声かけを頑張っていました。
2-2	働いたりうごくのがめんどうくさいから言われるまでなにもしないんじゃなくてがんばる。	目標と同じく、アドバイス後は取り組もうとする姿勢が見られました。
5-2	苦手なことはとちゅうでやめるというより手をつけないからさわってみる。	フロアサービスの時間中はその場にとどまり、頑張りつづけていました。

1-2	計画をたて、時間通りに来るのではなく10分前を心がけ常に時計を見て行動する。	計画的に前もって行動することで、仕事をスムーズに進められていたように思います。
2-1	自ら進んで取り組み、質問をしたり積極的に行動する。	気になるところがあればすぐ質問し、意欲的に行動できていました。
5-1	忘れやすいので、メモを取ったり自分の役割が終わったら周りの補助ができるようにする。	自分の担当している役割が完了したあともしっかり周りを見て状況判断し積極的にサポートしていたと思います。
3-1	インターンシップ先の方々と自分から積極的に関わり、行動する。	最初は積極的に他のメンバーと関わっていなかったが作業をしながら対応できる様になっていた。
2-2	自分から仕事を見つけ行う。何をしていいかわからない際は、自分から質問する。	メンターの話を理解しようという姿勢が好印象であり積極的でなくても、自分のできる事で取り組もうとしている
1-1	相手に聞こえる声で挨拶、返事をする。	会話をする時に、しっかりと目を見て、笑顔で話す事ができた。マスクをしていたので、声は小さく感じたが、活舌は良く聞き取れた。
2-1	苦手なやつは最後までやってみるけど、ちょっと手をぬいたりしちゃうからぬかないようにしたい。	隊員による長時間にわたる説明等について、関心深く話に集中しており良好でした。
3-1	誰かが動いたら自分も動くから、誰かが動くのをまつんじゃなくて自分から進んで動けるようにする。	初日の見学については、周囲の学生とのコミュニケーションについて一部苦手意識が見られましたが、2日目以降は強調しながら学ぶ姿勢が感じられました。また実習においても積極的な行動が徐々に改善されていた。
1-3	敬語は使えるけど丁寧な敬語ではないと思うから周囲のできてる人を見て学ぶ。	口数が少ないものの、冷静沈着で敬語の活用に気を使っている場面が多く見られた。
1-3	3つの敬語の種類(尊敬語、謙遜語、ていねい語)を明確にして、場面ごとに使い分ける。話す時は顔も意識する。→話しかけやすい雰囲気を作る。	言葉づかいが気にならないぐらい敬語を上手に使っていたと思います！また、より丁寧な言葉づかいを意識しているのが良かったです！話しやすさもありましたよ！
3-2	話を聞いてて、分からないことがあったら一旦メモして、話が終わったらその場で質問する。(分からないままにしない)話をきく時は、話している人の目を見て、相づちを打ちながらきく姿勢を保つ。→聞き終わったら反応も意識する。	2日目のオリエンテーション(会社・仕事説明)のタイミングでしっかりと心をとらえた質問をしてくれるので印象的でした！しっかり聞く姿勢もとってくれて、話していて気持ちも良かったです！

5-2	なぜできないのかを考えて、自分の中で工夫したり、聞いたりして、相手の言ったことを素直に受け止めて、粘り強く取り組む。	結婚式のお仕事は想像以上に裏方業務が多かったかと思いますが、細かい作業(フラワーシャワー拾いなど)も嫌な顔せず取り組んでくれました！
1-1	元気よく笑顔で聞き取りやすいようにあいさつをする。また相手に不快な印象を与えないように自分から積極的に明るくあいさつをする。1日に3回はがんばりたい。	初対面での印象は明るく元気で気持ちの良い挨拶ができていました。
2-1	自分は苦手なことや興味のないこと投げやりにしてしまう部分があるので、このインターンシップを通して、まずは挑戦してみたり、そのことについて調べてみたりして興味をもつようにしてみる。	苦手な事に対して、少し目線が傾く様子がありました。とても快活な印象なので相手に対しての姿勢を意識してみると更に良くなると思います。
5-2	人生において最後まであきらめずにやりきる力というのはとても大事なことだと思うから、1日に一つでも何かやりきる事をきめて、それを絶対に最後までやりきりたい。二日目三日目には二つや三つに増やしていきたい。	今回の作業、最後までやり抜いていました。
1-2	インターンシップ先の事業所に遅刻せず、10 分前程には着いておいて、色々な確認やメンバーの確認などを済ませておく。	遅刻せずとり組んでくれて助かりました！遅刻しないことが大事というか、無事勤務先に出勤して全員であわてることなく業務が始められればいいと思うので、心と体に余裕を持って過ごしてね。
2-1	嫌な事を頼まれても進んで関わりインターンシップ後成長できているようにする。	嫌な事何かあったかな？とても積極的にインターンと向き合ってくれたと思います。
4-2	事業先は整体系なので技術などを教えてもらう際には、積極的に動いて習得できるようにする。	技術としては、テーピングとインソールだったかと思います。毎日練習と作成に時間を使ってもらいました。最後には”合格”ももらえて良かった！
1-2	自分はよく野球の時集合時間のギリギリになることが多いから、インターンシップをやって、いつも働いている人たちはどのくらい時間にゆとりをもって準備をしているかなどを知って、現在レベルが 3 だけど 7 までレベルアップする。	3 日間のインターンシップを通して遅刻等はなく、集合場所へも誰よりも早く準備を整えていました。

3-2	野球の時、ミーティングなどであまり発言できないからインターンシップで自分で思ったことをすぐ口に出して話せるようにする。	学生の代表として隊員の質問等に応対する行動が見受けられていました。また他の学生へも不明な点があれば確認するよう促す様子も見て取れました。
5-1	野球の時、先生に頼まれたことを忘れていて怒られたことがあるから、インターンシップ後には頼まれたことは当たり前にやってプラスアルファまで自分でできるようにした。	場慣れしていない状況を多々見受けられたが、リーダーとしてしっかりと周囲を観察し、臨機応変な対応力が目立ちました。
5-2	いやなやつからにげるから、にげないようにする。	隊員からの質問にはしっかりと応じていたが、自ら質問することが少ないように感じた。まだ親しく無い友達とあまり話していなかったので、これから仲良くしていけると良いと思います。
1-1	笑顔であいさつしているけど、もっと明るくしていきたい。	初日は緊張していたのか、口数が少なかったが、最終日には、自ら笑顔で挨拶してきたのでとても良かったです。
5-1	責任をもってやるけど、きんちょうかんをわすれずにやった方がいいと思う。	自ら動くような感じは無く、周りに着いていくような感じであった。
1-3	インターンシップで言葉づかいや目上の人との話し方などを学び、丁ねいで正確な言葉づかいが話せるようにした。また、ほとんどの場面で敬語を使えるようにしたい。	正確な日本語、言葉づかいは大人になってもなかなか難しいものです。ふりかえりの中でも話しましたが、是非アウトプットする機会をたくさん作って、敬語を使っていくのが上達の早道です。多くの人とコミュニケーションを取りながら、引き続き学んでいって下さい。
2-1	お世話になる企業で苦手な仕事をまかされた時などでも、自分から進んで仕事をするように心がけていきたい。	はさみで直線を切るのが苦手とお話をされていましたね。人はやりたくないことや、重大なことを先送りにしてしまうことがあります。目の前の細々した作業に目を向けがちですが、仕事の目標を達成するために、何が一番大切で最優先は何か？と考えて行動することが重要です。「自分がやります！」と声をあげられるようになるといいですね！
2-2	周りの状況をしっかりかくにんし、自分で考えて行動できるようにしたい。また、効率がよいかも意識して行動したい。	子どもたちの様子を見てよく動いてくれていました。知らない場所で効率まで考えて行動することは難しいことだったかと思います。お願いしたことを快く引き受け対応して下さり助かりました。何か行動を起こす時、周囲にもわかるよう、声に出して「私が××を対応します！」

		と言えると情報が共有され、全体の効率 UP につながります。是非やってみて下さい。
1-3	目上の人と話すときにまだ言葉遣いが難しいから、目上の人と 3 回以上話をしておぼえていく。	同世代の方とのコミュニケーションが多いと思いますが、今回はほぼ主婦世代のみなさんとお仕事をしてもらい、その中で分からない事を聞くことができ、雑談している中でも丁寧な敬語を使い、しっかりとコミュニケーションが取れている印象です。
2-1	自分から苦手なことや興味ないことに取り組んでその中での楽しさやたっせいしたときのよろこびなどをさがす。	初日の座学ではマクドナルドの取り組みについての読み合わせでしたが、積極的に問題を解いたり、声を出して読むなど前向きに参加している姿がありました。単純作業でもコツをつかむのが早く、ドリンクやポテトなどの作業でも活躍することが出来た。
5-1	自分からきたないとこやちらかっているところをさがして 1 日 1 回はそうじをする。	客席の清掃ではしっかりと手順を確認して実施する事ができ、担当者が席を外しても責任をもって清掃や配膳をし、お客様や従業員とのコミュニケーションを取ることが出来ていました。2 回の客席やキッズスペースなどテーブルやいすを拭いた後、きれいに整列させていて、見ている側がとても気持ちのいい光景でした。
2-1	自分が苦手な物や好きじゃないこと楽しくないこと興味ないことは自分なりには行動できるけど、好きないことでも丁寧に周りが見てもしっかりやっているとは思えないのでそこまで持っていく。	初日の座学ではマクドナルドの取り組みなどの読み合わせでしたが、積極的に声出してよみ、クイズ形式の問題にも真剣に考えている姿が見られました。初めてやる作業ではしっかりと動画で確認し、手順をメモするなどして忘れないようにいていました。本来清掃、配膳の予定でしたが、3 日間で沢山の項目にチャレンジ出来ました。
4-1	自分は人に何かをしてもらったときや何かを教えてもらったときにいつもありがとうって言ってその後に周りにいい印象を与えているかと言われるとそうじゃないと思うのでしっかりありがとう以外で言葉を気持ちをこめてありがたいと思ったらありがとうプラスいい印象を与えて 1 日最低 5 回ありがとうを言う。	担当者以外からも指導やサポートをしてもらう場面でも、必ず感謝と会釈があり、一緒に働く従業員たちからとても評価が高く、好印象でした。分からないことも素直に聞くことができる。1 日に 5 回以上の感謝を伝える、これからも継続してくださいね。

5-1	自分は与えられたことは忘れずにしっかり最後までやっているけど、まわりを見て安心感を持たせてはいないと思うのでしっかりまわりを見て与えられたことをできりょうにする。	客性の清掃ではしっかりと手順を確認して実施する事ができ、〇〇さんと清掃エリアを分担したり、ほうきとモップを分担したりといい連係プレーもありました。ポテトのポジションに入った時は次使う人のために補充を気にしたり、とても責任感を持っていると感心しました。
2-1	自分は、例えば勉強が苦手で興味がないです。今まで勉強からさけてきたので、このインターンシップを通して、苦手や自信のないお願いをされた時に自ら進んで取り組めるようにしたいです。そうする時でインターンシップ後の目標レベルの 7 に近づくと思いました。	第一印象、元気がありとても好印象で言われた事をきちんと返事し、わからない事も質問してくれるのでトレーニングもやりやすかったです。苦手な事に挑戦する事は必ず成長できることですので、〇〇くん社会にでても苦手な事はとても大事な事だと捉えて挑戦して下さい
3-1	もともと周りと協力して行動する事は苦手ではないんですけど、この機会を通して、初対面の人と協力することによって目標レベル 9 の全体の様子を見て、自分の役割を考え、活動の流れを支えることが出来るような人を目指したいです。	初対面、笑顔で挨拶した事で私とのコミュニケーションができ、しっかりトレーニングを受けることができたので目標も達成できたと思う
4-2	インターンシップを通して、すこしでも指導や助言を素直に聞くレベルを高めていきたいです。	とても素直でした。わからない事をちゃんと質問できる事は素晴らしい事です。
1-2	自分は遅刻が野球でも多いのでこのインターンシップで 1 のレベルなので、アラームを早く設定したり、明日の準備をじぜんに昨日の夜に準備をして、遅刻をしないように心がけたいです。	初日の見学の集合において、多少遅れが見られたものの、その後は積極的に集合時間等の情報収集を行い、改善が大きく見られました。
2-2	自分は、自分で考えて、自分で行動するのが苦手なので、まずは目標を立てて、まずは一人にみとめられるぐらい工夫をして、このインターンシップでレベルを 6 に上げたいと思います。	今回のインターンシップの参加者の中では、極めて多くの質問を積極的に実施しており、自己の改善意識の高さがよく見られました。
4-2	自分は、指摘をされて、怒られるとすぐ気持ちが高ぶっちゃいます。なので、自分の気持ちをおさえて、指摘されたらすなおにしっかりと指摘を聞きます。そうしたら、レベルが 7 に上がると思います。	今回のインターンシップでの連絡係を担当しており、私とやり取りをさせて頂きました。電話の受け答えは不慣れではあるが、丁寧でハキハキと対応していました。また次の行動について、情報収集に努めて他の参加者へ確実に伝達していました。

1-3	目上の人と会話する時の話し方で敬語は使えるが適切な話し方かは分からないのでインターンシップを通して話し方を聞いたり、実際に見たりして学ぶ。	1日目からしっかりあいさつもできていて、質問に対してもしっかり返事をしたり、聞く耳をもったりできていました。とても素晴らしい態度だったので色々なマクドナルドでの仕事を教えたくなりました。
2-1	自分は勉強が苦手だが野球のために苦手な物に取り組む、テスト前に 2～3時間ほど勉強をして何とか前は赤点が 2 個あったが、60 点以上を全部取る事ができた。	勉強が苦手とは思わないくらい熱心に仕事に取り組む姿が印象的でした。勉強もスポーツもなんでも出来そうな生徒さんでした。
2-2	試合で結果を出すにはどんあアップを入れた方が良いか、どんな準備をするかを自分で考えて、実際に取り入れる事で試合でも結果が出てきて、1 個上の代から 1 番バッターとして試合に出続けている	手が空いた時でも何か出来ることはないか、自分で仕事を探そうとする姿もみられていました。ボーっと立っているのではなくキョロキョロしてまわりを良く見ていました。
2-1	はじめて経験することが多いと思うけど、自分にできる最大限のことを取り組み、積極的な姿勢を常に維持しつづけていきたいです。	はじめての事はかりだったけど、全て全力で取り組んでいただけたと思います。集中力高めで頑張れました。
4-2	おそわったことを次に生かすということを心がけ、自分の成長につなげられるようにする。	テーピングもあいさつも毎日成長をつづけ、頼もしかったです。自チームでも必要とされるときがあるかもしれません。忘れないようにしてね！あいさつは絶対つづけてほしい！
5-1	任されたことは最後まで取り組み、自分のやることが終わったら他の人を手伝ったりできるようにする。	あいさつ、笑顔の徹底を最後まで守ってやってくれました。単にペアで動いてもらい、外部活動もペアで協力して笑顔で頑張ってくれました。
1-1	自分は初対面の人とかだと相手が声をかけるのを待ってしまい、たまにしか自分からあいさつや声をかけに行くことがないので、インターンシップをとおして初対面の方でも自然的に言葉をはっし、あいさつを心がけていきたいと思います。そのために日頃からあいさつをすることを心がけ、困っている人がいたら自分から声をかけにいくことで、9 までいけると思います。	全患者様が初対面だったハズも、大きな声であいさつをして笑顔でした。患者様との会話にも耳をかたむけて共通点をさがして話をしてくれました。ありがとう。
3-2	自分は、周りに合わせてしまうくせがあり、誰かが質問などをしてから自分も分	テーピングは特に質問をしながらていねいに実践してくれて一番の仕上がりだったと思い

	からない所を聞くということが多いため、もし、誰も聞かなかったりしたら分からないままにしてしまうときがあるので、インターンシップをとおして、分からない所が何個かあったら自分なりにまとめてかんけつにして質問することを心がけたいです。	ます。まとめて簡潔だったかは覚えてないけど、質問もあったので感謝しています。
5-2	自分は、苦手なことや難しさを感じたら、イヤイヤやってしまうことが多く、お母さんにも「態度に出てるよ」とよく言われているので、インターンシップでは、イヤイヤやるのではなく自分の成長につながるんだという気持ちでやり、最後まであきらめず終わったあとの達成感を感じて、次につなげられるようにしたい。	恐らく苦手な事や、難しい事はあまりなかったのかもしれないね。全ての予定を集中して取りくんでいてうれしかったです。何事にもチャレンジしつづけてほしいです。
1-2	10 分前行動し、まわりにめいわくをかけないようにする	10 分前行動については苦手な生き物に対応しなくてはならないため、少し積極性が見られなかったが、動きは良かった。
5-2	自分が苦手なことも自分からせっきょくてきにやる	不慣れな作業が多かった事もあったが、最後までやり抜いていた。とても努力していたと感じられた
2-1	きょうみのないもににもきょうみをもてるようにがんばる	虫は苦手だと感じられたが努力して取り組み最後には、笑顔で作業する事ができていた
2-2	周囲に気づいて行動することがあり、簡単な工夫も試そうとする。をもっと周りを見て、みんなより先に動けるようにしたい。簡単な工夫だけじゃなくて積極的に行動し、周りからの印象をよくしたい。	非常に落ち着いていて、よく物事を観察されていたかと思います。よく相手を観察することで、その人のニーズが見えてきます。引き続き観察眼に磨きをかけていって下さい。
3-1	近くの人の動きを見ながら自分にできることをやろうとする。も、全体の様子をみて、自分の役割を見つけてすぐに行動できるようにする。	知らない場所で自分の役割を見つけて行動することは容易なことではなかったと思います。今後チャレンジしていく際に、「私××します！」等の声かけがあると周囲の人にも共有され全体の効率が上がっていくと思いますので、是非やってみて下さい！
3-2	聞きたい気持ちはあるが声をかけることができない。それを相手が答えやすいような質問で、相手を不快にさせないような質問をする。	振り返りの中でも少しお話ししましたが、相手への興味関心が質問につながっていきます。「この人はいまどうしてこの行動を起こしたのかな？」「どうしてこう言ったのだろう？」と細

		かく相手を観察してみて下さい。自然と質問が出てくるようになりますよ！
2-1	苦手なことを進んでやって、それを見て他のメンバーを動かせるようになって、それを見てお店の人が「KBC の生徒すごいね」と思われるような行動をしていきたい。	与えられた業務はまじめに取り組んでいて良かったです。
2-2	指示待ちじゃなく、自分で周囲を見て、次の動きを予測できるようになる。3 日目までには、お店の人が指示をしなくても動き、むしろ「あれもやっていいですか？」と言えるくらいになる。	修理は普段からやっているだけあり上手でした。これからも道具を大事にしてください。入力業務も、分担してミスなくできていました。どうやったらミスなくできるか考えて作業していたので任せて安心でした。
5-2	苦手なことや難しいことがあったり、頼まれたとしても最後までやりぬいてまた頼まれるようになり、3 日目までにはただ最後までやるだけじゃなく、効率よく達成感を感じれるようになる	集中してできていました。仕事面では器用に対応ができる印象を持ちました。
1-1	自分から明るく自然に挨拶できないのでしっかり明るく相手が話しやすいようになる	自ら進んであいさつができていました。明るくという点ではもっと笑顔があればよかったなと感じました。
1-3	たまに敬語を使うのを忘れてしまう事もあるので正確に丁寧な敬語を使い相手に安心感を与えられるようになる	敬語の使用は良好でした。落ち着いて話ができている点もよかったです。
3-2	質問をする時に何て言えばいいかわからなかったり、相手にわかりにくい質問をしてしまったりするので相手が理解しやすく答えやすく伝えれるようになる	質問されることは少なかったですが、伝えたいこと、聞きたいことをしっかり伝えることができていました。
1-1	自分から明るく挨拶して、また相手が話している時に目を合わせたりうなずいたりするなどして、相手が話しやすい状況を作る	言葉づかいや、聞く姿勢はとても好感をもちました。
1-3	どんな時でも正確な敬語を使って、相手に失礼のないような言葉づかいをして、それだけでなく、安心感を与える。（です、ます）	丁寧な言葉づかいで対応できていました。そこに笑顔をプラスできたら 100 点です。（注：ずっと笑うという意味ではありません。）
3-2	思った事をすぐ言うんじゃなくて、その場のタイミングとかを考えて聞き方などを相手が答えやすいように聞く。	不明な点は、ちゃんと確認しながら対応できていました。安心して仕事を任せる事ができました。

1-3	言葉使いを覚えて、目上の人に丁寧に接して、インターンシップだけのためにではなく、今後の自分にも必要になると思うので日常生活から先生など目上の人と会話して敬語をしっかり使えるようにしたい。	言葉はとにかくアウトプットした分だけ上達します！しんどい思いをしたり、恥ずかしい思いをして覚えていくものだと思いますので、多くの人と会話をし、言葉を習得していって下さい！
4-1	自分の目標でも、謙虚な態度というのを目標にしていて、このインターンシップでさらにみがけたらいいなと思った。	謙虚な姿勢は対人関係を築く上で非常に重要なことですね。特にキャプテン等、リーダーシップを取る人にとっては重要になってきます。日本人の奥ゆかしいところは長所でもありますが、「空気を読んで言わないでおく」は謙虚さとは違うように思います。必要な時はどんどん自分の意見を言葉にしていきましょう！
1-1	初対面の人にあいさつは出来るけど会話となると、話が続かないので、その人の事をよく見て話しのラリーを出来るようにしたい。	ふりかえりの中でも話しましたが、会話を増やすコツは”質問すること”です。相手に興味関心を持って関わることで、相手を知りたくなり、自然と質問が出てくることと思います。
1-2	時間をしっかりと確認をして、10 分前行動をできるようにする。そのために、前日はちゃんと睡眠を取る	集合時間の 10 分前には、集合し、落ち着きのある行動で良好であったが、先を読んで考動出来るように心がければもっと良くなると思います。
4-1	困っている時に、何か教えてもらったら、必ず笑顔でお礼を言えるようにする。	隊員による説明に対し、集中して聞いており、さらに相槌もしていたので良かったと思います。しっかりと感謝も述べていたので良好でした。
3-2	分からないことがあったら、そのままにしないで、自分からしっかりと質問できるようにする	周囲の雰囲気を見ながら、質問しているように感じた。協調性に関し良好でした。さらに自ら率先して質問出来ればもっと良いと思います。
3-2	自分から質問などをする。	指示通りに動いてくれました。とても元気があって良かったと思います。もっと積極的にコミュニケーションを取ったり、自分から行動に移したりするととても良かったかなと感じました。
1-3	まだ敬語を使える時と使えない時があるのでインターンシップの時や社会に出た時の為に敬語を使う。	受け答えが元気があって良かったと思います。敬語を使えていないと感じたら、すぐに自分で修正もできていたと思います。
3-1	自分の役割を理解して活動する。	トレーニングジム清掃の時もしっかり〇〇さんとコミュニケーションを取りながらできていたと思います。

1-2	自分で時間を逆算して、5 分前には準備をし、集合するようにする。	挨拶や時前行動は、とても良く、好感がもてました。
2-1	好きではないことも、仕事の一部として丁寧に取り組むようにする	苦手な生き物もいましたが、メンターに不快な思いを抱かせる事なく作業を行う事ができていました。
2-2	自分で考えて動き、周りに何をしたらいいのか聞いて工夫できるようにする。	ホタル館の飼育している生き物が、見慣れないため自分で考えて動くことがむつかしかったと思いますが、周囲への対応はできていた
2-1	苦手な所や興味のない作業でも、なぜそれが必要か、やる意味は何かを考えて行動できるようにする。質問や友達と協力して迷惑にならないよう考えて行動する。苦手な作業だと行動へ移るのがおそくなりがちなのでいつもの 2 倍のスピードで取り組む意識を持つ。	取り組む仕事をよく理解し、メンターに対しても印象良く取り組んでいた
2-2	自分で考えて工夫しながら取り組めるようにするために、周りを見て、やるべきことを理解する。積極的に質問して自分なりにベストな方法を考える。工夫するためには考えることが大切なので常に良かったところ悪かったところを考え直す。	馴染みの無いホタル館の仕事に対して、自分で考え、メンターへ質問しながら作業を行う事ができていた。
1-1	日頃から自分から進んであいさつはできていたけれど、相手への印象を気にかけたことはなかったので意識したい。元気よく大きな声であいさつする。人の印象ははじめて会って 0.2 秒で決まるといわれているので相手にとっていい印象であれるようにしたい。	今回初めて対応するメンター3 人に対して、明るく積極的に挨拶し、好印象でした。
2-1	苦手な内容をすぐやめてしまうので、粘り強く取り組めるようになりたい。	与えられた業務はまじめに取り組んでいました。
5-2	苦手なたのまれごとなど最後まで取り組めるようになりたい。できるようになるまでやる。	自分で考えて作業をこなし、頑張っていました。
1-3	目上の人への態度をふつうくらいなので完ぺきにできるようになりたい。 100%できるようになる。	あまり、お話しするのが得意ではない印象を持ちました。やわらかいイメージは生かしながら、意思表示がはっきりできる様にチャレンジしてみるといいと思います。優しい笑顔は好感がもてました。

1-2	遅刻は絶対にしていいものではないので時間にギリギリになるよりも少しでも早く行動した方がいいと思ったし、この項目は治せる部分だと思ったから。	インターンシップ開始時間や休憩後の集合時間もしっかり意識して動けていました！
2-1	苦手な作業は自分なりに取り組んでいるけど前向きにはあまりならないので、苦手でも一つ一つ出来るようにしていく事ややろうとする事が大事だと思ったから。	結婚式のお仕事は意外と裏方の内容が多いのですが、お客様の目に入らない部分（フラワーシャワー拾いなど）もテキパキと動けていました！積極的な姿勢に見えました！
4-1	感謝の気持ちは相手に伝える事が大事だけど行動ではあまり伝えずらいのでこのインターンシップで協力してくれる会社の人には少しでも多く感謝を伝えるようにする。	採用担当の私が関わったのは、オリエンテーション（事前訪問）含めて 3 日間でしたが、常に「ありがとうございます」と感謝を伝えてもらっていたなと感じます！良い心がけ、くせ付けだと思いました！
3-1	自分から進んで取り組めるように頑張る。	自ら困った時には「どうしたら良いですか」としっかり聞くことができ、具体的な対応方法を見出すことができていましたね。引き続きその積極性を伸ばしていって下さい。
3-2	わからないことがあったら聞く	目標 1 と同様に自ら進んで質問できていたのが Good でした。また「こういう時はどうしたらよいか」と質問が具体的だったのも、回答者が答えやすく、具体的な次のアクションへとつながっていたと思います。今後も是非継続
1-1	自分からあいさつできるように頑張る。	大変元気があってその場が明るくなる素敵なキャラクターだなと感じました。引き続き、明るい挨拶を続けて下さい。
1-2	野球の時とかは、しっかり 5 分前にはきて準備をはじめることができるんですけど、早く来るってゆうのが苦手なのでまずは、10 分前にはくるようにします。	遅刻などもなく、しっかり 5 分前に行動ができていたと思います。
2-1	苦手なことを取り組もうとするんですけど、自分の中では丁寧にできていないと思っているので、自分の苦手なことを克服するためにまずはしっかり丁寧にやって苦手なものを減らすようにします。	清掃など好きな方はあまりいないと思いますが、トレーニングジムの清掃や手伝いを頑張ってくれました。
3-2	自分でわからないものがあった時、タイミングを見て聞くことはできるんですけど、質問や確認を工夫してわかりやすいように伝えることはまだできていないと	指示通りに動いてくれました。受け答えもしっかりしていて良かったです。もっと積極的にコミュニケーションを取ったり、自分から行動に

	思ったので、しっかり聞く前にどのように聞いたらいいか考えて質問します。	移したりするととても良かったかなと感じました。
1-2	野球の時はゆとりをもって来ているけど、それをインターンシップ先でもできるようにする。	時間を常に考えて行動し、今何をすべきか考えながらインターンシップを受けていたと思います。
3-2	分からないことはきいてやることはできるけど、自分ですませようとしてしまうときがある。	男性仲間と主にコミュニケーションをとりながら、協力して実行に移していたと思います。女性仲間ともっとコミュニケーションがとれるとより一層共同作業の速度が上がって良かったと思います。
4-2	すなおに受け止められないときがあるからそこを気をつけてインターンシップにとりくむ。	話を聞く、実行すること全てにおいて素直にとりくめていたと思います。実際はとても素直な性格だと思うので、相手の目を見ながら話をしていってほしいなと思います。

3－9. 企業の総評

総評コメント
とにかく「挨拶」「感謝」「姿勢」が大事です。どれだけ何かに優れている人でもこの 3 つが欠けていると、物事はうまくいきません。意識して頑張って下さい。
これらの行動は、一度身につくとどんな仕事でも活かせる再現性の高い力です。インターン期間中にこの姿勢が見られたことは素晴らしく、今後さらに成長していくことでしょう。引き続き、自分で考え、分からないことは素直に学びにいくことを心がけて下さい。
3 日間とても頑張ってくれました。積極的に業務に励む姿勢は本当に素晴らしいかったです。お客様へのすれ違いの挨拶も恥ずかしながら一生懸命頑張ってくれました。惣菜・青果に入った際は分からない事もどんどん質問しており、良い経験になったかと思います。期間中、ずっとつきっきりで見ることが出来なかった事はごめんね。
笑顔としっかりと話を聞こうとする姿勢がすばらしかったです。
3 日間、常に前向きに意欲的に取り組んで頂き、帰宅後にも復習をして下さっていて、その姿勢が大変嬉しかったです。お客様対応をするに辺り、私達が大切にしている事をお伝え致しましたが、様々な場面で活用できると思います。学校生活の中でも実践できることがあれば、ぜひ挑戦して頂ければと思います。3 日間ありがとうございました。
受け答えや挨拶もきちんとできています。対面での相手との会話は、とても大切ですので、意識をもって接しましょう。
今回これらの目標に真剣に向き合い、実践しようとする姿勢が見られたことはとても素晴らしく、今後の〇〇さんの社会人基礎力の土台になっていくと感じています。これらを継続することで、コミュニケーション力や周囲への配慮力がさらに磨かれ、どのような環境でも活躍できる人材へと成長していけるでしょう。引き続き、この姿勢を大切に取り組んで下さい。
叔父がパイロットの教官という話を伺い、本人も自衛官という職業に関心を持つ契機として、このインターンシップが発展していただけたら良いと考えます。今後のご活躍を応援しています。
とても取り組みに対して、積極的な行動が見られ感心しました。とても大切な事です。引き続き、自分のできる範囲で行いましょう。
元気で、はきはきとしていることは、とても良いことだと思いますが、言葉づかいと相手が何で今話をしているのかを考える練習が必要だと感じます。

笑顔もあり、とても好印象です。今回率先してリーダー役になってくれたのではないかと思いました。まわりのフォローする事はコミュニケーションふまえ、とても気づけることが多く、結果として、自身の為になると思います。フォローし合う事をつづけていきましょう。
私の息子は 3 人いますが、長男以外はコミュニケーションが苦手ですが、物事を深く考え、しっかりと生き始めています。大切な事は、社会に適応できない事を悲観せず、好機を持つために自己を研鑽する事だと思います。がんばってネ！ホタル館でのインターンシップ参加ありがとうございました。
自衛隊という職業について、インターンシップ終了後も、海上自衛隊に興味を示していただき、今後も積極的に自己の将来について考え、立派な社会人としても成長につなげてもらいたい。今後のご活躍を応援しています。
インターンシップの目標を意識してからか、何事にもしっかりと向き合い取り組む姿勢が印象的でした！説明の際には、しっかりとメモを取ってくれて、聞く姿勢や素直さが目立っていました！ブライダルのお仕事のやりがいや意識しているポイントが伝わってくれたら嬉しいです！
○○君はとても明るい印象がありました。人を引き付ける魅力も強い。粘り強さは一生の力になりますので、これからもその特性を伸ばして下さい。ホタル館のNPO運営の基盤は「自然を守る」です。その意義はこれからの社会は支えていく事につながります。○○君も、その支え手の一人として頑張って下さい。！ホタル館でインターンシップを受けてくれてありがとうございました。
○○くんは院内で流れる歌を口ずさんでいるのがとても印象に残っています。インターン 3 日間楽しんでくれていたら嬉しいです。インターン生の中で特に陽気なキャラで、インターン生の緊張をやわらげてくれたので助かりました！どんな仕事でも大事になると思うので、自分自身の良い面を理解して今後も挑戦してほしいです。いつも謙虚なスタンスでとても前向きでいてくれた 3 日間でした。落ち込んだりしたときは仲間にも気持ちを共有して、これからも成長していってほしいと思います。3 日間ありがとうございました。
今回のインターンシップを通して、自衛隊という組織を少しでも認識してもらい、また自衛隊に関わらず、人と人との繋がりで成り立っている社会を実感してもらえたら幸いです。今後のご活躍を応援しています。
自衛隊という職業に興味を示しているか分からなかったが、最終的には航空自衛隊の戦闘機が良かったと言ってくれて良かったです。今後、周囲と協力し合ってコミュニケーションも取るよう心がけ、がんばってもらいたいと思います。
3 日間のインターンシップ、大変お疲れ様でした。オリエンテーションの日に「3 歳児が見たい！」と目を輝かせていたのが印象的でした。とても意欲的に子どもたちと関わり、子どもたちの可愛さ、自我との葛藤等、保育士体験を通して色々と感じてもらえたのではないでしょうか。今後も新しいことへ積極的にチャレンジを続けていって下さい。今後のご活躍を祈っております。
常に挨拶や感謝の言葉を伝える事ができるのがとても素晴らしいと従業員一同感心しています。いろんなことに興味をもち、観察する力があると感じました。他の人に作業をよく見ていて、コツをつかむのが早く、自分で試行錯誤して改善することができている場合が多く、今後も新しいことに挑戦するとき、○○さんの強みになると思いますので、観察眼鍛えていって下さい！

今回のインターンシップは 3 日間という短い期間ではありましたが、①基本行動の項目は完璧と言っていいほど、挨拶や謙虚な姿勢がとても好印象です。「分からない事をすぐに聞くことができる」ことはお客様を待たせないため、「手が空いた時に自分のできる事を実施すること」は誰かのサポートをしていることに繋がります。〇〇さんの立ち振る舞いからとても配慮の出来る方だと感じました。いろんな場面でも必要とされる事だと思いますので、これからも継続していって下さい！
元気で明るく、しっかり声を出す印象があり、トレーニングもとっても楽しかったです。スポーツをやっているとの事、コミュニケーション能力も素晴らしかったです。今後、社会にでても今回のインターンシップを忘れず頑張って下さい。
自衛隊の方々からの説明に対して、傾聴し真剣な眼差しをしており、インターンシップに対する意識の高さが強く感じられました。今後のご活躍を応援しています。
最初のあいさつからとても好印象でした。重たいものも嫌な顔ひとつせず終始、笑顔で仕事に取り組んでいました。テーブルサービスなどのお客様と対面する時もしっかり笑顔で頑張ってくれました。スタッフ一同〇〇さんが一緒に働いてくれることを願っています。インターンシップおつかれさまでした。野球がんばれ！
初回、遅れてしまったけど、引きずらずに明るくインターンを開始できたので良かったです。終日、元気で野球部と一緒にあいさつして、雰囲気をつくってくれた事に感謝しています。自治会で実施したビジョントレーニングにも積極的に参加者と関わり、お互い楽しんで取り組んで頂きました。接骨院として、治療だけでなく、いろんな業務を合わせて仕事しているところを、見てもらえたと思います。今後の進路決定の一助になれば幸いです。3 日間ありがとうございました。
野球部のインターン生とも協力といいますか、コミュニケーションをとりながら楽しく、とりくんでくれたので、他のインターン生もとてもリラックスできたと思います。コミュニケーション能力がとても高いので、自信をもっていろんな年代、性別、考え方をもった人ともコミュニケーションをとっていってほしいし、社会になって強みになる部分だと感じました。イやなことがあっても仲間といろんな気持ちをシェアして楽しく乗り越えていって下さい。3 日間インターンに来てくれてありがとうございました。
履歴書のアピールポイントとは、印象が違い管内清掃時にはあまり積極性を感じなかったけど、時間が経つにつれ、笑顔が多くなり安心しました。スポーツウーマンらしいほがらかさが、とても魅力的です。社会に出て、がんばって下さい。観光業についたら、久米島にも来て下さい。ホタル館でのインターンシップ参加ありがとうございました。
3 日間のインターンシップ、大変お疲れ様でした。勝手がわからない所で、見ず知らずの人たちと過ごすのは大変さもあったことと思います。〇〇さんはとても落ち着いていて、子どもたちの話をじっくり聞いてくれていたのが印象的です。子どもたちも安心して〇〇さんに甘えていました。これから社会に出て働き始めると、多くの人との関わりが生じます。様々な意見を持った人とディスカッションをすることもあると思います。自分の考えを相手に知ってもらうためにも、是非大きな声で話す練習をしてみて下さい。大きな声を出すことで自信がついたり、自分の考えをアウトプットして整理することができたりするので、やってみて下さい。今後のご活躍を祈っています。

接客に対しては問題なく対応できると思います。3 日間どの業務も対応できていました。今後も野球を続けていく上で道具を大事にする気持ちを持ち続けて、日々の練習も頑張って下さい。応援しています。3 日間おつかれ様でした。
3 日間のインターンシップお疲れ様でした。あいさつ、返事、元気について好印象でした。業務においても積極的な動作が見られよかったです。緊張やはじらいもあるとは思いますが、もっと笑顔を出せると尚よかったです。今後の活躍を期待しています。
接客に対しては、問題なく対応できると思います。修理は少し苦戦していた様ですが、今後も野球を続けていく上で道具は大事にする気持ちを持ち続けて下さい。たくさんの方から応援されて野球ができている事に日々感謝し、これからも頑張って下さい。応援しています。3 日間おつかれ様でした。
3 日間のインターンシップ大変お疲れさまでした。オリエンテーションにいらした際もハキハキとした受け応えが印象的でした。履歴書を拝見するとキャプテンとあったので納得でした。これから進学や就職など大きな目標設定をすると思います自分の目的、組織の目的を達成するために、〇〇さんらしいリーダーシップを発揮していって下さい。今後のご活躍を祈っております。
自衛隊の職業について、興味をもっており、最初は陸上自衛隊に興味も示していたが、最終的に航空になっていました。今後も協調性を生かして頑張ってもらいたい。
3 日間のインターンシップお疲れさまでした。トレーニングジムでの清掃やお客様に対しての挨拶など頑張ってくれました。挨拶の声も良かったと思います。〇〇さんはとても元気があるので、それにプラスで積極性があるともっと良かったと感じました。
男子は 3 人とも仲が良く、印象もとても良かったです。社会に出ても即戦力となる力を感じました。〇〇君のおちついた印象は、相対する方に、居心地の良さを感じさせてくれます。ぜひ伸ばしていって下さい。ホタル館でのインターンシップ参加ありがとうございました。
〇〇君は 3 人の男子の中で特にリーダー的印象でした。沖縄の観光は自然資源が重要だと私は考えています。今回のインターンシップが〇〇君にとってよい経験になれば嬉しいです。ホタル館でのインターンシップ参加ありがとうございました。
3 日間のインターンシップで初めておとなしい KBC 野球部を受け入れました。笑　おとなしさの中にも、1 人で与えられた作業は集中していたので芯の強い子ではあるんだと感じました。修理は不器用でしたが、頑張っていましたね。できるできないではなく、これからも色々な事にチャレンジして頑張って下さい。応援しています。3 日間おつかれ様でした。
行動や相づち、返答もテキパキ、ハキハキ、積極的な印象でした。海外の方の盛大な結婚式の見学で分からないこともあり不安なこともあったかとは思いますが、いつも一生懸命取りくんでいただけたと思います！将来のお仕事を考えるきっかけになってくれたら嬉しいです。ありがとうございました！
3 日間のインターンシップ大変お疲れさまでした。〇〇さんの明るいキャラクターで、一緒に来ていた学生の皆さん、そして子どもたちも緊張がほぐれて自然と笑顔がこぼれていたように思います。〇〇さんが個性として持っているこの力は、人が簡単に真似できるものではありません。是非自分の長所として認識し、今後も活かして活動して下さい！今後のご活躍を祈っております。

3 日間のインターンシップお疲れ様でした。トレーニングジムでの清掃やお客様に対しての挨拶など頑張ってくれました。挨拶の声も良かったと思います。〇〇さんは受け答えもしっかりしていたので、それにプラスで積極性があるともっと良かったと感じました。
事前訪問の時はとても疲れていそうな顔をしていましたが、インターンが始まってからはとても集中力をもって、素直に取り組んでくれていたと思います。声も大きく、自主的に動く姿勢がとても印象的です。自分でできてしまうことも多いので、他者の力を借りることがあまりないのかもしれないですね。〇〇くんが誰かを信頼して頼ることで、何かを成し遂げたときの喜びは何倍にもなると思います。人生たくさん楽しもう！インターンに来てくれてありがとうございました。

3－10.　生徒の実施前・実施後平均ポイント比較

【1】平均ポイント（項目順）

No	評価項目	実施前	実施後	差異
1-1	初対面の人へ自ら挨拶ができる	6.42	7.66	1.24
1-2	遅刻などせず、10分前行動ができる	6.12	8.00	1.88
1-3	目上の人に対して正しい敬語を使って話すことができる	6.07	7.41	1.34
2-1	苦手な作業や興味のない内容にも前向きに取り組もうとする姿勢がある	5.05	7.51	2.47
2-2	自分で考えて動き、工夫しながら取り組もうとしている	5.58	7.29	1.71
3-1	クラスや活動の中で、まわりの人と協力して行動できている	5.98	7.44	1.46
3-2	わからないことがあったときに、早めに自分から質問や確認ができる	5.79	7.46	1.67
4-1	感謝の気持ちを言葉や行動で表すことができる	6.79	7.95	1.16
4-2	指導や助言を素直に受け止めることができる	6.44	7.78	1.34
5-1	掃除や当番など、任されたことに責任をもって取り組もうとしている	6.12	7.46	1.35
5-2	頼まれごとや苦手なことでも、途中であきらめずに、最後までやり抜くことができる	5.98	7.61	1.63
	総平均	6.03	7.60	1.57

網かけ：総平均以上

【2】平均ポイント（実施前昇順）

No	評価項目	実施前	実施後	差異
2-1	苦手な作業や興味のない内容にも前向きに取り組もうとする姿勢がある	5.05	7.51	2.47
2-2	自分で考えて動き、工夫しながら取り組もうとしている	5.58	7.29	1.71
3-2	わからないことがあったときに、早めに自分から質問や確認ができる	5.79	7.46	1.67
3-1	クラスや活動の中で、まわりの人と協力して行動できている	5.98	7.44	1.46
5-2	頼まれごとや苦手なことでも、途中であきらめずに、最後までやり抜くことができる	5.98	7.61	1.63
1-3	目上の人に対して正しい敬語を使って話すことができる	6.07	7.41	1.34
1-2	遅刻などせず、10分前行動ができる	6.12	8.00	1.88
5-1	掃除や当番など、任されたことに責任をもって取り組もうとしている	6.12	7.46	1.35
1-1	初対面の人へ自ら挨拶ができる	6.42	7.66	1.24
4-2	指導や助言を素直に受け止めることができる	6.44	7.78	1.34
4-1	感謝の気持ちを言葉や行動で表すことができる	6.79	7.95	1.16
	総平均	6.03	7.60	1.57

網かけ：総平均以上

【3】平均ポイント（実施後昇順）

No	評価項目	実施前	実施後	差異
2-2	自分で考えて動き、工夫しながら取り組もうとしている	5.58	7.29	1.71
1-3	目上の人に対して正しい敬語を使って話すことができる	6.07	7.41	1.34
3-1	クラスや活動の中で、まわりの人と協力して行動できている	5.98	7.44	1.46
3-2	わからないことがあったときに、早めに自分から質問や確認ができる	5.79	7.46	1.67
5-1	掃除や当番など、任されたことに責任をもって取り組もうとしている	6.12	7.46	1.35
2-1	苦手な作業や興味のない内容にも前向きに取り組もうとする姿勢がある	5.05	7.51	2.47
5-2	頼まれごとや苦手なことでも、途中であきらめずに、最後までやり抜くことができる	5.98	7.61	1.63
1-1	初対面の人へ自ら挨拶ができる	6.42	7.66	1.24
4-2	指導や助言を素直に受け止めることができる	6.44	7.78	1.34
4-1	感謝の気持ちを言葉や行動で表すことができる	6.79	7.95	1.16
1-2	遅刻などせず、10分前行動ができる	6.12	8.00	1.88
	総平均	6.03	7.60	1.57

網かけ：総平均以上

【4】平均ポイント(差異昇順)

No	評価項目	実施前	実施後	差異
4-1	感謝の気持ちを言葉や行動で表すことができる	6.79	7.95	1.16
1-1	初対面の人へ自ら挨拶ができる	6.42	7.66	1.24
4-2	指導や助言を素直に受け止めることができる	6.44	7.78	1.34
1-3	目上の人に対して正しい敬語を使って話すことができる	6.07	7.41	1.34
5-1	掃除や当番など、任されたことに責任をもって取り組もうとしている	6.12	7.46	1.35
3-1	クラスや活動の中で、まわりの人と協力して行動できている	5.98	7.44	1.46
5-2	頼まれごとや苦手なことでも、途中であきらめずに、最後までやり抜くことができる	5.98	7.61	1.63
3-2	わからないことがあったときに、早めに自分から質問や確認ができる	5.79	7.46	1.67
2-2	自分で考えて動き、工夫しながら取り組もうとしている	5.58	7.29	1.71
1-2	遅刻などせず、10分前行動ができる	6.12	8.00	1.88
2-1	苦手な作業や興味のない内容にも前向きに取り組もうとする姿勢がある	5.05	7.51	2.47
	総平均	6.03	7.60	1.57

網かけ:総平均以上

4. 総評

【1】インターンシップによる生徒の行動変容

本インターンシップでは、評価シートの事前・事後比較により、11 の評価項目すべてで平均値が上昇していることが確認された。マイナスや横ばいの項目は一つもなく、インターンシップを通じて、生徒の行動や意識に何らかの変化が生じていることが、数値のレベルでも裏付けられている。

さらに分布を見ると、実施前は 5～6 あたりに集中していた評価が、実施後には 7～9 側へと明確に移動しており、これは一部の生徒だけが伸びたのではなく、**中間層全体が底上げされていること**を意味している。また、実施前には一定数見られた「1～3」の低位評価が、実施後にはほぼ見られなくなっており、**最低限求められる社会的行動水準が全体として引き上げられた**と読み取ることができる。

【2】短期間で伸びる力と、継続的に育てる力の整理

項目別に平均値の差を見ると、「苦手な作業や興味のない内容にも前向きに取り組む姿勢」「遅刻せず 10 分前行動ができる」「自分で考えて動く」「質問や確認をする」「最後までやり抜く」といった、仕事への向き合い方や主体性に関わる項目で、特に大きな伸びが見られた。これらは、現場で役割を与えられ、実際に仕事を経験することで、比較的短期間でも行動として変化が表れやすい力であると考えられる。

一方で、「感謝」「挨拶」「敬語」「協力」「責任感」といった対人関係や社会性に関わる項目は、一定の向上は見られるものの、伸び幅は比較的緩やかであった。これらは単発の行動ではなく、**関係性や習慣の積み重ねの中で育つ力**であり、学校生活や継続的な指導と組み合わせて育成していく必要があることが示唆されている。

【3】生徒が課題として認識している「仕事への向き合い方」

目標設定を見ると、最も多くの生徒が選んだのは「苦手な作業や興味のない内容にも前向きに取り組む姿勢」であり、「質問・確認」「10 分前行動」「自分で考えて動くこと」「最後までやり抜くこと」といった項目が続いた。
これは、生徒が「作業ができるかどうか」よりも、「気が乗らない」「苦手意識がある」「受け身になってしまう」といった**自分の態度や行動のくせ**を、最大の課題として認識していることを示している。

さらに、これらの項目は、平均値の差が大きく、実際に最も伸びた項目群とも一致している。
つまり、生徒が「ここを変えたい」と意識していた点が、インターンシップを通じて**実際の行動変化として最も強く表れた**ことになる。

また、生徒の目標記述を見ると、「最後までやり切る」「文句を言わずに取り組む」「嫌な作業ほど先にやる」など、「前向きに」という抽象的な言葉が、具体的な行動に言い換えられている。評価表があることで、「気持ちを変える」ではなく、「行動をどう変えるか」に思考が向いていることが読み取れる。

【4】自己評価が高い中でも数値としての伸びが確認

特徴として実施前の段階から、生徒の自己評価は全体的に比較的高めであったことが挙げられる。その中でも、すべての項目で平均値が＋1.16～＋2.47 上昇しており、最大で＋2.47 ポイントの伸びが見られた。

これは、「自己評価が高いから変化が見えない」という状態ではなく、**実際の職場体験を通して、生徒自身が行動や意識を見直し、より高い水準へと引き上げている**ことを示す結果である。インターンシップは、つまずきのある生徒の底上げだけでなく、一定レベルに達している生徒の行動の質をも高める機能を持っているといえる。

【5】企業が重視する評価軸は「成果」ではなく「姿勢や過程」

企業からの評価コメントを見ると、「最初は戸惑っていたが途中から積極的になった」「嫌な作業も文句を言わずに取り組んでいた」「質問をしながら進めていた」など、成果物の出来よりも、**取り組みの過程や姿勢の変化**に言及するものが非常に多く見られた。

企業はインターンシップを「完成度を測る場」ではなく、「伸びしろを見る場」と捉えており、「できる・できない」よりも「どう向き合っているか」を評価軸としている。この視点は、生徒が目標として掲げた「姿勢」「主体性」「質問」といった項目とも一致しており、学校と企業の評価軸が共有されていることが確認できた。

【6】評価表による生徒と企業の変化の共有

本評価表を用いることで、インターンシップによる変化を「なんとなく良くなった」という印象ではなく、数値と項目として可視化することが可能となった。全体傾向だけでなく、項目ごとの伸び方の違いを整理して捉えられるようになったことは、教育的な改善点を考える上でも大きな意味を持つ。

また、生徒の目標設定、実際の行動、企業コメントが同じ評価軸で結びついたことで、**評価表が生徒と企業の間で「変化を共有する共通言語」として機能していた**といえる。評価が単なる点数付けに終わらず、学びの振り返りと次の行動につながる構造が形成されていた。

【7】課題と今後の方向性

インターンシップを通して、生徒には行動の変化と自己認識が、企業からは具体的な評価と期待が生まれた。一方で、これらをその場限りの体験で終わらせず、学校生活や将来の行動にどう結びつけていくかが、今後の課題として明確になった。

今年度の取組みを通して、この課題が具体的に見えてきたことが、今年度の重要な成果である。次年度は、事後の振り返りや教材、企業との関わり方まで含めた仕組みづくりを行うことで、インターンシップを「体験」で終わらせず、「次につながる学びのプロセス」として発展させていくことが期待される。

具体的には次年度の開発教材案として以下の 2 点を検討する。

1. インターンシップ後教育教材およびポートフォリオ形式教材の開発

インターンシップ後の振り返りを中心とした生徒向け教育プログラムを構築し、体験や企業からの評価コメントをその場限りで終わらせず、「企業からどう見えたのか」「自分の強みや課題は何か」を整理し、学校生活や将来の行動に結び付ける内容を想定する。
あわせて、その学びを支える教材として、書き込みながら何度も振り返ることができ、インターンシップでの体験や企業からの評価、自身の気づきを蓄積していくポートフォリオ形式の教材の作成を検討する。

2. 受け入れ企業向けマニュアルの作成

高校生を「お客様」として扱うのではなく、未完成な存在であることを前提に、どのような心持ちで関わるとよいか、また評価コメントをどのように記載すると生徒の成長につながるのかを整理したマニュアルを作成する。
これにより、企業側の負担を軽減しつつ、より教育的効果の高いインターンシップの実施を目指す。

さらに次年度は、これらの取組みを他地域にも展開し、プログラムの導入と検証を図ることで、インターンシップを通したより多様な学びの機会を保障していきたい。

5. 資料

5－1. インターンシップ評価シート

インターンシップ評価シート(表1)

【インターンシップ実施前】評価シート　　氏名：(　　)

インターンシップ参加前に 5 つのジャンル（11 項目）において自己評価を行います。自分に近いと思われるレベルを選択しましょう。

1．基本行動･マナーについて

1-1 初対面の人へ自ら挨拶ができる	1-2 遅刻などせず、10 分前行動ができる	1-3 目上の人に対して正しい敬語を使って話すことができる
☐ 1 緊張して黙ってしまい、相手に話しかけられても返事ができないことが多い。	☐ 1 よく遅れたり、集合時間に間に合わないことがある。	☐ 1 敬語が使えず、言葉遣いも不適切で相手に不快感を与えることがある。
☐ 2	☐ 2	☐ 2
☐ 3 自分からは話しかけず、挨拶されても返すのがやっとである。	☐ 3 指示があれば時間は守るが、ぎりぎりになることが多い。	☐ 3 敬語を使おうとするが不自然で、失礼な印象を与えることがある。
☐ 4	☐ 4	☐ 4
☐ 5 挨拶されれば笑顔で返すことができ、自分から挨拶できるときもある。	☐ 5 集合時間を意識し、自分なりに間に合うように行動している。	☐ 5 基本的な敬語は使えるが、言葉遣いに不慣れな点もありつつ、相手に失礼な印象は与えない。
☐ 6	☐ 6	☐ 6
☐ 7 初対面でも落ち着いて自分から挨拶でき、相手の目を見て話すことができる。	☐ 7 自分で時間を逆算し、5 分前には準備を始めることができる。	☐ 7 ほとんどの場面で適切な敬語を使い、言葉遣いもおおむね丁寧で正確である。
☐ 8	☐ 8	☐ 8
☐ 9 自分から明るく自然に挨拶でき、相手が話しかけやすい雰囲気をつくることができる。	☐ 9 10 分前行動を心がけて行動し、周囲にも落ち着いた印象を与えている。	☐ 9 常に正確で丁寧な敬語を使い、相手に安心感を与えている。

2．学ぶ姿勢について

2-1 苦手な作業や興味のない内容にも前向きに取り組もうとする姿勢がある	2-2 自分で考えて動き、工夫しながら取り組もうとしている
☐ 1 苦手なことや興味のない内容を避け、手を抜いてしまうことがある。	☐ 1 指示があるまで動かず、言われたことだけをこなす。自分で工夫することもない。
☐ 2	☐ 2
☐ 3 声をかけられれば取り組むが、自分から進んで関わろうとはしない。	☐ 3 言われたことには取り組むが、自分から動かず、工夫もほとんどしない。
☐ 4	☐ 4
☐ 5 単純作業や苦手なことでも、自分なりに取り組もうとする姿勢がある。	☐ 5 周囲に気づいて行動することがあり、簡単な工夫も試そうとする。
☐ 6	☐ 6
☐ 7 好きではないことも、仕事の一部として丁寧に取り組むことができる。	☐ 7 自分で考えて動き、効率や結果を意識して工夫できる。
☐ 8	☐ 8
☐ 9 苦手なことにも進んで関わり、まわりにもよい影響を与えている。	☐ 9 周囲を見て先を読み、積極的に動きながら工夫し、良い影響を与えている。

3．協働性･コミュニケーションについて

3-1 クラスや活動の中で、まわりの人と協力して行動できている	3-2 わからないことがあったときに、早めに自分から質問や確認ができる
☐ 1 自分のことに集中し、まわりと関わろうとしない。	☐ 1 わからないことがあっても、誰にも聞かずそのままにしてしまう。
☐ 2	☐ 2
☐ 3 声をかけられれば一緒にできるが、自分から関わろうとはしない。	☐ 3 聞きたい気持ちはあるが、自分から声をかけることができない。
☐ 4	☐ 4
☐ 5 近くの人の動きを見ながら、自分にできることをやろうとする。	☐ 5 タイミングを見て、自分から質問や確認をしようとする。
☐ 6	☐ 6
☐ 7 作業中に声をかけ合いながら、まわりと協力して行動できる。	☐ 7 自分から質問や確認ができ、内容を正確に伝えようとしている。
☐ 8	☐ 8
☐ 9 全体の様子を見て、自分の役割を考え、活動の流れを支えることができる。	☐ 9 質問や確認の仕方を工夫し、相手が答えやすいように伝えることができる。

4．感謝･謙虚な態度について

4-1 感謝の気持ちを言葉や行動で表すことができる	4-2 指導や助言を素直に受け止めることができる
☐ 1 感謝の気持ちがあっても、言葉や態度に表れない。	☐ 1 注意されても受け止めず、不満な態度が表れることがある。
☐ 2	☐ 2
☐ 3 感謝の気持ちはあるが、自分から言葉や行動にすることが少ない。	☐ 3 指摘を受け止めようとするが、気持ちの切り替えに時間がかかる。
☐ 4	☐ 4
☐ 5 何かしてもらったときに「ありがとう」と伝えようとしている。	☐ 5 アドバイスを前向きに受け止め、次の行動に活かそうとしている。
☐ 6	☐ 6
☐ 7 状況に応じて、自然に感謝の言葉を伝えることができる。	☐ 7 指導を素直に受け止め、すぐに行動を改善しようとしている。
☐ 8	☐ 8
☐ 9 言葉や態度に感謝の気持ちがあらわれ、まわりにも良い印象を与えている。	☐ 9 助言を成長の機会ととらえ、積極的に行動に反映している。

5．責任感について

5-1 掃除や当番など、任されたことに責任をもって取り組もうとしている	5-2 頼まれごとや苦手なことでも途中であきらめずに、最後までやり抜くことができる
☐ 1 当番などを忘れたり、やるべきことを放置してしまうことがある。	☐ 1 難しいことや面倒なことを途中でやめてしまう。
☐ 2	☐ 2
☐ 3 声をかけられれば取り組めるが、自分からは動けないことがある。	☐ 3 サポートがあれば続けられるが、自分だけではやり抜けない。
☐ 4	☐ 4
☐ 5 任されたことを忘れず、自分の役割として取り組んでいる。	☐ 5 難しさを感じても、途中で投げ出さずに最後まで取り組もうとしている。
☐ 6	☐ 6
☐ 7 任されたことを最後まできちんと取り組み、役割を果たしている。	☐ 7 工夫しながら継続し、最後までやり抜くことができる。
☐ 8	☐ 8
☐ 9 自分の役割を自覚してきちんと果たし、まわりにも安心感を与えている。	☐ 9 粘り強くやり抜き、成果や達成感を得ることができる。

インターンシップ評価シート（表2）

【インターンシップ実施後】評価シート

インターンシップ参加前に 5 つのジャンル（11 項目）において自己評価を行います。自分に近いと思われるレベルを選択しましょう。

1．基本行動・マナーについて

1-1 初対面の人へ自ら挨拶ができる	1-2 遅刻などせず、10 分前行動ができる	1-3 目上の人に対して正しい敬語を使って話すことができる
☐ 1 緊張して黙ってしまい、相手に話しかけられても返事ができないことが多い。	☐ 1 よく遅れたり、集合時間に間に合わないことがある。	☐ 1 敬語が使えず、言葉遣いも不適切で相手に不快感を与えることがある。
☐ 2	☐ 2	☐ 2
☐ 3 自分からは話しかけず、挨拶されても返すのがやっとである。	☐ 3 指示があれば時間は守るが、ぎりぎりになることが多い。	☐ 3 敬語を使おうとするが不自然で、失礼な印象を与えることがある。
☐ 4	☐ 4	☐ 4
☐ 5 挨拶されれば笑顔で返すことができ、自分から挨拶できるときもある。	☐ 5 集合時間を意識し、自分なりに間に合うように行動している。	☐ 5 基本的な敬語は使えるが、言葉遣いに不慣れな点もありつつ、相手に失礼な印象は与えない。
☐ 6	☐ 6	☐ 6
☐ 7 初対面でも落ち着いて自分から挨拶でき、相手の目を見て話すことができる。	☐ 7 自分で時間を逆算し、5 分前には準備を始めることができる。	☐ 7 ほとんどの場面で適切な敬語を使い、言葉遣いもおおむね丁寧で正確である。
☐ 8	☐ 8	☐ 8
☐ 9 自分から明るく自然に挨拶でき、相手が話しかけやすい雰囲気をつくることができる。	☐ 9 10 分前行動を心がけて行動し、周囲にも落ち着いた印象を与えている。	☐ 9 常に正確で丁寧な敬語を使い、相手に安心感を与えている。

2．学ぶ姿勢について

2-1 苦手な作業や興味のない内容にも前向きに取り組もうとする姿勢がある	2-2 自分で考えて動き、工夫しながら取り組もうとしている
☐ 1 苦手なことや興味のない内容を避け、手を抜いてしまうことがある。	☐ 1 指示があるまで動かず、言われたことだけをこなす。自分で工夫することもない。
☐ 2	☐ 2
☐ 3 声をかけられれば取り組むが、自分から進んで関わろうとはしない。	☐ 3 言われたことには取り組むが、自分から動かず、工夫もほとんどしない。
☐ 4	☐ 4
☐ 5 単純作業や苦手なことでも、自分なりに取り組もうとする姿勢がある。	☐ 5 周囲に気づいて行動することがあり、簡単な工夫も試そうとする。
☐ 6	☐ 6
☐ 7 好きではないことも、仕事の一部として丁寧に取り組むことができる。	☐ 7 自分で考えて動き、効率や結果を意識して工夫できる。
☐ 8	☐ 8
☐ 9 苦手なことにも進んで関わり、まわりにもよい影響を与えている。	☐ 9 周囲を見て先を読み、積極的に動きながら工夫し、良い影響を与えている。

3．協働性・コミュニケーションについて

3-1 クラスや活動の中で、まわりの人と協力して行動できている	3-2 わからないことがあったときに、早めに自分から質問や確認ができる
☐ 1 自分のことに集中し、まわりと関わろうとしない。	☐ 1 わからないことがあっても、誰にも聞かずそのままにしてしまう。
☐ 2	☐ 2
☐ 3 声をかけられれば一緒にできるが、自分から関わろうとはしない。	☐ 3 聞きたい気持ちはあるが、自分から声をかけることができない。
☐ 4	☐ 4
☐ 5 近くの人の動きを見ながら、自分にできることをやろうとする。	☐ 5 タイミングを見て、自分から質問や確認をしようとする。
☐ 6	☐ 6
☐ 7 作業中に声をかけ合いながら、まわりと協力して行動できる。	☐ 7 自分から質問や確認ができ、内容を正確に伝えようとしている。
☐ 8	☐ 8
☐ 9 全体の様子を見て、自分の役割を考え、活動の流れを支えることができる。	☐ 9 質問や確認の仕方を工夫し、相手が答えやすいように伝えることができる。

4．感謝・謙虚な態度について

4-1 感謝の気持ちを言葉や行動で表すことができる	4-2 指導や助言を素直に受け止めることができる
☐ 1 感謝の気持ちがあっても、言葉や態度に表れない。	☐ 1 注意されても受け止めず、不満な態度が表れることがある。
☐ 2	☐ 2
☐ 3 感謝の気持ちはあるが、自分から言葉や行動にすることが少ない。	☐ 3 指摘を受け止めようとするが、気持ちの切り替えに時間がかかる。
☐ 4	☐ 4
☐ 5 何かしてもらったときに「ありがとう」と伝えようとしている。	☐ 5 アドバイスを前向きに受け止め、次の行動に活かそうとしている。
☐ 6	☐ 6
☐ 7 状況に応じて、自然に感謝の言葉を伝えることができる。	☐ 7 指導を素直に受け止め、すぐに行動を改善しようとしている。
☐ 8	☐ 8
☐ 9 言葉や態度に感謝の気持ちがあらわれ、まわりにも良い印象を与えている。	☐ 9 助言を成長の機会ととらえ、積極的に行動に反映している。

5．責任感について

5-1 掃除や当番など、任されたことに責任をもって取り組もうとしている	5-2 頼まれごとや苦手なことでも途中であきらめずに、最後までやり抜くことができる
☐ 1 当番などを忘れたり、やるべきことを放置してしまうことがある。	☐ 1 難しいことや面倒なことを途中でやめてしまう。
☐ 2	☐ 2
☐ 3 声をかけられれば取り組めるが、自分からは動けないことがある。	☐ 3 サポートがあれば続けられるが、自分だけではやり抜けない。
☐ 4	☐ 4
☐ 5 任されたことを忘れず、自分の役割として取り組んでいる。	☐ 5 難しさを感じても、途中で投げ出さずに最後まで取り組もうとしている。
☐ 6	☐ 6
☐ 7 任されたことを最後まできちんと取り組み、役割を果たしている。	☐ 7 工夫しながら継続し、最後までやり抜くことができる。
☐ 8	☐ 8
☐ 9 自分の役割を自覚してきちんと果たし、まわりにも安心感を与えている。	☐ 9 粘り強くやり抜き、成果や達成感を得ることができる。

インターンシップ評価シート(裏1)

目標設定シート ～インターシップ 生徒記入用～

記入日： 年 月 日（ ）

氏名：

今回のインターンシップにおいて、目標とする項目を３つ挙げましょう。（5 つのジャンル内の 11 項目から選択）

目標１

項 目 ☐ 現在のレベル ☐ ➡ インターンシップ後の目標レベル ☐

＜具体的行動内容＞

目標２

項 目 ☐ 現在のレベル ☐ ➡ インターンシップ後の目標レベル ☐

＜具体的行動内容＞

目標３

項 目 ☐ 現在のレベル ☐ ➡ インターンシップ後の目標レベル ☐

＜具体的行動内容＞

インターンシップで必要とされる基本行動

現段階で、できていると思う基本行動にチェックを入れましょう。

- ☐ 反応を示す……表情や態度で聞いていることを伝えられている
- ☐ 復唱する……誤解なく、受け止めていることを伝えられている
- ☐ メモをとる……必要に応じて、聞いたことを記録として残すことができる
- ☐ 質問する……不明点等があれば、質問することができる
- ☐ 確認する……相手に伝わっているかどうか、確認することができる

インターンシップ評価シート(裏2)

目標評価シート ～インターンシップ 企業ご担当者様記入用～　記入日：　年　月　日（ ）

インターンシップ企業名：　（記入者：　）

インターンシップ期間：　年　月　日 ～　年　月　日（　日間）

目標１に対する評価およびコメント

項 目 [　]　インターンシップ後の評価レベル [　]

＜評価コメント＞

目標２に対する評価およびコメント

項 目 [　]　インターンシップ後の評価レベル [　]

＜評価コメント＞

目標３に対する評価およびコメント

項 目 [　]　インターンシップ後の評価レベル [　]

＜評価コメント＞

総　評（その他アドバイス）

5－2. 議事録

【1】第１回モデル検討委員会議事録

文部科学省事業　令和７年度「高等専修学校における多様な学びを保障する先導的研修事業」 **第１回　モデル検討委員会　議事録**	
開催日時	2025 年 7 月 4 日（金）　　15：00～17：00
会場並びに 開催方法	ＫＢＣ高等学院（那覇市東町 23-1）　401 教室　及び一部オンライン
出 席 者	（モデル検討委員） ・沖縄県総務部　総務私学課　私学・法人班　班長　中村　孝一 ・一般社団法人　沖縄県専修学校各種学校協会　事務局長　石原　啓 ・子ども若者みらい相談プラザ sorae　統括責任者 特定非営利活動法人　サポートセンターゆめさき　臨床心理士　松本　大進 ・福祉型ワークスクール　zerostep　代表社員　近藤　賢宏 ・株式会社　モビイクス　執行役員　　小林　康裕 ・学校法人　有坂中央学園　中央高等専修学校　前橋校　副校長　藤井　智人 ・Shikens（シーケンス）　代表　　下地　健司 ・一般社団法人　ツナグミライ　代表理事　堂本　尚吾 ・学校法人ＫＢＣ学園　ＫＢＣ高等学院 教務　伊佐　尚子 宮野　学 山本　千穂 事務局　　崎山　昌美 ・学校法人ＫＢＣ学園　地域創生室　支援部 部長　　國仲　陵太郎 課長　　知念　仁志 仲宗根　真 大城　莉恵子 當間　律子 伊禮　嘉本 東　知範 （教材開発） ・株式会社　穴吹カレッジサービス　　中村　多恵 （議事録作成） ・学校法人ＫＢＣ学園　地域創生室　　仲宗根　真
議　　題	議　事 議題１　令和７年度　事業計画について 議題２　分科会からの報告 ①認知度向上分科会 ②セーフティーネット推進分科会 ③企業連携・カリキュラム開発分科会
配布資料	配布資料

	資料①　事業計画書_KBC 高等学院 資料②　【文部科学省】あなたの未来をひらく高等専修学校パンフレット 資料③　セーフティーネット推進分科会 資料④　インターンシップ評価シート
会議概要	國仲の挨拶後、伊佐よりスケジュール、配布資料を確認。議題１にて仲宗根より資料１を使い、令和７年度の事業計画について説明。議題２で仲宗根、伊佐、中村氏より資料を使い分科会から報告を行った。各委員より質疑・感想等を受け、最後に伊佐より今後の予定を確認。國仲よりお礼を述べて終了。
目　　次	**議題１：令和７年度　事業計画について** ・仲宗根より資料①を使い説明 **議題２：令和７年度　事業計画について** ①認知度向上分科会　　仲宗根より資料②を使い報告 質疑・応答 （松本委員） ・県内の教育事務所単位で資格を持ったスクールソーシャルワーカーの研修を取りまとめている。通信制か全日制の高校が進路選択で主ではあるが、高等専修学校という選択肢もあった方が良いと思う。こういった支援を行う先生たちに理解してもらう広報活動を行っても良いと思う。 （仲宗根） ・多くの窓口から情報を提供させてもらうことで浸透が図れると思う。高等専修学校は、好きなことが決まっているタイプの生徒に向いている学校が多い。そういった情報を中学校の生徒へ伝えられるようにしたい。 （仲宗根） ・中村委員に昨年度各地域の校長会で高等専修学校の案内をして頂いた。その際の様子を聞かせてほしい （中村孝一委員） ・当初、私が高等専修学校の説明を直接行う予定であったが、議題が多かったため資料のみでの説明となった。特に問題なく行われたと聞いている。 ②セーフティーネット推進分科会　　伊佐より資料③を使い報告 （松本委員） ・高等学院の伊佐、山本先生と共に打ち合わせを行った。カウンセリングの効果は多くの角度から研究されているが、経験年数が重なっただけでは効果は上がらない。自身の満足感は上がるが、クライアントの改善は微妙に目減りしているかもしれない。 ・具体的な技術や方法論、依って立つ理論、カウンセリング手法が多くある。それぞれ効果研究もあるが、一番大事なことは、クライアントと人として繋がる力が強いほど効果が高い。共感的な理解、共感的な力が高いと改善度も上がる。先生たちが生徒を支える上でも共通だと思う。研修を通じて「繋がる力」について伝えたい。 ・無意識に避けてしまう。言い過ぎてしまう。など先生たちが自身の感情に気づ

	くことは難しい。こういった点も一緒に学んでいきたい。 ③企業連携、カリキュラム開発分科会　　中村多恵氏よりＰＰ、資料④を使い報告 （仲宗根） ・自身が 17 歳として考えた際、どこまで冷静に自分自身を評価できるか。点数がつけにくいと感じた。例えば「嫌いな事であってもインターンシップの時はチャレンジしてみては」という方法で指導ができると思う。評価の付け方や目標の選び方など指導方法のレクチャーがあるとわかりやすいと感じた。 ・実証授業（なぜインターンシップに行くのか？）　　仲宗根よりワークシートと使い報告 （下地委員） ・仕事を通じてお金を稼ぐ。という当たり前の状況にあるなか、実証授業の報告から改めてインターンシップの大切さを知ることが出来た。 （松本委員） ・とても良いインターンシップの評価シートができたと思う。仕事をしている今の自分と高２の自分では相当なギャップがあると感じた。 ・項目５「責任感」についてだが団体運営の立場から言うと、言われたことを完璧にやってくれることは嬉しいが、やはり締め切りまでに出来ずお詫びやお叱りを受ける経験もある。早めにＳＯＳを出してくれると何とかなる。生徒たちがそういった点も責任感の一部として考えるきっかけになると良い。 ・世の中には自身の興味のない、好きでないこともある。「苦手な作業や興味のない内容にも前向きに取り組む姿勢がある」という点を現場の一線で活躍する職業人から伺い、態度や姿勢を感じ取る。スキル形成という点でそのようなきっかけがあると良いと思う。 感想等 （近藤委員） ・本日の報告から高等専修学校の実態や生徒の様子を知れた。学習に関しても意欲の高い子や集団に馴染めない子など多様な生徒を同じプログラムで教育する難しさを感じた。 ・松本委員からもあった「ＳＯＳの出し方」について、私たちの事業所では「相談できるかな？」という言い方で進捗の確認も合わせて行っている。今後も情報提供できればと思う。 （藤井委員） ・本校ではまだインターンシップは行っていない。今度の導入に向けて良い勉強になった。生徒はインターンシップ意義について理解しにくい点もある。アンケートからも生徒が得るものは大きいと感じた。 ・今年から非認知能力を可視化できる EduFuture 社の EduPath という成長型支

	援サービスを導入した。スマホやタブレットを使い、質問に答えるとすぐに結果がでる。教員も生徒の状況や困っていることなどを客観的に見られて、言葉かけを行うことが出来る。まだ結果は出ていないが、これまでの経験で得たものと違った見え方が出来た。退学防止や自己肯定感を高める支援に役立てる目的。うまくいった結果を報告したい。 ・認知度向上に繋がっている取り組みとして、入学式や卒業式に市長や教育長を来賓として招いて高等専修学校に進路を見出し、頑張っている生徒を直接見てもらっている。出席してもらえるようになり、小中校の校長先生にも様子が伝わり、さらに現場へも広がっている。 （石原委員） ・平成６年度の調査からも高等専修学校の認知度や推奨は低い。パンフレットもあるが、認知度の向上には現場へ足を運ばないといけない。 ・報告書にあったＫさんのような事例は多いと思う。うまくいった事例だけではなく、ケアを行ったがうまくいかなかったケースも事例としてあげることが大事である。 ・インターンシップ先の開拓は、生徒がさまざまな分野を選べるように提供したほうが良い。 （中村孝一委員） ・先日、文科省の専修学校担当者と意見交換を行ったところ、文科省が高等専修学校における様々な施策を打っていることで高等専修学校への想いを感じた。学びのセーフティーネットという点で通信制高校の認知が進んでいるが、高等専修学校はまだ進んでいないと感じている。 ・本事業の目的が高等専修学校におけるモデル構築という点で日本中から注目されていることを意識し、今後もメンバー全員でモデルの検討が進められれば良いと思う。この事業に対して期待している。 （小林委員） ・高等専修学校の良いところは、医療や調理、芸術などいろいろなジャンルから自分の好きなことが学べることだと思う。地域の企業と連携し、産学連携で生徒たちが好きなことをどのように将来と仕事でリンクするかイメージできればより具体的になると思う。 ・例えばＫＢＣ高等学院にはデジタル系の学科がある。地域のデジタル系企業と組み、より特化して深く学べる環境のなかで自身の将来をイメージできるサポートができれば良いと思う。 （松本委員） ・この委員会は福祉や一般企業で活躍する委員が多い。普段、見えていない点が学べると嬉しい。 （堂本委員） ・企業や団体の成長より、個人の成長に興味がある。企業の都合を考えて人材を求めると、どうしても企業の型にはめ込んでしまうと思う。自身の成長におけ

	る満足感と外部から見た成長の評価はたくさんの事例や形がある。ゴール地点を定めるより、今はもっと一人ひとりに焦点を合わせられると良いと思う。 （下地委員） ・個人経営はライフスタイルとビジネスが密着しており、一般企業では味わえない部分がある。堂本委員と同じように個々の力を大切にしている。個人の力、共感コミュニケーションなど「人を想える」と仕事はとても楽しい点をインターンシップから教えることが出来ればと思う。 ・今後の予定について（伊佐） 令和７年度 モデル検討委員会 開催予定 （第２回委員会） 2025 年 11 月７日（金） 15：00～17：00 （第３回委員会） 2026 年２月６日（金） 15：00～17：00 会場：ＫＢＣ高等学院 東町校舎 その他：本日の参加お礼（國仲） 以上 委員会を終了する。

【2】第２回モデル検討委員会議事録

文部科学省事業 令和７年度「高等専修学校における多様な学びを保障する先導的研修事業」 **第２回 モデル検討委員会 議事録**	
開催日時	2025 年 11 月７日（金） 15：00～17：00
会場並びに開催方法	ＫＢＣ高等学院（那覇市東町 23-1） 401 教室 及び一部オンライン
出 席 者	（モデル検討委員） ・沖縄県総務部 総務私学課 私学・法人班 班長 中村 孝一 ・一般社団法人 沖縄県専修学校各種学校協会 事務局長 石原 啓 ・子ども若者みらい相談プラザ sorae 統括責任者 特定非営利活動法人 サポートセンターゆめさき 臨床心理士 松本 大進 ・福祉型ワークスクール zerostep 代表社員 近藤 賢宏 ・株式会社 モビイクス （代理出席） 南風原 靖 ・学校法人ＫＢＣ学園 ＫＢＣ高等学院 教務 伊佐 尚子 宮野 学 山本 千穂 事務局 崎山 昌美 ・学校法人ＫＢＣ学園 地域創生室 室長 國仲 陵太郎 課長 知念 仁志 仲宗根 真 大城 莉恵子

	當間　律子 東　知範 （教材開発） ・株式会社　穴吹カレッジサービス　　中村　多恵 （議事録作成） ・学校法人ＫＢＣ学園　地域創生室　　仲宗根　真
議　　題	議　事 議題１　セーフティーネット研修への取り組みについて 議題２　インターンシップへの取り組みについて（企業連携カリキュラム開発） 議題３　意見交換
配布資料	配布資料 資料①　実施前評価シート集計【全体】 資料②　実施前評価シート集計【デジタル】 資料③　実施前評価シート集計【スポーツ】 資料④　実施前評価シート集計【比較】
会議概要	國仲の挨拶後、仲宗根よりスケジュール、配布資料を確認。議題１にて伊佐、山本よりセーフティーネット研修に関して報告。議題２で伊佐、山本よりインターンシップへの取り組み、中村氏より資料①～④を使いインターンシップ実施前の評価シート集計について報告を行った。議題３にて各委員より質疑・感想等を受け、最後に仲宗根より今後の予定を確認。國仲よりお礼を述べて終了。
目　　次	**議題１：セーフティーネット研修への取り組みについて** ・伊佐、山本よりＰＰを使い報告 ・山本より研修で事例として挙げた生徒の近況について報告 質疑・応答 （近藤委員）　【12 月に実施する研修内容について】 ・我々の事業所が障害者総合支援法に基づき、障害を持つ方へ就労サポートを行っている。まずは福祉サービスの種類について紹介したい。 ・社会人が主ではあるが、卒年次の高校生が通うケースもある。通所に至った経緯や訓練内容、その後の進路について話をしたい。インターンシップを通じ、先生以外の方から評価を受けた時に自身に足りていない部分に気づくことがある。その際、本人や保護者が支援の必要性を感じて相談を受けるケースがある。そういった事例を紹介したい。 ・主な課題は日中の連続登校、同級生との集団生活、先生や異年齢との人間関係などの経験不足。これらの対応についての事例や、学校現場で訓練が必要な生徒かを検討する情報を提供したい。 （松本委員）　【２回の研修を実施しての感想】 ・研修で事例となった２名はメンタル面で難しいケースであった。全日制の高校や公立中学校でも起こっているケース。現場の先生たちが必然的に対応せざる得ない現状。

	・精神医療が投薬中心で、作業療法士や理学療法士など人間による支援が一定程度。心理的支援が保険サービスの対象外になっている。思春期・青年期だけでなく、メンタル支援が必要な大人も溢れてしまっている状況。私のような人物が先生方を支えていくのが１つのポイント。 ・気持ちの面でしんどい状況の子どもを対応することは難しくて当たり前。少しでも出来たら、すごくて出来ていると評価してあげると良い。体制の問題もあるが、このような状況で先生方のご尽力を感じながらコンサルテーションさせてもらっている。 （石原委員） ・研修旅行で生徒たちの変化が見られたようだが、研修旅行の内容について教えてほしい。 （山本） ・３泊４日で東京へ行った。１日は自由行動を設け、生徒たちに計画を任せた。何か問題が発生しても自分たちで考えて解決できたことが自信につながったと思う。また家族から離れての集団生活がみんなで一緒にできたこともよかったのではないか。 （近藤委員） ・松本委員の研修には３名の職員も一緒に参加した。長く障害福祉に関わる責任者も十分勉強になったと聞いている。内２名は経験も浅く、入社して初めて障害者福祉に関わった。研修では分からない用語も出てきて、改めて調べるきっかけになった。また高等教育機関の現状を知ることができたようだ。研修後も４名で話し合いを持つ機会が持て、とても良かった。 （石原委員） ・生徒に何か特性を図る検査を実施したのか教えてほしい。 （山本） ・特に本校では行っていない。事例に挙げた生徒でＷＩＳＣ検査を行ったことが中学校からの申し送りに記載があった。ＷＩＳＣ検査の詳細や数値の見方について松本委員に説明してもらった。そのおかげで生徒への効果的な指導方法を知ることができた。学校からＷＩＳＣ検査を行うことはできないが、似たようなチェックができれば、職員の負担も減らせると思った。 （石原委員） ・ＷＩＳＣ検査の実施は非常に難しく、保護者が嫌がることもある。実際に別の方法で測れる事例があれば、広く情報を共有してもらいたい。 （松本委員） ・ＷＩＳＣ検査は専門の訓練を受けた方や医療機関で実施したほうが良い。資格がなくても違法ではないが、データに懐疑がある。 ・簡単なストレスチェックでも良い。文科省や厚労省からもチェックテストが公表されているので、多くのものを試してみると良い。ノーマークだった生徒が突然休みがちになることもある。結果に応じて声をかけるタイミングや注意す

	る意識を持てる。 ・数字のチェック欄だけでなく、自由記載欄を設けてほしい。物言わぬ生徒が多く記入する。これが非常に重要。ストレスや人間関係の悩み、学習のつまずきなど早期発見につながる。 **議題２：インターンシップへの取り組みについて（企業連携カリキュラム開発）** ・伊佐、山本よりＰＰを使い報告 ・仲宗根より生徒への動機付け授業について内容を報告 ・穴吹カレッジサービス中村氏より資料①～④を使いアンケートの集計結果を報告 質疑・応答 （松本委員） ・アンケートは記名式か？ （伊佐） ・記名式である。 （松本委員） ・アンケート結果より、自分から声をかけられないことが事前に分かる生徒もいた。インターンシップに行く前に声をかけることで不安なことを確認できそう。アルバイトで就労経験がある生徒もいれば、今回が初めての子もいると思う。 ・アルバイトの場合、雇用する側が離職やパワハラを防ぐため、指導に気を使いがち。インターンシップは教育の一環として、良い意味できちんと言うべきことは言ってもらった方がよい。生徒の就労に関する課題や悩みを知ることができると思う。 ・疑問に思ったことは早めに聞くようにすること。これができると職場での適応が進むと思う。 （仲宗根） ・アンケート結果より、インターンシップ前に生徒たちへアプローチすることは可能か？ （山本） ・自身でも懸念している部分がある。何が課題なのかを聞きながら面談などができればと思う。 （仲宗根） ・インターンシップ前の事前打ち合わせについて様子を聞かせてほしい （南風原氏） ・苦手なことを克服することもあるが、我々も質問しやすい雰囲気を作っておく必要を感じた。こちらからも頻繁に声かけを行いたい。 **議題３：意見交換** ・仲宗根より高等専修学校のＰＲ用に作成したリーフレットの紹介 質疑・感想 （松本委員）

	・不登校が増えて高止まりしている状況で、専修学校が受け皿になれるように今後もフォローしていきたい。 （近藤委員） ・アンケートの評価基準で１～３点あたりにチェックしている子は、本人が情報やスキルを身につけることで克服できるパターンと、元々の特性で支援が必要なパターンがある。支援が必要な場合に我々のような機関が連携できると思う。我々の事業所にも似た悩みを抱えている方が多く通所している。 ・「出来ていないことを出来るようにする」「今、出来ることの精度を高める」のどちらが良いのかの見定め、関連してどのような進路があるのかなどアドバイスできることがあれば協力したい。 （石原委員） ・先生方がセーフティーネットの研修を受講し生徒指導に活かすことも良いが、最終的にスクールカウンセラーの配置が実現できればと思う。 ・インターンシップ実施後のアンケートより、実施前の目標と実施後の結果が比較できると良い。次回の委員会で楽しみにしている。 （南風原氏） ・インターンシップ受け入れ企業として、今後もしっかりと受け入れ体制を作っていきたい。 （中村委員） ・「高等専修学校機能強化の先導的モデル構築プロジェクト」ということで、沖縄モデルが先導的モデルとして他県に波及していくことを考える必要がある。教育振興基本計画においては、「社会的・職業的自立に向けた実践的教育を行う高等専修学校は、発達障害や不登校等の特別の配慮が必要な生徒が一定割合在籍し、「学びのセーフティーネット」として機能を果たしていること等を踏まえ、その運営に係る支援について国と都道府県が連携しつつ推進していく」とされている中、県として何ができるかを考えながら委員会に参加している。本プロジェクトの事務局としては、どのようなことから取り組んでいくべきと考えているか。 （仲宗根） ・全国で同様の課題を抱える高等専修学校で利活用してもらえるプログラム作成を最優先している。我々の抱える課題が共通している部分も多いと思うのでまずは沖縄の課題解決に努めたい。そのプロセスの中で、全国展開できそうなところを委員の意見・指示を踏まえ、偏りのない内容でプログラムを進めていきたい。 （中村委員） ・高等専修学校においては、石原委員からもあったスクールカウンセラーやソーシャルワーカーの設置、教育研修や個別支援計画の策定などの課題があると思う。このような課題がある中で、どのような対応ができるかを考えている。

	・今後の予定について（仲宗根） 令和７年度 モデル検討委員会 開催予定 第３回委員会　　2026 年２月６日（金）　15：00～17：00 　会場：ＫＢＣ高等学院　東町校舎 その他：本日の参加お礼（國仲） 以上　委員会を終了する。

【3】第３回モデル検討委員会議事録

文部科学省事業　令和７年度「高等専修学校における多様な学びを保障する先導的研修事業」 **第３回　モデル検討委員会　議事録**	
開催日時	2026 年２月６日（金）　　15：00～17：00
会場並びに開催方法	ＫＢＣ高等学院（那覇市東町 23-1）　401 教室　及び一部オンライン
出 席 者	（モデル検討委員） ・一般社団法人　沖縄県専修学校各種学校協会　事務局長　石原　啓 ・子ども若者みらい相談プラザ sorae　統括責任者 特定非営利活動法人　サポートセンターゆめさき　臨床心理士　松本　大進 ・学校法人　有坂中央学園　中央高等専修学校　前橋校　副校長　藤井　智人 ・福祉型ワークスクール　zerostep　代表社員　近藤　賢宏 ・株式会社　モビイクス　（代理出席）　南風原　靖 ・学校法人ＫＢＣ学園　ＫＢＣ高等学院 教務　伊佐　尚子 宮野　学 山本　千穂 事務局　崎山　昌美 ・学校法人ＫＢＣ学園　地域創生室 室長　國仲　陵太郎 課長　知念　仁志 仲宗根　真 伊禮　嘉本 當間　律子（リモート） 大城　莉恵子（リモート） 東　知範 （教材開発） ・株式会社　穴吹カレッジサービス　　中村　多恵 （議事録作成） ・学校法人ＫＢＣ学園　地域創生室　　仲宗根　真
議　　題	議　事 議題１　令和７年度事業報告 ・インターンシップへの取り組みについて

	・セーフティーネット研修に関する報告 議題２　令和８年度事業の方向性について 議題３　意見交換
配布資料	配布資料 資料①　インターンシップ体験教育プログラムテキスト 資料②　インターンシップ教育シラバス
会議概要	國仲の挨拶後、仲宗根よりスケジュール、配布資料を確認。議題１にて伊佐、中村氏より PP、資料①～②を使いインターンシップの取り組みなどを報告。近藤委員よりセーフティーネット研修に関する報告、山本より所感を述べてもらった。議題２で仲宗根より令和８年度の方向性、知念より職業体験プログラムについて説明。議題３では各委員より質疑・感想等を受け、最後に仲宗根より今後の予定を確認。國仲よりお礼を述べて終了。
目　　次	**議題１：令和７年度事業報告** **・インターンシップへの取り組みについて** 伊佐、中村氏より PP、資料①～②を使い報告 質疑・応答 （松本委員） ・報告がとても丁寧にまとめられていて、多くの観点が参考になった。 ・セーフティーネットとの関連から見ると、生徒がインターンシップに参加できるか。乗り越えられるかが多くの意味で見立てになる。想定されるリスクにも早くキャッチすることができる。 ・さまざまな事情から参加が難しい、目標が書けないといった生徒もいたと思う。なんらかの SOS サインがあると考えられる。そういった方向からインターンシップを捉えることでリスクを持った生徒を早期にキャッチでき、サポートにもつながる。このような発想を踏まえながらカリキュラムが組まれると良い。 （仲宗根） ・該当する生徒はいたのか？ （山本） ・該当する生徒が二名。一人は保護者とも連絡を取り合い、最後まで参加を模索したが欠席。 ・場面緘黙の生徒は実習先にホテルを希望。黙々と作業のできる客室清掃ならできそうという彼女なりの考え。伊佐と事前に受け入れをお願いしたホテルを訪問して情報を共有した。一人だけでは不安だったので、友人二名の計三名で参加した。 ・生徒たちはアットホームでスタッフも優しく、多くのことを教えてもらえた。家族のようで楽しかったと話していた。本人から話はしないが表情からも不安は感じられず、三日間取り組めた。友人二名の助けもあっただろうが、受け入れてくれたホテルのスタッフや環境のおかげだと思う。 （仲宗根）

	・インターンシップへの参加が難しい生徒に対し、個別対応を行った事例などがあれば教えてほしい。 （松本委員） ・例えば「松本先生の知っている社長さんのところならちょっとチャレンジしてみたい」などよく知っている人の企業へ繋げることがあった。また責任感というハードルを高く感じ、働いてもお金はいらない、10 分～20 分だけチャレンジできないか。という相談もある。受け入れ先の理解や協力もあるが、少しずつ自信をつけていく方法もあるので参考になればと思う。 （仲宗根） ・事前の目標を書くことができない生徒もいたか？ （山本） ・時間はかかったが、全く書けない生徒はいなかった。中村氏による数値化されたシートだったので書きやすかったと感じる。 （仲宗根） ・補足説明として、事前の自己評価については授業を通して全体で確認しながら記載をした。一項目ずつ確認しながら生徒と記入していった。分からない時は質問するよう声かけを行った。 （仲宗根） ・自身の苦手なことにチャレンジしたいという生徒が多かったが、今年の生徒はやる気が高かったのか？ （山本） ・大きな差は感じない。 （宮野） ・特に大差は感じないが、リーダー的な生徒が見本になってくれたと思う。積極的に動いて、周りにも声をかけてくれた。このような生徒の存在は大きい。 （伊佐） ・これまではカリキュラムに組まれているから行く。という雰囲気があったが今年から体系的に動機づけや職業観、なぜインターンシップへ行くのかなどを考える時間があったからだと思う。 **・セーフティーネット研修に関する報告** 近藤委員より PP を使い研修内容を説明 山本より研修の所感 <u>質疑・応答</u> （藤井委員） ・本校も特性のある生徒は多い。昨年、本人から就労援助を通した就職希望があった。我々も就職が向いていると思い保護者に相談をしたが、当初は納得してもらえなかった。最終的に認めてはくれたが親が納得してくれない場合の対応があれば教えてほしい。

	（近藤委員） ・とても難しいケースだと思う。我々は第三者として、学校が言いにくいことを伝えることができる存在だと思う。また我々が学校へ出向いて話をすることもできるが、実際に施設へ来てもらい、どういった支援を受けているか見てもらう方法もある。 ・「障がい」という言葉に対し、重度なイメージを持ってしまう方も多い。実際には見ただけでは分からないこともある。話をすることで、保護者も納得して必要な支援方法や期間について考えてくれることもあれば、他の方法でという場合もある。 ・一度、アルバイトにチャレンジしたが続かなかったなど再度問い合わせがくるケースも過去にあった。状況をヒアリングし、職業訓練を受けることもある。 （藤井委員） ・毎年、就労支援センターを通じて就職する生徒がいる。センターからも今年の状況を問い合わせて来てくれる。こういった繋がりでいつもお願いしている。また保護者が探してくるパターンもあるので、そこから新しい繋がりができることもある。 ・今回は生徒が自分からセンターへ見学に行って気に入った。学校もよく知っている施設だったのでお任せできると安心。しかし保護者が納得しなかった。見た目は普通の女子高生と変わらないが、少し幼稚な考えや感情のコントロールが気になる特性があった。施設の職員が一生懸命説明してくれ、最終的に納得してもらえた。希望先に進めて良かったし、本人のためになったと思う。しかしかなりの時間がかかり、担任の負担にもなったと感じる。 （松本委員） ・藤井委員からあった話は我々の施設で典型的に扱うケース。一般と福祉の間ではっきりしないので、保護者と本人の違いや迷いがある。日本では制度の枠組みで具体的にどうすべきかがしっかり確立していない。近藤委員の説明は丁寧にまとめられていた。我々の施設は子ども・若者育成支援推進法に基づく、子ども・若者総合相談センターという位置づけ。しかし市町村に対し努力義務レベルなので弱い。自治体によって設置されていない場合もある。生活困窮者自立支援制度や引きこもり支援センターの枠内で相談を受けることもある。 ・保護者の考えから一般枠で就労させた時、うまくいかなかった場合に親御さんが困ってしまう。そういったケースに備えて、先生側が提供できる情報をいくつか準備しておくとよい。 **議題２：令和８年度事業の方向性について** ・仲宗根より PP を使い事業の方向性について説明 ・知念より職業体験プログラムについて説明 質疑・応答 （仲宗根） ・インターンシップを受け入れる企業として、気になることや困っていることが

	あれば教えてほしい （南風原氏） ・体験に来る高校生にお客さん的な扱いをしてしまう部分もある。大学生のインターンにも共通するが、言葉遣いが気になる。基本のマナーコードもあるが、どこまで指導していいのか悩む。今回受け入れた高校生たちはお昼ご飯を忘れるくらい与えられた課題を黙々とこなしていた。実際受け入れたことで見えた部分でもある。目標とそれに対する回答に乖離を感じる点もあったが、生徒たちの思いを見ることができた。 **議題３：意見交換** 質疑・感想 （藤井委員） ・これまで 20 年、本校ではインターンシップの実施がなかった。今回２人の男女が特養老人ホームでやりたいという希望があった。このようなマニュアルがなかったので今後使わせてもらいたい。 ・受け入れ先の希望から保険に加入した。通常の学生保険でインターンシップはカバーできなかった。ＫＢＣ高等学院での対応を教えてほしい。 （伊佐） ・インターンシップに行く２年生全員にはプラスして保険を掛けている。 （藤井委員） ・次年度、本校でもこのプログラムを実施してほしい。生徒だけでなく、職員の動機づけにもなる。 （松本委員） ・幅広い年齢層との付き合いで、絶対ではないが小中校の義務教育と高校以上の段階で不登校やメンタルリスクに対するセーフティーネットの作り方に対応の傾向を感じることがある。「そこまでやる必要があるのか」という考えを持っている先生方もおり、難しさを感じることもある。場合によっては先生たちへ動機づけを行う支援も必要。セーフティーネットを作る必要性の軸と何ができるか、この二つの視点から整理することが必要かもしれない。プログラムにこの点を組み込むことで職員間の孤立や分断防止、モチベーションを合わせる部分につながる。一人ひとりのやる気を高めていきたいと考えている。 （石原委員） ・インターンシップを中心としたセーフティーネットの取り組みは大変良いと思う。次年度の２年生に対しても同様のプログラムを実施すると思う。先生方のスキルもアップしていくだろう。 ・中学校に向けて、高等専修学校が実施していることや卒業後の進路など、データもあわせどのように周知していくか。現状あまり知られていない。その点をしっかり踏まえて生徒募集を行ってほしい。協力してくれる企業などもさらに充実していくと思うのでＰＲしてほしい。 （南風原氏）

	・インターンシップに来た高校生に当社のシェアオフィスを利用している企業の紹介スライドを作成してもらった。作成する際、相手の喜ぶ気持ちを考えるように伝えた。完成したスライドはモニターで流しているので見に来てもらえたら喜びにもつながると思う。 （近藤委員） ・毎回、情報を提供するつもり出来ているが、気づきや学びが多い。今回の研修は広範囲だったので、次年度はニーズや要望に焦点を合わせた内容にしたい。 ・今後はインターンシップに参加できなかった生徒の対応や、就労体験前の訓練に関する情報等が提供できればと考えている。 ・今後の予定について（仲宗根） 令和８年度モデル検討委員会　開催予定 第１回委員会　　2026 年 7 月 3 日　（金）15：00～17：00 第２回委員会　　2026 年 11 月 6 日　（金）15：00～17：00 第３回委員会　　2027 年 2 月 5 日　（金）15：00～17：00 会場：ＫＢＣ高等学院　東町校舎 その他：本日の参加お礼（國仲） 以上　委員会を終了する。

文部科学省委託事業
令和 7 年度「高等専修学校における多様な学びを保障する先導的研究事業」
「地域に根ざした高等専修学校機能強化先導的モデル構築事業」

令和 7 年度事業報告書

令和 8 年 2 月
学校法人 KBC 学園
〒900-0034 沖縄県那覇市東町 23-1

●本書の内容を無断で転記、掲載することは禁じます。